

令和5年版

消 防 年 報



塩釜地区消防事務組合消防本部
(令和6年刊行)

は じ め に

この年報は、塩釜地区消防事務組合における令和5年中の消防現勢及び消防諸般の状況を統計的に収録したものです。

本書は、消防行政の合理的な運営と消防力の充実強化の参考に資するとともに、本組合消防の実態を広く一般に紹介することを目的として編集しました。

本書の記載内容で予算に関するものは会計年度、消防統計的なものについては暦年として編集しましたが、表中に年月日を明示したものについては、その時点での現況です。

その他の表につきましては、特に記載のない限り、令和6年4月1日現在をもって収録しました。

何とぞ御高覧の上、今後とも消防行政に対しまして深い御理解とより一層の御支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年10月

塩釜地区消防事務組合消防本部

目 次

○ 塩釜地区消防事務組合管内位置図	1
○ 塩釜地区消防事務組合構成市町の概要	2
○ 塩釜地区消防事務組合一目統計	3
○ 令和5年度の主な行事等	4
○ 塩釜地区消防事務組合の沿革	8
○ 塩釜地区消防事務組合組織図	21
○ 本部庁舎・消防署等位置・管内情勢	22

第1編 総 務

○ 令和6年度塩釜地区消防事務組合一般会計予算(当初予算)	23
○ 構成市町負担金状況	23
○ 組合予算と職員数・人口・世帯数の推移	24
○ 組合議会等・歴代消防長	25
○ 職員配置状況	26
○ 職員年齢状況	26
○ 救急救命士階級構成表	26
○ 消防救助隊の編成	26
○ 職員資格取得状況	27
○ 職員研修状況	27

第2編 予 防

○ 用途別建築同意処理状況	28
○ 市町別建築同意処理状況	28
○ 防火対象物数	29
○ 危険物施設数	30
○ 危険物廃止届出数	30
○ 第四類危険物の貯蔵取扱許可数量	31
○ 第四類以外危険物の貯蔵取扱許可数量	31
○ 市町別危険物施設の許可及び検査状況	32
○ 石油コンビナート等特別防災区域概要	33

第3編 警 防

○ 消防水利現況・消火薬剤保有状況	35
○ 消防車両等の現況(その1)	36
○ 消防車両等の現況(その2)・消防車両等配置状況	37
○ 消防資機材保有状況(その1)	38
○ 消防資機材保有状況(その2)	39
○ 救急資器材保有状況	40
○ 組合管内各市町消防団現況	41
○ 組合管内各市町消防団機械器具現況	41

第4編 指 令

○ 通信施設配置状況	42
○ 無線通信施設	42
○ 消防緊急通信指令システム図	43
○ 通信指令装置の機能概要	44
○ その他の機器の概要	45
○ 災害受付状況・応急手当の口頭指導実施状況(1～6月)	46
○ 災害受付状況・応急手当の口頭指導実施状況(7～12月)	47

第5編 火 災 統 計

○ 令和5年の火災概要	48
○ 火災の概況	49
○ 市町別火災概況	50
○ 月別火災発生状況	51
○ 四季別火災発生状況	51
○ 火災件数と損害額	52
○ 出火原因別の火災発生状況	52
○ 初期消火状況	53
○ 「放火・放火の疑い」の発生状況	53
○ 死傷者の発生状況	54
○ その他	55
○ 過去5年間の火災発生状況	56
○ 過去10年間の主な火災	58

第6編 救急統計

○ 令和5年の救急概要	59
○ 市町別救急発生状況・市町事故別救急発生状況	60
○ 救急発生状況の推移	61
○ 事故別救急発生状況	61
○ 月別救急発生状況	62
○ 時間別救急発生状況	62
○ 曜日別救急発生状況	63
○ 年齢区分別搬送状況	63
○ 年代別性別搬送状況	64
○ 傷病程度別搬送状況	64
○ 現場到着所要時間別出場状況	65
○ 収容所要時間別搬送状況	65
○ 医療機関別搬送状況	66
○ 救急隊事故別救急発生状況	67
○ 診療科目別搬送状況	67
○ 救急隊員の行った応急処置等の状況	68
○ 応急手当の普及状況	69
○ 過去5年間の市町別救急発生状況	70
○ 過去の主な救急事故	71

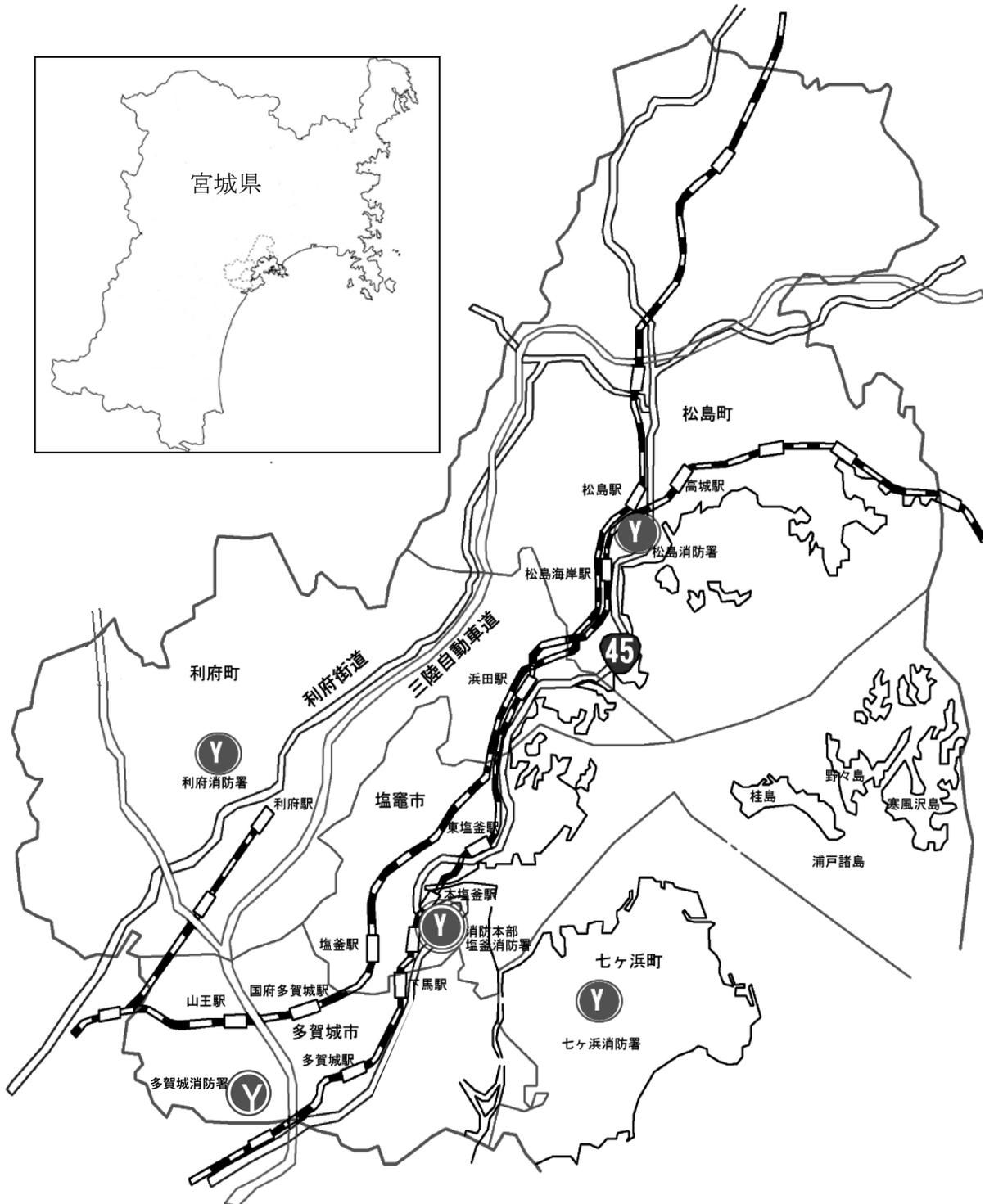
第7編 救助統計

○ 令和5年の救助概要	73
○ 市町別出動状況	74
○ 事故種別出動状況	74
○ 月別救助出動件数・救助人員	75
○ 時間別救助出動状況	75
○ 曜日別救助出動状況	75

第8編 協力団体

○ 塩釜地区防災安全協会	76
○ 塩釜地区少年婦人防火委員会	77
○ 塩釜地区女性防火クラブ連合会	77
○ 塩釜地区少年消防クラブ連絡協議会	78
○ 塩釜地区幼年消防クラブ連絡協議会	78
○ 宮城県消防協会塩釜地区支部	79
○ 令和6年度塩釜地区統一防火標語入選作品	80
○ 第47回塩釜地区防火書道展最優秀作品	80

塩釜地区消防事務組合管内位置図



塩釜地区消防事務組合構成市町の概要

塩釜地区消防事務組合は、塩竈市、多賀城市、松島町、七ヶ浜町及び利府町の二市三町で構成されています。管内面積は148.70km²で、職員定数は232名、1消防本部・5消防署・事務局(2課)で構成されています。

管内の特色は、中世の時代から宗教・政治・交通・廻船の要所として栄えてきた歴史があり、現在は観光・水産都市として賑わう沿岸部、浦戸諸島という4つの有人島と複数の無人島を含めた島しょ地域、職住近接型のニュータウンに加えて、東北の各都市へのエネルギーを供給する役割を持つ石油コンビナート区域も有しており、東北地方の要ともいえる地域でもあります。

塩 竈 市

陸奥の「国府多賀城」の荷揚港として、また、鹽竈神社の門前町として古くから栄えてきた塩竈市は、商工、観光港と合わせて、特定重要港、特定第三種漁港の指定を受ける港湾・水産都市であります。管内においては、行政、産業経済、交通の面で中心的役割を担っています。

多 賀 城 市

8世紀前半、陸奥の国府が置かれた多賀城市は、管内最古の歴史を持ち、文化をはぐくむ史跡のまちの整備がなされています。また、仙台港の開港とともに仙台湾臨海部における大型工業拠点都市としての役割を担っており、更には、多賀城駅周辺地域の開発整備や八幡地区の津波復興拠点の整備が進んでいます。

松 島 町

日本三景の一つ松島町は、古くから景勝地として知られ、瑞巖寺や五大堂など、多くの文化財と、観光施設、宿泊施設を有し、国内外から多くの観光客が訪れる観光地として訪れる人々を魅了しております。沿岸部では、かき養殖等の浅海漁業、北部では稲作を中心とした農業が盛んで、観光業をはじめ、農林業、漁業、商工業など、様々な産業がバランス良く発達し、町の活力を支えています。

七 ヶ 浜 町

三方を海に囲まれた七ヶ浜町は、明治時代から避暑地として多くの外国人に愛され、現在も七ヶ浜国際村を拠点に国際交流が盛んに行われています。また、菖蒲田海水浴場、松島四大観「多聞山」など豊かな自然と景観、豊富な水産資源に恵まれ、ひとと自然が調和したまちづくりが進められています。

利 府 町

緑地に囲まれた利府町は、かつては農業(稲作・梨栽培)が主産業の町であったが、現在は商工業が盛んな町へと変貌を遂げています。職住近接型ニュータウン整備に伴い、多くの人に移住し、人口も増加傾向にあります。また、自然を生かした県民のいこいの場、大型運動施設を中心とした生涯スポーツ振興などにも力を入れています。

一 目 統 計

面 積	人 口	世 帯 数	消 防 予 算
148.70km²	180,244人	79,488世帯	2,230,913千円
塩竈市 17.37km ² 多賀城市 19.69km ² 松島町 53.56km ² 七ヶ浜町 13.19km ² 利府町 44.89km ²	塩竈市 51,891人 多賀城市 61,782人 松島町 13,019人 七ヶ浜町 17,748人 利府町 35,804人	塩竈市 24,239世帯 多賀城市 28,304世帯 松島町 5,718世帯 七ヶ浜町 6,927世帯 利府町 14,300世帯	一人当たり 12,377円 一世帯当たり 28,066円

庁 舎 等	消 防 職 員	保 有 車 両
消防本部 1	条 例 定 数 220名	ポ ン プ 車 9台 救 助 工 作 車 1台
消防署 5	実 員 217名 (うち女性10人)	化 学 車 3台 消 防 艇 1艇
資機材倉庫 1	平 均 年 齢 38.2歳	大 型 水 槽 車 1台 救 急 車 9台
	平均勤続年数 16.2年	は し ご 車 2台 そ の 他 21台

火 災	救 急	救 助	119 番 通 報 件 数
火災件数 46件	救急件数 10,643件 搬送人員 9,950人	救助件数 56件 救助人員 60人	総通報件数 14,845件
建物火災 29件 林野火災 1件 車両火災 1件 船舶火災 0件 その他火災 15件	平均現場到着所要時間 9分03秒 平均病院等収容所要時間 49分14秒	火 災 4件 交通事故 12件 水難事故 4件 建物事故 24件 機械事故 2件 その他 10件	固定電話 5,958件 携帯電話 7,721件 加入電話 1,146件 その他 20件

防 火 対 象 物	危 険 物 施 設	消 防 団 員	消 防 水 利
3,871棟	1,116施設	717人	総計 3,631
特定防火対象物 1,121棟	製造所 2施設	塩竈市塩竈 72人 塩竈市浦戸 48人	消火栓 2,805
非特定防火対象物 2,750棟	貯蔵所 918施設 取扱所 196施設	多賀城市 141人 松島町 191人 七ヶ浜町 175人 利府町 90人	防火水槽 669 その他 157

令和5年度の主な行事等

月日	記 事
令和5年 4月11日	<p>管理者通常点検(消防本部)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>▲管理者通常点検①</p> <p>▲管理者通常点検②</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; text-align: center;"> 職員の厳正な規律保持と士気高揚を目的とした「管理者・消防長通常点検」を実施 </div>
7月4日	<p>第47回宮城県消防救助技術指導会出場</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>▲ロープブリッジ救出</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> 建物や河川の中州等に取り残された要救助者を救出することを想定した訓練。 </div> <p>▲障害突破</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> 災害現場の様々な障害を想定し、いかなる状況下でも対応することを目的とした訓練。 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div> <p>▲ロープブリッジ渡過</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> 水平に展張されたロープ20mを、往路はセーラー渡過、復路はモンキー渡過で渡る。 </div>
10月5日	<p>第40回消火技術コンクール</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> モリリン加瀬沼公園を会場に消火器競技、69チーム、138名が日頃の訓練成果を発揮 </div>

11月2日 防災講演会(七ヶ浜国際村)



東北大学災害科学国際研究所から講師を招き、「3.11でわたしたちが学んだことを”これから”に活かす」と題し、講演をいただいた。

11月9日 秋季消防訓練(高齢者福祉複合施設)



▲初期消火訓練



▲消防隊による一斉放水

秋の火災予防運動の一環として、施設と消防機関が連携し、火災発生時における迅速かつ安全な避難誘導体制の確立及び火災救助活動の向上を目的に4年ぶりに実施。防火管理者を中心とした施設職員は日頃の訓練成果を発揮し、火災発見から119番通報、初期消火、情報伝達、避難誘導まで迅速に行動した。

11月18日 緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練(岩手県宮古市)
11月19日



▲各部隊活動状況
地震により倒壊建物内に取り残された要救助者の救助を想定した訓練



▲各部隊活動状況
救助した住民を救護テントまで搬送、救命措置実施までを想定した訓練

日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震による津波等の大規模災害を想定し、実践的かつ効果的な訓練を実施し、緊急消防援助隊宮城県大隊陸上隊等の活動を円滑に行うため、各関係機関との連携活動能力の向上を図ることを目的に実施した。

11月27日 令和5年度警防研修会(運転技術向上研修)
11月28日



▲模型を使用した構造説明



▲実車を用いて、日常点検ポイントの説明

大型自動車の「車両構造及び日常管理」に関する基礎知識や管理上のポイントについて、製造メーカーから講師を招き、消防自動車の日常における適切な管理と災害現場における最高性能を発揮した警防活動の向上を目的に専門知識の教養と技術指導をいただいた。

11月29日 火災調査実務講習会



▲火災調査事例発表



▲「住宅火災における火災調査のポイント」講義

総務省消防庁消防大学校消防研究センターから講師を招き、火災調査業務の諸般の能力向上及び火災調査究明率の向上を目的とし、当組合の火災調査事例発表に対する講評並びに「住宅火災における火災調査のポイント」をテーマに講義をいただいた。

令和6年 第70回「文化財防火デー」瑞巖寺消防訓練
1月29日



▲初期消火訓練



▲消防隊による一斉放水

4年ぶりの開催でしたが、瑞巖寺職員による119番通報から初期消火、宝物搬出、拝観者の避難誘導訓練などを実施し、最後に自衛消防隊、消防団、消防隊による一斉放水を行った。

2月6日
2月7日

救急実技訓練



坂総合病院救急科長を指導医として迎え、救急現場を想定して現場に則した一連の活動をシミュレーション形式で実施。救急隊の基本的な現場活動における安全管理、傷病者の観察、病態判断、関係者への説明、接遇、救命処置等の技術のほか、適切な病院選定等について指導医の検証を受け救急活動の標準化を図るための訓練を行った。

2月20日
2月21日

令和5年度警防研修会(火災性状・放水技術研修)



▲放水器具を用いた放水技術研修



▲火災性状の確認

近年の住宅等における建物構造変化(防火・耐火性能)に応じた更なる効果的な火災防ぎょ活動及び安全管理能力を向上させることを目的に、宮城県消防学校の実火災体験型施設を活用し、火災性状の確認及び状況に応じた放水技術等の訓練を実施した。

3月1日
～
3月7日

火災予防普及啓発活動(消防本部及び各消防署)



▲帆手祭消防広場(消防本部及び塩釜消防署)



▲多賀城ちびっこ消防広場(多賀城消防署)

火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図ることを目的に春の火災予防運動を実施。消防本部及び塩釜消防署では、帆手祭消防広場を、多賀城消防署では、梯子車乗車体験をはじめ、防火衣の着衣体験などを含めた「2024多賀城ちびっこ消防広場」を幼少期の防火教育の一環として開催するなど、各消防署で運動を実施した。

塩釜地区消防事務組合の沿革

年号	月日	記 事
昭和45年	4月1日	・塩竈市、多賀城町、松島町、七ヶ浜町、利府町の1市4町で、塩釜地区消防事務組合を設立し、塩竈市に消防本部、1消防署、1出張所、多賀城町に1分署を設置、消防車6台、救急車2台、消防艇1隻、職員定数120名(実員80名)で発足 ・初代消防長に大沼盛就任
	7月9日	職員3名採用し、実員83名となる。
	7月22日	消防副士長制度を採用
昭和46年	2月2日	多賀城町鶴ヶ谷字内手2番地の1に多賀城消防分署庁舎完成移転し、業務を開始(ポンプ車2台、救急車1台、職員19名)
	3月23日	指令車(トヨタクラウン 2,000cc)を更新し、消防本部に配置
	4月1日	職員38名採用し、実員120名となる。
	6月16日	塩竈市尾島町17番22号に消防本部、塩釜消防署庁舎完成し、業務を開始(ポンプ車3台、救急車1台、指令車1台、広報車1台、職員44名)
昭和47年	11月20日	七ヶ浜町吉田浜字野山15番地の45に七ヶ浜出張所を開設(ポンプ車1台職員6名)
	11月26日	松島町磯崎字浜1に松島出張所を開設(ポンプ車2台、広報車1台、職員17名)
	12月1日	利府町利府字大町20番地に利府出張所を開設(ポンプ車1台、職員6名)
	1月1日	多賀城市市制施行に伴い、多賀城分署を消防署に、松島出張所を分署に昇格
	4月1日	消防施設整備第一期計画を作成、定数条例2名(消防吏員以外の職員)を増員し122名とする。
	11月21日	普通消防ポンプ自動車(ニッサン130馬力)1台を購入し、塩釜消防署に配置
昭和48年	3月27日	40t級化学消防艇「まつしま」を建造、一本松出張所に配置し、消防艇「うらしお」を廃艇
	4月1日	・二代消防長に児玉金七就任 ・消防施設整備第二期計画に基づき、定数条例6名を増員し128名とする。
	6月15日	日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車1台の寄贈を受け多賀城消防署に配置
	11月5日	農協共済連合会から3B型救急車の寄贈を受け、塩釜消防署に配置
昭和49年	12月1日	松島分署救急業務を開始
	2月12日	18m級梯子付消防ポンプ自動車を購入し塩釜消防署に配置
昭和50年	4月1日	消防施設整備第二期計画に基づき条例定数6名を増員し、134名とする。
	4月1日	定数条例2名を増員し、136名とする。
昭和51年	6月10日	塩釜港石油基地防災協議会から化学ポンプ自動車の寄贈を受け、塩釜消防署に配置
	6月28日	松島町松島字蛇ヶ崎右53番地に松島分署新庁舎完成移転し、業務を開始
	8月1日	三代消防長に板宮秀夫就任
	12月1日	特別消防隊(隊員20名)発足、初代隊長に鹿新吉就任
	2月13日	トヨタ2B型救急車を購入(更新)し、松島分署に配置
	3月15日	塩釜港石油基地防災協議会と塩竈市との協定により一本松出張所に泡原液貯蔵タンク(10kℓ容量)1基建設
	4月1日	消防施設整備第三期計画を作成、定数条例8名増員し、144名とする。
昭和51年	4月21日	日本損害保険協会からトヨタ2B型救急車の寄贈を受け多賀城消防署に配置
	8月17日	日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受け塩釜消防署に配置

年号	月日	記 事
昭和51年	10月1日	多賀城市山王字中山王23番地の2に多賀城消防署西部出張所を開設 (ポンプ車1台、職員8名)
昭和52年	4月1日	消防施設整備第三期計画に基づき、定数条例5名を増員し、149名とする。
	4月12日	指令車(トヨタクラウン 2,000cc)を更新し、消防本部に配置
	12月20日	塩釜地区消防事務組合職員章を制定
昭和53年	1月31日	消防本部庁舎裏に救助訓練塔完成
	2月1日	消防音楽隊(隊員22名)発足、初代隊長に山路一郎就任
	3月14日	水槽付消防ポンプ自動車購入し、松島分署に配置
	4月1日	消防施設整備第三期計画に基づき定数条例8名増員し、157名とする。
	6月12日	17時14分宮城県沖地震発生(震度5マグニチュード7.4)管内で死者5名負傷者62名、倒壊家屋多数、その他塩釜地区石油コンビナート地域においてもタンクの破損、また東北石油の原油タンク破壊など大きな被害をもたらした。
	9月	第1回消火技術コンクールを開催(月見ヶ丘スポーツ広場)
	9月7日	日本消防協会から2B型救急車の寄贈を受け、塩釜消防署に配置
	10月1日	七ヶ浜町吉田浜字野山5番地の56に七ヶ浜出張所新庁舎完成移転し、業務を開始(化学車1台、ポンプ車2台、職員16名)
	10月19日	塩釜ライオンズクラブから広報車の寄贈を受け、塩釜消防署に配置
	11月4日	35m級梯子付消防ポンプ自動車を購入し、塩釜消防署に配置
昭和54年	4月1日	消防施設整備第三期計画に基づき定数条例2名増員し、159名とする。
	4月19日	日本損害保険協会から普通消防ポンプ自動車の寄贈を受け、松島分署に配置
	5月11日	資材搬送用として、普通トラックを購入し、塩釜消防署に配置
	8月2日	災害時の職員搬送用として29人乗マイクロバスを購入し消防本部に配置
	8月24日	消防本部に主幹制度を採用
	9月14日	日本防火協会から防火広報車の寄贈を受け、塩釜消防署に配置
	11月1日	自主防災組織強化のため塩釜地区少年婦人防火委員会発足
	昭和55年	3月6日
4月1日		消防施設整備第三期計画に基づき定数条例6名増員し、165名とする。
7月8日		利府出張所を増改築
9月1日		日本消防協会から広報車の寄贈を受け、松島分署に配置
9月8日		日本損害保険協会から軽化学車の寄贈を受け、七ヶ浜出張所に配置
10月4日		広報車としてトヨタカーリーナバン1,600ccを購入(更新)し、多賀城消防署に配置
12月23日		トヨタ2B型救急車を購入(更新)し、松島分署に配置
昭和56年	3月12日	CD-1型普通消防ポンプ自動車を購入(更新)し、利府出張所に配置
	4月1日	・機構改革により警防課に通信係を新設、塩釜消防署警防係を警防第一係及び警防第二係に改組、多賀城消防署に設備係を新設する。 ・消防施設整備第四期5ヵ年計画を作成
	8月28日	多賀城市大代三丁目中野武彦氏よりニッサンサニーの寄贈を受け、多賀城消防署事務連絡車として配置
	9月28日	日本消防協会から2B改良型救急車の寄贈を受け、多賀城消防署に配置
	11月10日	CD-1型普通消防ポンプ自動車2台購入(更新)し、塩釜消防署及び多賀城消防署に配置
昭和57年	4月1日	B型消防救急指令装置を導入し、通信指令室を2階に移設、業務を開始
	4月5日	鹽竈神社氏子青年会から広報車として、トヨタコロナ 1,800ccセダンの寄贈を受け塩釜消防署に配置
	4月28日	第1回幼年消防クラブ地区大会を県民の森で開催
	8月24日	宮城県消防協会から緊急給水用ろ水器の寄贈を受け消防本部に配置

年号	月日	記 事	
昭和57年	10月22日	CD-1型普通ポンプ自動車2台購入(更新)し、多賀城消防署及び七ヶ浜出張所に配置	
	10月26日	日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受け、西部出張所に配置	
	11月20日	消防本部庁舎(会議室、書庫)増築	
昭和58年	4月27日	4・27林野火災発生、覚知 12:44(119) 鎮火4月28日13:05 利府町における損害は山林等578ha、建物18棟(罹災世帯6世帯、罹災人員30名)を焼失し、合計102,6820千円に及んだ。	
	5月1日	管理者に内海勇三塩竈市長就任	
	7月1日	四代消防長に豊島繁就任	
昭和59年	10月1日	人口急増等を勘案し、七ヶ浜出張所を分署に昇格	
	3月15日	日本損害保険協会からニッサンキャラバン型救急車の寄贈を受け、塩釜消防署に配置	
	3月31日	一本松出張所廃止	
	5月10日	全国消防長会主催による第15回「危険物委員会」塩竈市で開催	
	8月2日	第27回「宮城県操法大会」多賀城市で開催	
	11月1日	全管内を対象に毎日広報(防火パトロール)を開始	
	11月10日	国庫補助事業により救助工作車購入、塩釜消防署に配置	
	11月14日	防衛庁補助事業により水槽付消防ポンプ自動車を購入し、多賀城1号車として多賀城消防署に配置	
	昭和60年	3月1日	分担金条例の一部改正(施行日昭和60年4月1日)
		4月1日	・防災無線並びに防災ファクシミリ設置運用開始 ・宮城県消防協会塩釜支部の事務受託
		9月9日	鹽竈神社からトヨタ2B型改良型救急車の寄贈を受け塩釜消防署に配置
10月1日		塩釜消防署七ヶ浜分署に救急車(トヨタ2B型)配置、救急業務を開始	
11月1日		機構改革により課長補佐制の導入	
11月22日		国庫補助事業により大型水槽車(水10t)三菱19t級 290馬力を購入し塩釜消防署に配置	
昭和61年		4月1日	・消防施設整備第五期5ヵ年計画を作成 ・電算導入による検討プロジェクトチーム(6名)発足
	8月5日	8・5集中豪雨発生、警戒発令日時8月4日15:15 塩釜地区消防事務組合管内における被害状況は住宅(全壊1棟、半壊6棟、一部損壊16棟、床上浸水 3,838棟、床下浸水 3,283棟)、田畑(流失・埋没 329ha冠水1,346ha)、崖崩れ(211箇所)、道路損壊(211箇所)、河川損壊(40箇所)に及び合計損害額は約10,764,794千円に及んだ。	
	8月28日	(財)日本消防協会から電源照明用資機材等搬送車1台寄贈され塩釜消防署に配置	
	12月5日	消防本部警防戦術計算統計検討委員会発足(22名)	
昭和62年	2月18日	国庫補助事業により化学消防ポンプ車購入(更新)塩釜消防署に配置	
	3月1日	消防本部に情報通信室新設	
	3月28日	宮城県共済農業協同組合連合会よりニッサンキャラバン型救急車の寄贈(更新)を受け七ヶ浜分署に配置	
	4月1日	職員給与の電算化導入	
	7月15日	指令車購入(更新)し、消防本部に配置	
	7月26日	丸文汽船(株)から、ニッサンキャラバン型救急車の寄贈を受け松島分署に配置(更新)	
	8月28日	(財)日本消防協会からトヨタ2B型救急車の寄贈を受け利府出張所に配置	

年号	月日	記 事	
昭和62年	10月19日	情報電送装置(ファクシミリ)を各署所に導入	
昭和63年	2月16日	防衛庁補助事業により、軽化学車を購入、4号化学車として多賀城消防署に配置	
	3月1日	消防緊急情報システム(地図等検索装置)を消防本部情報通信室に配置	
	3月29日	利府町利府字堀切前11番地の1に塩釜消防署利府出張所新庁舎完成	
	4月1日	利府出張所、分署に昇格	
	6月10日	宗教法人瑞巖寺からスバルレオーネバン型広報車の寄贈を受け松島分署に配置	
	7月1日	消防計画策定委員会発足	
	8月10日	消防本部庁舎増改築	
	8月25日	塩釜ガス株式会社からスバルレオーネバン型広報車の寄贈を受け塩釜消防署に配置	
	9月3日	カメイ株式会社からニホンフォードテルスター、指令2号車の寄贈を受け消防本部に配置	
	10月25日	千葉妙雄氏、株式会社ごんきやからトヨタクラウンセダン型消防連絡車の寄贈を受け消防本部に配置	
昭和64年	11月1日	塩釜地区消防事務組合条例規則等検討委員会発足(22名)	
	1月7日	昭和天皇崩御	
	1月8日	年号が「平成」と制定される。	
	1月11日	30周年記念事業検討委員会発足	
	2月16日	管内防災支援地図を作製	
	2月24日	昭和天皇の大喪の礼が行われる。	
	3月29日	(有)山源工務店から指揮車(三菱パジェロエステートバン)の寄贈を受け消防本部に配置	
	3月30日	塩釜中央ライオンズクラブからスバルレックスコンピF型ライオンズ号の寄贈を受け消防本部に配置	
	4月1日	・塩釜地区消防事務組合衛生管理者委員会発足(7名) ・管内独居高齢者を対象にテレホンパトロールを開始	
	4月14日	(社)日本損害保険協会から軽化学消防ポンプ自動車の寄贈を受け、5号化学車として利府分署に配置	
平成元年	7月1日	・管内住民に対し消防広報紙(消防通信)を発刊(年4回) ・職員の勤務時間見直しにより4週6休制を実施	
	12月6日	(財)日本防火協会から防火広報車(トヨタハイエース)の寄贈を受け、塩釜消防署に配置	
	平成2年	1月26日	国庫補助及び起債事業により水槽付消防ポンプ自動車を購入(更新)し、松島分署に配置
		4月1日	・救急業務検討委員会発足(14名) ・職員3名を採用し、実員165名となる。
		4月19日	塩釜地区消防事務組合創立20周年記念式典を開催(出席者 225名)
		6月1日	消防施設整備計画策定委員会発足(24名)
		6月9日	職員互助会創立20周年記念パーティを開催(出席者486名)
		7月1日	職員定数の適正化計画により、定数条例改正、185名とする。
		9月28日	当組合創立20周年記念事業として「組合消防のあゆみ」を発刊
		10月1日	特殊勤務手当検討委員会発足(9名)
	11月12日	天皇陛下即位礼正殿の儀が行われる。	
	11月26日	宮城県共済農業協同組合連合会から救急車の寄贈を受け松島分署に配置	
	12月17日	消防本部と塩釜消防署の組織分離検討委員会発足(9名)	

年 号	月 日	記 事	
平成3年	1月21日	災害時の職員搬送用として31人乗マイクロバス購入(更新)	
	1月30日	放火防止対策検討委員会発足(6名)	
	4月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・消防施設整備第六期5ヵ年計画の実施 ・職員5名採用し、実員170名となる。 ・組織機構改革により消防本部と塩釜消防署の分離 ・組織機構改革により当直司令制の導入 ・職員の勤務時間見直しにより土曜閉庁方式の導入 	
	4月10日	新消防艇「さくら」就航(更新)	
	5月1日	管理者に三升正直塩竈市長就任	
	6月11日	多賀城市工場地帯防災協議会発足	
	8月29日	救急救命士法施行に伴う救急救命中央研修所へ職員1名を派遣	
	10月1日	宮城県防災ヘリコプター導入に伴い隊員1名(副隊長)派遣 (期間平成5年9月30日まで2年間)	
	平成4年	1月31日	企業三者共同による広報車(トヨタカムリ)の寄贈を受け、多賀城消防署に配置(更新)
		2月1日	消防業務検討委員会発足(10名)
3月2日		国庫補助及び起債事業によりCD-1型消防ポンプ自動車を購入、松島分署に配置(更新)	
3月10日		国庫補助及び起債事業により利府分署敷地に救助訓練塔を建設	
3月19日		起債事業により多賀城消防署増改築	
3月25日		多賀城消防署増改築及び救助訓練塔落成式を開催(出席者 112名)	
3月30日		石油貯蔵交付金により油火災消火用薬剤貯蔵タンク(10kℓ)を更新	
4月1日		<ul style="list-style-type: none"> ・五代消防長に目黒久就任 ・職員5名採用し、実員172名となる。 	
5月19日		初めて救急救命士1名資格取得	
5月24日		多賀城ライオンズクラブから広報連絡車(日産ADライトバン)の寄贈を受け、多賀城消防署に配置(更新)	
6月11日		財団法人花園まちづくり記念財団から防災パトロール車(三菱パジェロルーフワゴン)の寄贈を受け、利府分署に配置(更新)	
12月1日		職員の勤務時間見直しにより、4週7休制試行を実施	
平成5年	3月18日	35m級梯子自動車(日野自動車)を購入し、多賀城消防署に配置	
	4月1日	職員7名を採用し、実員179名となる。	
	6月～9月	職員の体力錬成の一環として栗駒山登山実施(標高1,628m)	
	9月1日	火災予防の個別指導のため、管内全世帯の一般防火指導を開始	
	9月9日	救急救命士養成のため、広島市消防局救急救命士養成所へ職員1名派遣	
10月1日	週休二日制(試行)		
平成6年	3月27日	救急救命士1名資格取得し、計2名となる。	
	4月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・職員5名を採用し、実員182名(定数185名)となる。 ・塩釜消防署七ヶ浜分署が多賀城消防署に所管替えとなる。 ・1週間当たり40時間勤務を実施(完全週休二日制) ・国庫・県補助事業により高規格救急自動車(トヨタハイメデック 4,000cc)を塩釜消防署に導入業務開始 ・国庫補助及び起債事業によりCD-1型消防ポンプ自動車を購入、利府分署へ配置(更新) ・消防戦術の見直しにより、火災出場区分を改正 	
	4月5日	救急救命士養成のため、救急救命東京研修所へ職員1名を派遣	

年号	月日	記 事	
平成6年	8月5日	消防本部書庫完成	
	9月12日	救急救命士養成のため、仙台市消防局救急救命研修所へ職員2名を派遣	
	11月2日	六代消防長に吉田稔就任	
	11月12日	救急救命士1名資格取得し、計3名となる。	
平成7年	12月27日	職員定数条例の改正により定数203名(5ヵ年計画で18名を増員)となる。	
	2月15日	消防庁舎建設検討委員会発足	
	3月1日	塩釜ガス(株)から広報車(トヨタスプリンターカリブ)の寄贈を受け、七ヶ浜分署に配置(更新)	
	3月8日	宮城県共済農業協同組合連合会からニッサンキャラバン型救急車の寄贈を受け、多賀城消防署に配置(更新)	
	3月28日	・18m級梯子車を20m級屈折梯子車(日野自動車)に更新し、松島分署に配置 ・CD-1型普通ポンプ自動車(三菱ふそう自動車)1台購入し、塩釜消防署に配置(更新)	
	4月1日	職員8名を採用し、実員189名(定員203名)となる。	
	4月4日	救急救命士養成のため、救急救命東京研修所へ職員1名派遣	
	4月17日	宗教法人瑞巖寺から広報車(トヨタスプリンターカリブ)の寄贈を受け松島分署に配置(更新)	
	5月12日	救急救命士2名資格取得し、計5名となる。	
	6月23日	平成7年1月17日発生の阪神・淡路大震災を踏まえ、全国消防機関相互による迅速な援助体制整備のため緊急消防援助隊発足	
	8月29日	(財)日本消防協会からニッサンキャラバン型救急車の寄贈を受け、七ヶ浜分署に配置(更新)	
	10月5日	救急救命士養成のため、救急救命東京研修所へ職員1名派遣	
	11月15日	救急救命士1名資格取得し、計6名となる。	
平成8年	1月23日	緊急消防援助隊発足に伴い派遣隊員(24名)任命	
	3月1日	宮城県防災ヘリコプターに隊員1名3年間派遣	
	3月27日	市町村波第2波(150.19MHz)増波し、運用開始	
	3月29日	・超音波式潮位観測装置(検潮部湾内3か所)処理装置を消防本部、同表示装置を組合構成市町に設置、観測システム業務開始 ・宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業によりCD-1型普通ポンプ自動車(三菱ふそう自動車)を1台購入し、七ヶ浜分署に配置(更新) 水槽付消防ポンプ自動車(日野)を1台購入し、西部出張所配置	
	4月1日	・職員7名を採用し、実員193名(定員203名)となる。 ・消防施設整備第七期5ヵ年計画の実施	
	4月9日	救急救命士養成のため、救急救命東京研修所へ職員1名派遣	
	4月25日	救急救命士1名資格取得し、計7名となる。	
	9月6日	アポロキャップ型作業帽を採用	
	10月1日	・消防組織法の一部改正(平成7年10月1日公布)の施行に伴い、平成8年8月19日、消防職員委員会規則を制定し、10月1日から施行、同日、委員長に消防長に準ずる職員として次長を充て、委員長以下13名の委員会を設置 ・消防本部電話交換をダイヤルイン方式に変更	
	10月15日	救急救命士養成のため、救急救命東京研修所へ職員1名派遣	
	11月13日	救急救命士1名資格取得し、計8名となる。	
	11月29日	第1回消防職員委員会開催	
	12月19日	北海道・東北ブロック初の緊急消防援助隊合同訓練に当組合から救急部隊、消火部隊各1隊参加(仙台市宮城野区港二丁目1番 訓練会場)	
	～	20日	

年号	月日	記 事	
平成8年	12月25日	塩消ニュース創刊20周年特別号を発刊	
平成9年	3月1日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により新防火衣・防火靴更新	
	3月6日	最新式消火システム「インパルス」を塩釜署に1基配備	
	3月28日	・全国波第2波(148.75MHz)並びに第3波(154.15MHz)増波運用開始 ・防火衣保管用ロッカー設置(全署所) ・熱画像カメラ塩釜署に1基配置、ファイバースコープ塩釜消防署・多賀城消防署・松島分署に各1基配置	
	4月1日	職員10名を採用し、実員201名(定員203名)となる。 (県消防学校初任科教育、現行6か月から概ね1年間となる。)	
	4月8日	救急救命士養成のため、救急救命東京研修所へ職員1名派遣	
	4月18日	救急救命士1名資格取得し、計9名となる。	
	5月24日	多賀城ライオンズクラブから防災車両として、ジープ型指揮車の寄贈を受け、多賀城消防署に配備、又同車両用けん引き型トレーラーがソニー(株)仙台テクノロジーセンターから寄贈される。	
	8月8日	平成9年6月28日、松島町根廻地内で発生した列車脱線事故に係る迅速的確な救助活動により、消防本部に対し東日本旅客鉄道から感謝状	
	9月8日	救急救命士養成のため、仙台市消防局救急救命研修所へ職員1名派遣	
	9月12日	平尾昌晃氏ふれあい募金会より消防福祉号として、三菱デリカスペースギア8人乗りワゴン車1台の寄贈を受け消防本部に配置	
	10月6日	・職員定数条例の改正により定数220名となる(消防吏員17名増員) ・塩釜労働福祉会館土地建物取得事業関係補正予算案議決 (10月28日売買契約・11月11日嘱託登記)	
	10月24日	救急救命士1名資格取得し、計10名となる。	
	11月5日	自治体消防50周年記念講演会を塩釜商工会議所に於いて、消防本部・職員互助会共催により、OBの桜井真氏を講師に迎え開催 (演題「消防のはじまりと近代消防への歩み」)	
	11月18日	鹽竈神社から消防搬送車として三菱ふそう2t自動車1台の寄贈を受け消防本部に配置	
	12月25日	分担金条例一部改正議案議決(基準財政需要額の100分の60を、100分の66に改正、施行日・平成10年4月1日)	
	平成10年	1月12日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により指令車(トヨタクラウン)1台購入し、指令1として配置(更新)
		3月20日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業によりCD-1型普通ポンプ自動車(三菱ふそう自動車)を1台購入し、多賀城消防署に配置(更新)
3月23日		陸上自衛隊多賀城駐屯地周辺消防施設設置助成事業により水-II型水槽付消防ポンプ自動車を更新配置	
3月24日		利府救急車(救急5)を災害対応特殊救急車に更新配置	
4月1日		・職員7名を採用し、実員208名(定員220名)となる。 ・利府分署配置人員を8名増員(現行総員21名から29名)し、救急隊の専従化を図る。	
平成11年	4月23日	救急救命士2名資格取得し、計12名となる。	
	9月1日	・旧塩釜労働福祉会館を改修し、新消防本部庁舎として移転執務開始 ・元職員(32名)を対象とした、消防協力援助隊発足	
	11月25日	救急救命士1名資格取得し、計13名となる。	
	3月1日	宮城県防災ヘリコプターに隊員1名3年間派遣	
	3月24日	旧消防本部事務室を改修し、新情報通信室に新鋭指令施設を導入する。	
	3月25日	宮城県共済農業協同組合連合会から救急車の寄贈を受け松島分署に配置	

年号	月日	記 事	
平成11年	3月29日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により高規格救急自動車(ニッサンハイメデック 3,270cc)を多賀城消防署に導入業務開始	
	4月1日	・七代消防長に田中一夫就任 ・職員9名を採用し、実員216名(定員220名)となる。 ・利府分署配置人員を2名増員(現行総員29名から31名) ・機構改革により情報通信室を指令課に改め、組織替えを図る。	
	5月1日	塩釜地区消防事務組合規約の一部改正により議員定数14名を12名に改正	
	5月13日	救急救命士1名資格取得し、計14名となる。	
	7月1日	・塩釜地区消防事務組合の共同処理する事務の変更及び組合規約の変更により事務局及び介護保険課(定員5名)を設置 ・職員定数条例の改正により定数225名となる。	
	8月30日	日本消防協会から、C-1級可搬消防ポンプ付軽積載車(三菱ミニカ)の寄贈を受け塩釜消防署に配置	
	10月1日	介護認定審査業務開始	
	12月8日	救急救命士1名資格取得し、計15名となる。	
	平成12年	4月1日	・消防長を本部長とする行財政改善推進本部を設置し、行財政の改善に取り組む。 ・「煙火消費及び建設用びょう打ち銃用空包に係る許可事務」及び「液化石油ガス設備工事届及び特定液化石油ガス設備工事事業関係の事務」が県より移譲され業務を開始する。
		4月12日	救急救命士1名資格取得し、計16名となる。
7月31日		塩釜地区消防事務組合消防音楽隊活動を一時休止する。	
9月1日		行政需要の変化に的確に対応し、効果的な行政施策を計画的に推進するため、基本計画となる「消防プラン21」を策定し、計画行政の推進を図る。	
10月19・20日		塩釜地区消防事務組合職員互助会30周年記念行事をセヶ浜町国際村にて開催(出席者648名)	
10月23日		救急救命士1名資格取得し、計17名となる。	
12月8日		宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、多賀城消防署配置の救助工作車Ⅱ型(三菱ふそう5.5t大型自動車)を更新配置	
平成13年		2月2日	塩釜地区消防事務組合規約変更許可となる。 (負担割合を構成市町の基準財政需要額の総額に対する構成市町ごとの構成割合とする。)
		4月1日	・職員の再任用に関する制度施行 (消防司令以下は平成19年度以降施行) ・事務局が5名から7名体制となり、介護認定審査業務を消防職員のみで執行する。 ・職員定数条例の改正により定数227名となる。 ・本部組織の機構改革により、危険物係を保安係、救急係を救急救助係に改組するとともに隔日勤務職員を増員し当直体制の強化を図る。 ・基本計画に基づき施設整備に係る「消防施設整備第8期5ヵ年計画」の実施
		4月10日	救急救命士1名資格取得し、計18名となる。
	9月～10月	第56回国民体育大会(夏季・秋季)及び第1回全国障害者スポーツ大会の開催に伴い消防警備を実施する。	
	平成14年	3月1日	宮城県防災ヘリコプターに隊員1名3年間派遣
		3月26日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、セヶ浜分署配置の化学消防ポンプ自動車Ⅱ型(三菱ふそう5.5t大型自動車)を更新配置
4月1日		・八代消防長に渡邊杜夫就任 ・職員3名(内初の女性消防官1名)を採用し、実員219名(定員227名)となる。	

年号	月日	記 事
平成14年	6月	2002年FIFAワールドカップサッカー大会が日本・韓国の20都市で開催され、利府町にある宮城スタジアムでも3試合(6/9メキシコVSエクアドル、6/12アルゼンチンVSスウェーデン、6/18日本VSTルコ)が行われ消防警備を実施する。
	8月1日	119番FAX通信システムを導入・運用開始
	10月24日	救急救命士1名資格取得し、計19名となる。
	12月11日	国庫補助事業により利府分署配置の化学消防ポンプ自動車Ⅱ型(日野自動車5.5t大型自動車)を更新配置
平成15年	3月13日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、塩釜消防署配置の高規格救急自動車(トヨタハイメディック 3,400cc)を更新配置
	4月1日	・職員4名を採用し、実員219名(定員227名)となる。 ・仙台市消防局と初の人事交流
	5月1日	管理者に佐藤 昭塩竈市長就任
平成16年	11月19日	塩釜消防署配置の指揮車(トヨタハイラックスサーフ 2,700cc)を更新配置
	3月30日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、多賀城消防署配置の化学消防ポンプ自動車Ⅳ型(日野自動車10t大型自動車)を更新配置
	4月1日	・職員3名(内女性1名)を採用し、実員220名(定員227名)となる。 ・機構改革により消防危機管理監を配置する。 ・消防組織法改正に伴い、緊急消防援助隊へ都道府県隊指揮隊、消火隊、救急隊、後方支援隊の4隊、14名を国に登録 ・改正服制基準による新活動服を採用
	4月20日	救急救命士1名資格取得し、計20名となる。
	11月2日	消防本部警防課配置の指揮車(スズキエスクード 2,000cc)を更新配置
平成17年	11月11日	救急救命士1名資格取得し、計21名となる。
	2月17日	救急救命士1名が気管挿管実施について宮城県メディカルコントロール協議会から認定される。
	3月1日	宮城県防災ヘリコプターに隊員1名3年間派遣
	3月30日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、松島分署配置の水-Ⅱ型水槽付消防ポンプ自動車(日野自動車5t大型自動車)を更新配置
	4月1日	・消防力の充実強化のため松島分署、七ヶ浜分署及び利府分署を消防署へ昇格させる。 ・職員4名を採用し、実員223名(定員227名)となる。
	8月18日	救急救命士1名が気管挿管実施について宮城県メディカルコントロール協議会から認定され、計2名となる。
	11月1日	九代消防長に芳賀輝秀就任
	11月14日	救急救命士1名取得し、計22名となる。
	12月6日	救急救命士1名が気管挿管実施について宮城県メディカルコントロール協議会から認定され、計3名となる。
	平成18年	3月27日
4月1日		・障害者自立支援法施行に伴い、事務局の介護保険課を介護審査課に改め、障害者自立支援審査業務開始 ・職員5名を採用し、実員225名(定員227名)となる。
6月8日		宗教法人瑞巖寺から指揮車(トヨタサクシード(4WD))の寄贈を受け松島消防署に配置(更新)
6月14日		救急救命士1名が気管挿管実施について宮城県メディカルコントロール協議会から認定され、計4名となる。

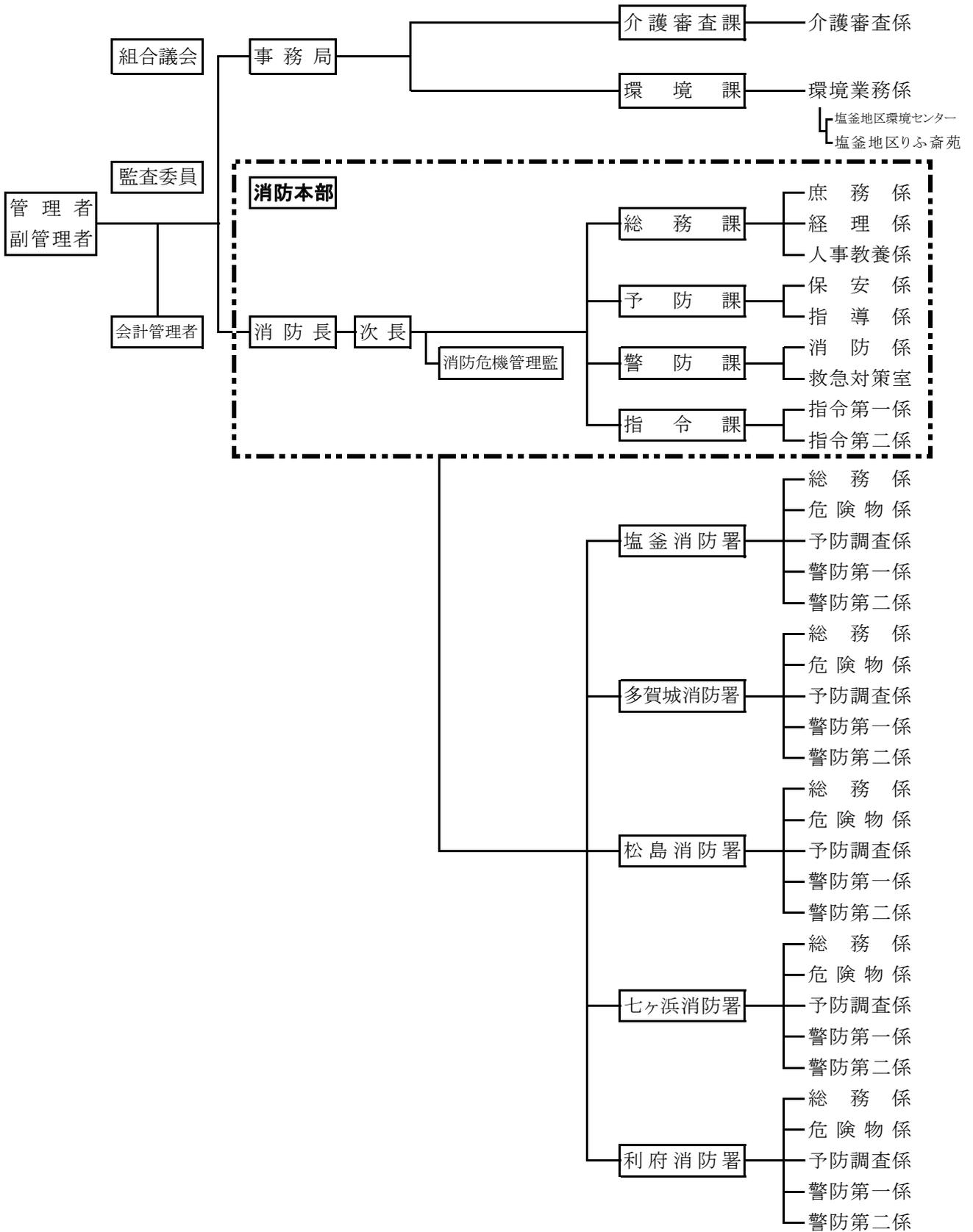
年号	月日	記 事
平成18年	7月25日	救急救命士1名が薬剤投与実施について宮城県メディカルコントロール協議会から認定される。
	9月1日	財団法人日本宝くじ協会助成事業により、消火・通報訓練指導車「けすゾウくん」を西部出張所に配置
	10月6日	救急救命士1名が気管挿管実施について宮城県メディカルコントロール協議会から認定され、計5名となる。
	11月21日	CD-1型消防ポンプ自動車(日野自動車2t車ベース)1台購入し松島消防署に更新配置
平成19年	2月28日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、高規格救急自動車(ニッサンパラメディック3,500cc)を松島消防署に更新配置。当組合の救急自動車が全て高規格救急自動車となる。
	3月15日	株式会社白寿殿から消防連絡車(トヨタクラウン)の寄贈を受け、消防本部に更新配置
	4月1日	・職員5名(内女性1名)を採用し、実員225名(定員227名)となる。 ・ホームページ開設
	9月1日	平成19年度宮城県総合防災訓練が多賀城市(陸上自衛隊多賀城駐屯地)で開催される。
平成20年	3月28日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、高規格救急自動車(トヨタハイメック2,700cc)を利府消防署に更新配置
	4月1日	職員6名を採用し、実員225名(定員227名)となる。
	7月4日	宗教法人瑞巖寺から搬送1(トヨタダイナ)の寄贈を受け消防本部に配置
	12月26日	宮城県消防広域化推進計画が策定され、県内3消防本部体制により、県中ブロックとして仙台市消防局・黒川地域行政事務組合消防本部との広域化の枠組みが示される。
平成21年	3月27日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、大型高所放水車(高所1)を塩釜消防署に更新配置
	4月1日	・職員6名(内女性1名)を採用し、実員225名(定員227名)となる。 ・十代消防長に平山優就任 ・警防課救急救助係を救急対策室に改編
	12月24日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、高規格救急自動車(ニッサンパラメディック3,500cc)を多賀城消防署に更新配置
平成22年	2月25日	指揮車(マツダビアンテ1,900cc)を購入し利府消防署に更新配置
	3月27日	市町村振興総合補助事業によりCD-1型消防ポンプ自動車(日野自動車2t車ベース)を利府消防署に更新配置
	4月1日	職員10名を採用し、実員226名(定員227名)となる。
平成23年	2月3日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、指揮車(マツダビアンテ1,900cc)を七ヶ浜消防署に更新配置
	3月11日	14時46分三陸沖を震源とするM9.0の東北地方太平洋沖地震が発生し、管内では震度6強を観測。また、大津波の襲来により多数の死傷者が発生、さらに仙台地区石油コンビナート(多賀城市)で火災が発生し、甚大な被害をもたらした。 県内隣接消防本部をはじめ緊急消防援助隊の長野県隊、岡山県隊、徳島県隊及び兵庫県隊の応援を受け活動に当たった。
	3月29日	消防本部新庁舎完成
	4月1日	・職員8名を採用し、実員224名(定員227名)となる。 ・十一代消防長に志賀寧就任

年号	月日	記 事
平成23年	4月1日	・小型動力ポンプ付水槽車Ⅱ型(日野プロフィア8,860cc、水槽容量10,000ℓ)を購入し塩釜消防署に更新配置 ・「緊急消防援助隊として活動する人員の属する都道府県又は市町村に無償使用させる消防用の国有財産及び国有物品の取扱いに関する省令」に基づき無償貸与された支援車Ⅰ型(日野プロフィア12,910cc)を利府消防署に配備
平成24年	1月11日	緊急消防援助隊設備整備費補助事業により、高規格救急自動車(トヨタハイエース2,693cc)を塩釜消防署に更新配置
	3月26日	・消防車両整備指定寄付金により、CD-1型消防ポンプ自動車(日野デュトロ4,009cc)を多賀城消防署に更新配置 ・宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、CD-1型消防ポンプ自動車(日野デュトロ4,009cc)を七ヶ浜消防署に更新配置
	3月27日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、救助工作車Ⅱ型(日野レンジャー6,403cc)を多賀城消防署に配置
	4月1日	・職員12名を採用し、実員223名(定員227名)となる。
	10月23日	平成24年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練(図上訓練)を宮城県総合運動公園グランディ・21セキスイハイムスーパーアリーナ(宮城県総合体育館)で実施。県外33機関、県内23機関が相互に連携して災害対応図上訓練をし、災害即応体制の向上を図った。
平成25年	3月5日	仙台農業協同組合及び全国共済農業協同組合連合会宮城県支部より高規格救急車(トヨタ2,693cc)の寄贈を受け、七ヶ浜消防署に更新配置
	4月1日	・職員13名を採用し、実員216名(定員227名)となる。 ・消防救急無線のデジタル化が整備され、本部庁舎4階に高機能消防通信システム(超音波式潮位観測装置、全国瞬時警報システム含む)を導入して、消防指令センターを運用開始する。
平成26年	3月20日	市町村振興総合補助事業により水Ⅱ型消防ポンプ自動車(日野自動車5t車ベース)を多賀城消防署西部出張所に更新配置
	4月1日	・塩釜地区消防事務組合と塩釜地区環境組合が再編統合され組合規約を変更、共同処理する事務にし尿処理場及び火葬場の管理運営等に関する事務が追加、事務局に環境課(定数6名)を設置 ・職員定数条例の改正により定数232名となる。 ・職員17名(旧塩釜地区環境組合職員3名を含む)を採用し、実員223名(内女性6名)となる。 ・十二代消防長に並木明就任
	11月28日	組合倉庫完成
	12月8日	高規格救急自動車(トヨタハイエース2,693cc)を購入し松島消防署に更新配置
平成27年	3月23日	指揮隊車(トヨタレジアスエース2,693cc)を購入し消防本部に配置
	3月26日	人員輸送車(日野エレッセⅡ4,000cc)を購入し消防本部に更新配置
	3月27日	・搬送車(いすゞフォワード5,193cc)を購入し塩釜消防署に更新配置 ・CD-1型消防ポンプ自動車(日野デュトロ4,000cc)を購入し塩釜消防署に更新配置
	4月1日	職員12名を採用し、実員228名(定員232名)となる。
	10月1日	・「緊急消防援助隊として活動する人員の属する都道府県又は市町村に無償使用させる消防用の国有財産及び国有物品の取扱いに関する省令」に基づき無償貸与された津波・大規模風水害対策車(いすゞフォワード7,790cc)を塩釜消防署に配備
	12月17日	高規格救急自動車(トヨタハイエース2,693cc)を購入し利府消防署に更新配置
平成28年	2月1日	市町村振興総合補助事業により水Ⅱ型消防ポンプ自動車(日野レンジャー6,403cc)を塩釜消防署に更新配置

年号	月日	記 事
平成28年	3月25日	指揮車(日産セレナ1,997cc)を購入し多賀城消防署に更新配置
	3月31日	指令車(トヨタカムリハイブリット2,493cc)を購入し消防本部に更新配置
	4月1日	職員10名を採用し、実員227名(定員232名)となる。
	4月17日	宮城県林野火災防ぎょ訓練が宮城県総合運動公園(利府町)で開催。27機関300名が参加し、消防職員・消防団員の火災防ぎょ技術の向上を図った。併せて、組合主体で訓練に参加する航空機・車両の見学写真撮影会(来場者500名)を実施し、県民に広く防災思想の普及を図った。
	8月31日	台風第10号被害により、初の緊急消防援助隊宮城県大隊の災害派遣として、岩手県岩泉町へ出動。主に岩泉町小本川流域の行方不明者救助活動を実施し、宮城県大隊として2名救出した。 派遣期間:8月31日～9月9日(10日間) 最大59名、延べ236名が出動
平成29年	2月8日	高規格救急自動車(日産パラメディック3,498cc)を購入し多賀城消防署に更新配置
	4月1日	職員6名を採用し、実員228名(定員232名)となる。
	7月～8月	平成29年度全国高等学校総合体育大会(南東北インターハイ)・第41回全国高等学校総合文化祭(みやぎ総文2017)が開催され、特別警戒を実施
平成30年	8月23日	第46回全国消防救助技術大会が宮城県総合運動公園(利府町)で開催
	2月1日	高規格救急自動車(日産パラメディック3,498cc)を購入し、塩釜消防署に更新配置
	3月1日	35m級先端屈折式梯子自動車(日野自動車)を購入し、多賀城消防署に更新配置
	4月1日	・職員6名を採用し、実員225名(定員232名)となる。 ・十三代消防長に柴正浩就任
	9月1日	平成30年度宮城県総合防災訓練が七ヶ浜町で開催 70機関約2,000人が参加し、大規模災害対応能力の向上を図った。
平成31年	9月6日	北海道胆振東部地震に伴い、緊急消防援助隊宮城県大隊の一員として北海道勇払郡厚真町へ後方支援小隊2隊(支援1、搬送1)が出動。主に宮城県大隊の後方支援活動を実施
	9月11日	援活動を実施
	1月22日	化学消防ポンプ自動車Ⅱ型(日野自動車5,120cc)を購入し、七ヶ浜消防署に更新配置
	3月15日	アステラス製薬株式会社より高規格救急自動車1台(トヨタハイメディック)の寄贈を受け、塩釜消防署に配置
	3月29日	有限会社中央交通及び株式会社白寿殿より消防連絡車(トヨタクラウン)の寄贈を受け、消防本部に更新配置
令和元年	4月1日	・職員6名を採用し、実員222名(定員232名)となる。 ・寄贈された高規格救急車を塩釜消防署に配置し、救急隊2隊体制で運用開始
	5月1日	年号が「令和」と制定される。
	10月1日	2020東京オリンピック・パラリンピックにおける警備業務の準備・運営のため、組織委員会からの要請に基づき、職員1名を派遣
	10月12日	令和元年東日本台風の警戒活動を実施(救助15件42名救出、救急17件、調査17件)
	10月13日	令和元年東日本台風に伴い、県広域消防応援隊の一員として、丸森町へ出動 延べ27隊69名が要救助者検索、住民の安否確認等の活動を実施
令和2年	10月25日	
	3月11日	化学消防ポンプ自動車Ⅱ型(日野自動車5,120cc)を購入し、利府消防署に更新配置
	4月1日	職員8名を採用し、実員221名(定員232名)となる。
	4月30日	岩沼市臨空工業団地物流倉庫火災に伴い、県広域消防応援隊の一員として、岩沼市プロロジスパーク岩沼Ⅰへ出動
令和3年	5月4日	延べ20隊42名が消火活動を実施
	3月22日	水槽付き消防ポンプ自動車Ⅱ型(日野自動車5,120cc)を購入し、松島消防署に更新配置
	4月1日	・これまでの多賀城消防署と西部出張所を統廃合し、多賀城市八幡字一本柳117番地の17に多賀城消防署を開設(指揮車、ポンプ車2台、はしご車、化学車、救助工作車、救急車2台等、計12台、職員42名) ・職員12名を採用し、実員225名(定員232名)となる。

年号	月日	記 事
令和3年	6月20日	東京2020オリンピック競技大会開催に係る聖火リレーが管内で開催。聖火リレー走者の安全確保(着衣火災・急病対応)のため消防特別警戒を実施
	7月21日	東京2020オリンピック競技大会サッカー競技(男女10試合)が宮城スタジアム(利府町)で開催され、競技会場のテロ災害等大規模災害に対応するため、県内消防本部(局)が一体となり、警戒する「みやぎ方式」での消防特別警戒計画を策定。新型コロナウイルス感染症に係る対策を講じ、過去最大規模(延べ168隊1,041名)で警戒を実施
	7月31日	塩釜地区りふ斎苑落成式
	7月30日	塩釜地区りふ斎苑供用開始(火葬炉8炉(人体炉7炉、ペット炉1炉) 告別収骨室4室、待合室7室、バグフィルターなど)
令和4年	8月1日	
	2月15日	・高規格救急自動車(日産パラメディック2,480cc)を購入し七ヶ浜消防署に更新配置 ・泡消火薬剤の残留性有機汚染物質(PFOS)に係る国際条約及び法律改正等の環境問題に対応するため、これまで当組合で保有していた泡消火薬剤の処分と併せて新たな泡消火薬剤(合成界面活性剤総量:12,640ℓ)を更新。組合倉庫及び各署化学消防自動車へ配備
	4月1日	・職員8名を採用し、実員220名(定員232名)となる。 ・十四代消防長に小野秀一就任
令和5年	10月6日	第39回消火技術コンクールを実施し、地域住民の有事の際における通報、初期消火技術の習得に合わせて、地域ぐるみの防火防災組織の協力態勢の確立に役立った。
	1月	令和4年の救急出場件数が当消防本部史上最多の10,080件を記録する。
	2月15日	消防ポンプ自動車(日野デュトロ4,009cc)を購入し、松島消防署に更新配置
令和6年	3月31日	・旧多賀城消防署解体工事完了に伴い、多賀城市に事業用地を返還する。 ・旧塩竈斎場解体工事完了に伴い、塩竈市に事業用地を返還する。
	4月1日	職員7名を採用し、実員223名(定員232名)となる。
	2月24日	高規格救急自動車(日産パラメディック2,480cc)を購入し松島、利府消防署に更新配置
	4月1日	・十五代消防長に星和彦就任 ・職員8名を採用し、実員226名(定員232名)となる。

塩釜地区消防事務組合組織図



本 部 庁 舎 ・ 消 防 署 等 位 置

区 分	所 在 地	構 造	敷地 m ²	建物 m ²	竣 工	
消防本部	〒985-0021 塩竈市尾島町17番22号	RC造 4階建	2,212.41	建	282.10	H23.3.29
				延	992.71	
塩釜消防署		RC造 2階建		建	518.00	S46.5.31
				延	911.60	
				増築	125.60	S63.11.25
多賀城消防署	〒985-0874 多賀城市八幡字一本柳117番地の17	鉄骨造 2階建	4,698.07	建	1,110.90	R3.2.19
				延	1,658.24	
松島消防署	〒981-0213 松島町松島字蛇ヶ崎右53番地	RC造2階 塔屋付	1,265.71	建	301.00	S50.3.25
				延	545.75	
七ヶ浜消防署	〒985-0821 七ヶ浜町汐見台七丁目5番322号	鉄骨造 2階建 一部平屋	1,020.00	建	300.91	S53.9.10
				延	441.80	
利府消防署	〒981-0112 利府町利府字堀切前11番1号	鉄骨造 2階建 塔屋付	2,176.16	建	369.00	S63.3.29
				延	546.62	
組合倉庫	塩竈市貞山通二丁目1番1号	鉄骨造 2階建	224.52	建	145.92	H26.11.28
				延	255.81	

管 内 情 勢

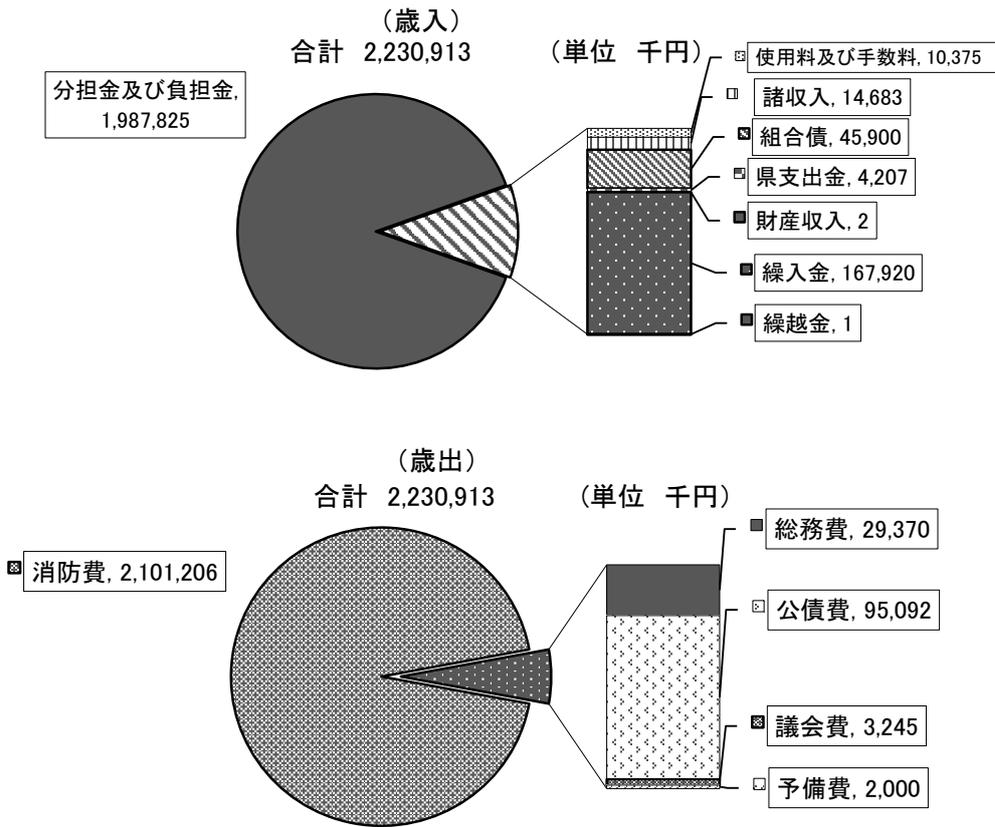
区 分	管内合計	消防本部	塩釜消防署	多賀城消防署	松島消防署	七ヶ浜消防署	利府消防署	
面積 (km ²)	148.70	—	17.37	19.69	53.56	13.19	44.89	
世帯数	79,488	—	24,239	28,304	5,718	6,927	14,300	
人口 (人)	180,244	—	51,891	61,782	13,019	17,748	35,804	
消防職員数	消防吏員	220	47	50	43	24	24	32
	他職員	6	6	—	—	—	—	—
消防吏員1人当り	面積 (km ²)	0.68	—	0.35	0.46	2.24	0.55	1.41
	世帯数	362	—	485	659	239	289	447
	人口 (人)	820	—	1,038	1,437	543	740	1,119
消防自動車等の数	消防ポンプ車 (水槽付・化学車含む。)	実動車 (台)	11	—	2	3	2	2
		予備車 (台)	2	2	—	—	—	—
	救急車 (台)	9	2	2	2	1	1	1

※消防本部の消防職員数は、事務局を含む。

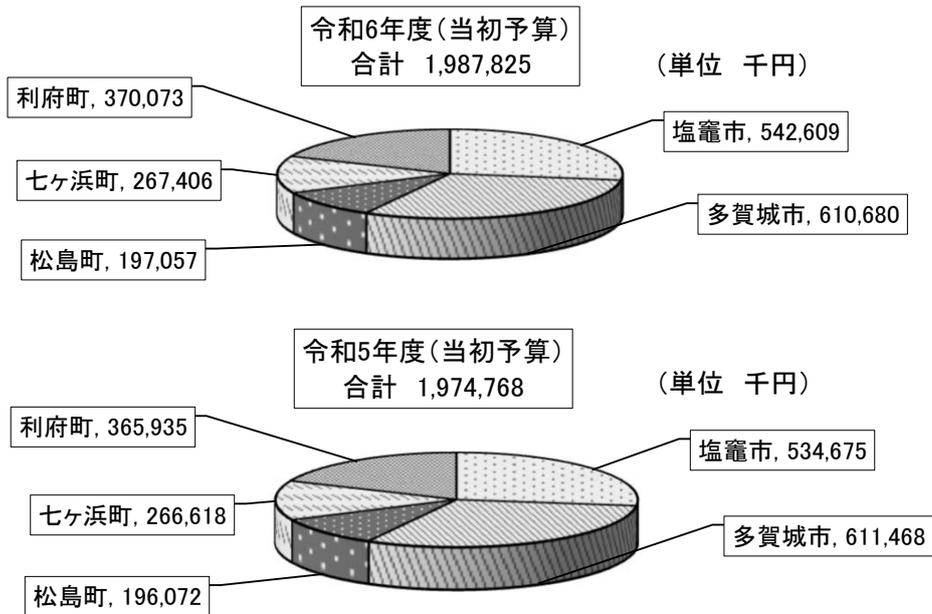
第1編 総務



令和6年度塩釜地区消防事務組合一般会計予算(当初予算)



構成市町負担金状況



組合予算と職員数・人口・世帯数の推移

年 度	予算額 (千円)	消 防 職 員		管 内 人 口 ・ 世 帯 数			
		定 員	実 員	人 口	一人当たり (円)	世 帯 数	一 世 帯 当たり(円)
45	146,469	120	80	131,951	1,110	32,203	4,548
50	374,625	136	136	143,854	2,604	37,927	9,878
55	712,800	165	163	154,645	4,609	41,131	17,330
60	845,050	165	163	163,437	5,170	45,736	18,447
平元	1,050,839	165	163	168,158	6,249	49,754	21,121
5	1,413,800	185	179	181,019	7,810	55,542	25,454
10	2,083,000	220	208	190,590	10,929	61,645	33,790
15	2,004,396	227	219	192,229	10,427	65,234	30,726
20	2,043,161	227	225	191,824	10,651	68,770	29,710
25	2,051,700	227	216	188,964	10,858	71,330	28,763
28	2,022,925	232	227	187,853	10,769	74,045	27,320
29	2,226,327	232	228	187,243	11,890	74,904	29,722
30	2,121,439	232	225	186,310	11,387	75,481	28,106
令元	2,080,038	232	222	185,352	11,224	76,063	27,346
2	3,014,265	232	221	185,093	16,285	76,773	39,262
3	2,091,712	232	225	183,935	11,372	77,386	27,030
4	2,192,420	232	220	182,337	12,024	78,031	28,097
5	2,090,104	232	223	181,979	11,485	78,656	26,573
6	2,230,913	232	226	180,244	12,377	79,488	28,066

組合議会等

区分	議会議員	管理者等			監査委員	
		管理者	副管理者	会計管理者	議会選出	識見者
合計	12	1	4	1	1	1
塩竈市	3 (議長 1)	1	-	1	-	-
多賀城市	3 (副議長 1)	-	1	-	-	-
松島町	2	-	1	-	1	-
七ヶ浜町	2	-	1	-	-	1
利府町	2	-	1	-	-	-

歴代消防長

区分	歴代	階級	氏名	在職期間
消防長	初代	消防監	大沼盛	S45. 4. 1~S48. 3.31
	二代	〃	児玉金七	S48. 4. 1~S50. 7.31
	三代	消防正監	板宮秀夫	S50. 8. 1~S58. 6.30
	四代	〃	豊島繁	S58. 7. 1~H 4. 3.31
	五代	〃	目黒久	H 4. 4. 1~H 6.10.31
	六代	〃	吉田稔	H 6.11. 2~H11. 3.31
	七代	〃	田中一夫	H11. 4. 1~H14. 3.31
	八代	〃	渡邊杜夫	H14. 4. 1~H17.10.31
	九代	〃	芳賀輝秀	H17.11. 1~H21. 3.31
	十代	〃	平山優	H21. 4. 1~H23. 3.31
	十一代	〃	志賀寧	H23. 4. 1~H26. 3.31
	十二代	〃	並木明	H26. 4. 1~H30. 3.31
	十三代	〃	柴正浩	H30. 4. 1~R4.3.31
	十四代	〃	小野秀一	R4. 4. 1~R6.3.31
	十五代	〃	星和彦	R6. 4. 1~現在

職員配置状況

区分	合計	消防正監	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	他職員
合計	227 (11)	1	3	7	34 (1)	61 (2)	50 (2)	—	65 (4)	6 (2)
消防本 事務局	54 (4)	1	1	4	12 (1)	14	7 (1)	—	9	6 (2)
塩釜 消防署	50 (4)	—	1	—	5	14 (1)	13 (1)	—	17 (2)	—
多賀 消防署	43 (3)	—	1	—	6	12 (1)	12	—	12 (2)	—
松島 消防署	24	—	—	1	3	8	6	—	6	—
七ヶ浜 消防署	24	—	—	1	3	6	6	—	8	—
利府 消防署	32	—	—	1	5	7	6	—	13	—

()はうち女性職員

職員年齢状況

区分	合計	消防正監	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	他職員
合計	227	1	3	7	34	61	50	—	65	6
25歳未満	29	—	—	—	—	—	—	—	29	—
25～30 "	30	—	—	—	—	1	6	—	22	1
30～35 "	36	—	—	—	—	4	20	—	12	—
35～40 "	32	—	—	—	—	14	16	—	2	—
40～45 "	26	—	—	—	2	16	5	—	—	3
45～50 "	30	—	—	—	13	14	2	—	—	1
50～55 "	31	—	1	2	14	12	1	—	—	1
55歳以上	13	1	2	5	5	—	—	—	—	—

救命救急士階級構成表

区分	合計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防士
救急救命士	39	—	1	7	13	11	7

消防救助隊の編成

区分	特別救助隊	水難救助隊
合計	36	15
隊長	1	1
副隊長	1	1
隊員	34	13

職員資格取得状況

区分	(実員)	救急救命士	ブドウ糖投与			大型自動車	中型自動車	準中型自動車	普通自動車	大型特殊車	大型2種	自動2輪	けん引	小型船舶1級	小型船舶2級	陸上特殊無線士	海上特殊無線士	予防技術資格者			危険物取扱者			消防設備士		小型クレーン	玉掛技能	ガス溶接	アーク溶接	酸欠主任者	潜水士	銃砲取扱者	アマチュア無線	毒劇物取扱者	電気工事士	衛生管理者
			薬剤投与認定	気管挿管認定	ブドウ糖投与													査察	設備	危険物	甲種	乙種	丙種	甲種	乙種											
合計	226	41	33	37	35	151	159	63	44	12	4	86	10	15	27	192	21	59	23	39	3	205	6	4	8	68	68	17	4	25	35	17	13	1	5	5
司令長以上	10	1	1	1	—	8	10	—	—	1	—	6	1	3	1	4	3	—	—	2	—	7	4	—	—	3	3	—	—	6	2	—	4	—	—	1
司令	34	7	7	7	6	29	34	—	—	2	2	15	4	5	2	28	4	3	3	4	1	32	1	2	2	17	19	9	—	16	6	—	4	—	1	2
司令補	61	15	13	14	14	53	59	3	—	5	2	28	5	7	12	56	13	25	12	15	2	59	1	2	4	35	33	5	4	3	13	10	5	1	1	1
士長	50	11	11	11	11	37	29	32	—	2	—	20	—	—	12	50	1	24	6	14	—	49	—	—	1	12	13	1	—	—	7	5	—	—	2	—
消防士	65	7	1	4	4	24	22	28	43	2	—	17	—	—	—	54	—	7	2	4	—	58	—	—	1	1	—	2	—	—	7	2	—	—	1	—
他職員	6	—	—	—	—	—	5	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1

職員研修状況

区分		対象者等	日数	人数	
消防学校	初任総合教育		新たに消防職員に任命された者	180	6
	専科教育	警防科	消防士長又は消防司令補の階級にあり、かつ警防業務に3年以上従事している者	10	2
		予防査察科	消防士長以上の階級にあり、かつ予防査察業務に3年以上従事している者	10	1
		火災調査科	消防士長以上の階級にあり、かつ火災調査業務に3年以上従事している者で、火災原因判定書の作成実績がある者。	10	1
	幹部教育	中級幹部科	消防司令及び組織の管理を職務とする消防司令補の階級にある者	7	1
	特別教育	救急救命士再教育講習	救急救命士の資格を有する者	1	2
		救急隊員再教育講習	救急隊員として、1～5年間従事している者	3	2
		救助隊員再教育講習	救助隊員として、1～5年間従事している者	10	2
通信指令員教育講習		通信指令業務に従事する者	3	2	
消防大学校	緊急消防援助隊教育科	指揮隊長コース	消防司令の階級にある者	13	1

第2編 予 防



用途別建築同意処理状況

(R5. 12. 31)

区 分	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計	178	17	11	13	12	11	15	17	21	12	16	20	13
専 用 住 宅	36	5	3	3	-	3	7	4	6	1	-	2	2
観 覧 場 ・ 集 会 所 等	3	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-
キ ャ バ レ ー ・ 遊 技 場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
飲 食 店 等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
店 舗	11	-	-	-	1	-	-	-	3	1	3	1	2
旅 館 ・ ホ テ ル	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
共 同 住 宅	9	-	-	-	2	-	-	1	-	1	2	2	1
病 院 ・ 診 療 所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福 祉 施 設 ・ 保 育 所	16	1	-	-	1	1	-	2	2	1	2	6	-
幼 稚 園	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
学 校	3	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-
図 書 館 ・ 博 物 館	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
公 衆 浴 場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
駅 ・ 空 港	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	2	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
工 場 ・ 作 業 所	8	2	-	1	1	-	1	1	-	1	-	1	-
車 庫 ・ 駐 車 場	4	-	-	-	1	1	-	-	2	-	-	-	-
倉 庫	8	2	1	2	-	-	-	-	-	-	2	1	-
事 務 所	31	2	2	1	4	3	3	3	2	3	1	3	4
複 合 建 築 物	10	-	-	2	1	-	1	2	1	2	1	-	-
危 険 物 関 係	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
工 作 物 ・ そ の 他	32	4	3	2	1	3	2	-	4	1	4	4	4

※ 専用住宅には一戸建ての木造住宅は含まない。ただし、塩竈市内の準防火地域内の一戸建て木造住宅については含む。

市町別建築同意処理状況

(R5. 12. 31)

年	合計	塩竈市	多賀城市	松島町	七ヶ浜町	利府町
H26年	363	101	109	40	59	54
H27年	332	107	112	49	22	42
H28年	328	102	113	28	29	56
H29年	282	89	90	20	27	56
H30年	267	92	75	16	16	68
H31年	237	64	72	29	18	54
R2年	257	58	118	17	18	46
R3年	268	89	66	26	14	73
R4年	194	65	61	10	18	40
R5年	178	57	44	16	8	53

予
防

防火対象物数

(R6. 3. 31)

区 分		合 計	塩 竈 市	多 賀 城 市	松 島 町	七 ヶ 浜 町	利 府 町
合 計		3,871	1,100	1,446	328	362	635
1	イ 劇場・映画館・演芸場・観覧場	14	1	2	1	3	7
	ロ 公会堂・集会場	71	10	14	20	17	10
2	イ キャバレー・ナイトクラブ	3	2	1	-	-	-
	ロ 遊技場・ダンスホール	10	3	3	1	-	3
	ハ 性風俗関連特殊営業店舗	1	-	1	-	-	-
	ニ カラオケボックス等	2	-	1	1	-	-
3	イ 待合・料理店	6	3	1	-	-	2
	ロ 飲食店	104	20	34	20	13	17
4	百貨店・マーケット・店舗	237	70	85	19	11	52
5	イ 旅館・ホテル・宿泊所	62	7	15	21	6	13
	ロ 寄宿舎・共同住宅・下宿	1,210	275	656	47	77	155
6	イ 病院・診療所・助産所	106	36	34	5	10	21
	ロ 老人福祉施設・救護施設等	60	21	21	7	4	7
	ハ ディサービスセンター・保育所等	123	23	47	12	18	23
	ニ 幼稚園・特別支援学校等	25	6	8	2	3	6
7	小学校・中学校・高等学校等	131	26	59	10	14	22
8	図書館・美術館・博物館	9	1	2	4	2	-
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場等	3	-	2	1	-	-
	ロ イに掲げる公衆浴場以外	-	-	-	-	-	-
10	車両の停車場・船舶等の発着場	5	1	2	2	-	-
11	神社・教会・寺院等	61	18	14	9	7	13
12	イ 工場・作業場	427	154	118	21	34	100
	ロ テレビスタジオ・映画スタジオ	-	-	-	-	-	-
13	イ 自動車車庫・駐車場	21	3	11	1	1	5
	ロ 飛行機等の格納庫	-	-	-	-	-	-
14	倉庫	228	105	48	17	27	31
15	前各号に該当しない事業所	538	147	139	61	91	100
16	イ 複合用途（特定）	294	111	94	39	19	31
	ロ 複合用途（その他）	113	53	34	4	5	17
17	文化財	7	4	-	3	-	-

※ 対象物数については、棟単位の数

危 険 物 施 設 数

(R6. 3. 31)

製造所等別		市町別					
		計	塩 竈 市	多賀城市	松 島 町	七ヶ浜町	利 府 町
製 造 所		2	1	-	-	1	-
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	49	14	12	5	4	14
	屋外タンク貯蔵所	171	115	25	9	20	2
	屋内タンク貯蔵所	11	4	1	5	-	1
	地下タンク貯蔵所	91	26	28	15	4	18
	簡易タンク貯蔵所	2	-	-	1	-	1
	移動タンク貯蔵所	567	197	224	7	96	43
	屋 外 貯 蔵 所	27	19	5	1	1	1
小 計		918	375	295	43	125	80
取 扱 所	給 油 取 扱 所	81	22	23	9	7	20
	販 売 取 扱 所	6	3	-	3	-	-
	移 送 取 扱 所	8	7	-	-	1	-
	一 般 取 扱 所	101	29	34	8	16	14
	小 計	196	61	57	20	24	34
合 計		1,116	437	352	63	150	114

危 険 物 廃 止 届 出 数

〔移動タンク貯蔵所の転出を含む〕

(R6. 3. 31)

製造所等別		市町別					
		計	塩 竈 市	多賀城市	松 島 町	七ヶ浜町	利 府 町
製 造 所		-	-	-	-	-	-
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	-	-	-	-	-	-
	屋外タンク貯蔵所	-	-	-	-	-	-
	屋内タンク貯蔵所	-	-	-	-	-	-
	地下タンク貯蔵所	3	-	2	-	-	1
	簡易タンク貯蔵所	-	-	-	-	-	-
	移動タンク貯蔵所	21	7	9	-	3	2
	屋 外 貯 蔵 所	-	-	-	-	-	-
計		24	7	11	-	3	3
取 扱 所	給 油 取 扱 所	-	-	-	-	-	-
	販 売 取 扱 所	1	1	-	-	-	-
	移 送 取 扱 所	-	-	-	-	-	-
	一 般 取 扱 所	-	-	-	-	-	-
	計	1	1	-	-	-	-
合 計		25	8	11	-	3	3

第四類危険物の貯蔵取扱許可数量 (単位kℓ)

(R6. 3. 31)

品名別 製造所等別		計	第1石 油 類	第2石 油 類	第3石 油 類	第4石 油 類	動植物 油 類	アルコ ール類
製 造 所		7,135.83	6,471.60	2.40	648.03	13.80	-	-
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	2,229.20	341.12	299.53	375.15	832.43	61.41	319.56
	屋外タンク貯蔵所	629,289.64	502,754.50	80,237.50	43,422.94	122.20	-	2,752.50
	屋内タンク貯蔵所	121.62	-	18.65	79.07	-	20.00	3.90
	地下タンク貯蔵所	1,500.45	24.00	718.95	731.60	25.90	-	-
	簡易タンク貯蔵所	1.74	1.17	0.57	-	-	-	-
	移動タンク貯蔵所	17,486.40	6,923.70	7,617.18	2,768.92	-	-	176.60
	屋 外 貯 蔵 所	1,781.20	-	202.80	526.60	1,051.80	-	-
	計	652,410.25	510,044.49	89,095.18	47,904.28	2,032.33	81.41	3,252.56
取 扱 所	給 油 取 扱 所	3,434.56	1,528.53	1,836.63	66.20	3.20	-	-
	販 売 取 扱 所	20.10	-	20.10	-	-	-	-
	移 送 取 扱 所	94,104.00	30,988.00	40,498.00	21,268.00	-	-	1,350.00
	一 般 取 扱 所	111,331.58	37,306.29	58,586.13	13,550.07	1,581.67	23.00	284.42
	計	208,890.24	69,822.82	100,940.86	34,884.27	1,584.87	23.00	1,634.42
合 計		868,436.32	586,338.91	190,038.44	83,436.58	3,631.00	104.41	4,886.98

第四類以外危険物の貯蔵取扱許可数量 (単位kg)

(R6. 3. 31)

品名別 製造所等別		計	第1類	第2類	第3類	第5類	第6類
製 造 所		-	-	-	-	-	-
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	25,200.00	-	20,000.00	-	5,200.00	-
	屋外タンク貯蔵所	14,750,000.00	-	14,750,000.00	-	-	-
	屋内タンク貯蔵所	-	-	-	-	-	-
	地下タンク貯蔵所	-	-	-	-	-	-
	簡易タンク貯蔵所	-	-	-	-	-	-
	移動タンク貯蔵所	-	-	-	-	-	-
	屋 外 貯 蔵 所	50,000.00	-	50,000.00	-	-	-
	計	14,825,200.00	-	14,820,000.00	-	5,200.00	-
取 扱 所	給 油 取 扱 所	-	-	-	-	-	-
	販 売 取 扱 所	-	-	-	-	-	-
	移 送 取 扱 所	-	-	-	-	-	-
	一 般 取 扱 所	2,710,300.78	-	2,710,300.00	-	0.78	-
	計	2,710,300.78	-	2,710,300.00	-	0.78	-
合 計		17,535,500.78	-	17,275,000.00	-	5,200.78	-

予
防

市町別危険物施設の許可及び検査状況

(R6. 3. 31)

市町別	製造所等 区分	合計	製造所	貯 蔵 所								取 扱 所					
				小計	屋内	屋外 タンク	屋内 タンク	地下 タンク	簡易 タンク	移動 タンク	屋外	小計	給油	販売	移送	一般	
塩竈市	設置許可	9	-	8	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	1
	設置完成検査	9	-	8	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	1
	変更許可	20	-	17	-	14	-	2	-	1	-	3	-	-	-	-	3
	変更完成検査	13	-	11	-	8	-	2	-	1	-	2	-	-	-	-	2
	仮使用承認	7	-	4	-	3	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	3
多賀城市	設置許可	5	-	5	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
	設置完成検査	5	-	5	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
	変更許可	23	-	21	-	1	-	2	-	18	-	2	1	-	-	-	1
	変更完成検査	20	-	20	-	1	-	2	-	17	-	-	-	-	-	-	-
	仮使用承認	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	1
松島町	設置許可	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	設置完成検査	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	変更許可	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	変更完成検査	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	仮使用承認	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
七ヶ浜町	設置許可	2	-	2	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
	設置完成検査	2	-	2	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
	変更許可	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	変更完成検査	2	-	2	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	仮使用承認	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
利府町	設置許可	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	設置完成検査	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	変更許可	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
	変更完成検査	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
	仮使用承認	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
合計	設置許可	17	-	16	-	-	-	-	-	-	16	-	1	-	-	-	1
	設置完成検査	17	-	16	-	-	-	-	-	-	16	-	1	-	-	-	1
	変更許可	46	-	40	-	15	-	4	-	21	-	6	2	-	-	-	4
	変更完成検査	36	-	33	-	10	-	4	-	19	-	3	1	-	-	-	2
	仮使用承認	10	-	4	-	3	-	1	-	-	-	6	2	-	-	-	4

予
防

石油コンビナート等特別防災区域概要

1 特定事業所の現況

(1) 塩釜地区 面積 206,583㎡ (R6.3.31)

特定事業所名	種別	市町
カメイ物流サービス(株)	第1種(レイアウト)	塩竈市
東西オイルターミナル(株)塩釜油槽所	第1種	
出光興産(株)貞山塩釜油槽所	第1種	
E N E O S (株)塩釜油槽所	第1種	
出光興産(株)塩釜油槽所	第1種	

○危険物施設概要

屋外タンク貯蔵所	101基
・特定屋外タンク貯蔵所(1,000kℓ以上)	(41基)
	内訳
	新法タンク 6基
	新基準タンク 32基
	旧基準タンク 3基
・準特定屋外タンク貯蔵所(500kℓ以上)	(41基)
	内訳
	新法タンク 2基
	新基準タンク 35基
	旧基準タンク 4基
・その他の屋外タンク貯蔵所	(19基)
高圧ガスタンク	8基

○石油類等の貯蔵・取扱量

石油類の貯蔵・取扱量	280,793.05 kℓ
石油類の貯蔵量	152,374.04 kℓ
石油類の取扱量	128,419.01 kℓ
高圧ガスの処理量	993,265 Nm ³

○共同防災組織概要

防災要員	常駐	9名(防災センター)
	駆け付け要員	10名(事業所駆け付け)
	計	19名

○防災資機材等

甲種普通化学消防車	1台
普通高所放水車	1台
泡消火薬剤	7,560リットル
可搬式放水砲	2,000リットル/min 1基
オイルフェンス	B型 540m
オイルフェンス展張船	1隻
耐熱服	2着
空気呼吸器	2基

○災害防止協定等

塩釜石油基地災害防止に関する協定書（昭和48年12月）
 消防道路の設置（幅員 8m 延長 400m）
 災害相互応援協定の締結（平成8年3月27日）
 [仙台地区及び塩釜地区の共同防災組織相互の応援]

○緩衝緑地の設置（石災法に基づく）

一本松地区（昭和53年から57年に実施） 70, 166㎡
 中の島地区（休憩緑地） 22, 600㎡

(2) 仙台地区（一部）

(R6.3.31)

特 定 事 業 所 名	種 別	市 町
東邦アセチレン(株) 多賀城工場	第2種	多賀城市
E N E O S (株) 仙台製油所	第1種(レイアウト)	仙台市 多賀城市 七ヶ浜町

○危険物施設概要

屋外タンク貯蔵所 15基

- ・特定屋外タンク貯蔵所（1,000kℓ以上） (9基)
- ・準特定屋外タンク貯蔵所（500kℓ以上） (0基)
- ・その他の屋外タンク貯蔵所 (6基)

○石油類等の貯蔵・取扱量

石油類の貯蔵・取扱総数量 553, 588. 771 kℓ
 製造所における数量 7, 120. 591 kℓ
 貯蔵所における数量 472, 959. 700 kℓ
 取扱所における数量 73, 508. 480 kℓ

高圧ガスの処理量 47, 368, 888. 8 Nm³

○仙台地区共同防災運営協議会

防災要員 常駐 17名

防災資機材等

大型化学高所放水車 2台
 泡原液搬送車 2台
 甲種普通化学消防車 1台
 泡消火薬剤 298, 809リットル
 可搬式泡放水砲 2, 000リットル/分 1基
 大型放水砲 3, 000リットル/分 2基
 耐熱服 3着
 空気呼吸器又は酸素呼吸器 3個
 オイルフェンス 1, 080m
 オイルフェンス展張船 1隻
 油回収装置 1基

第3編 警 防



消 防 水 利 現 況

水利区別		市 町 別		合 計	塩 竈 市	多 賀 城 市	松 島 町	七 ヶ 浜 町	利 府 町
		合 計							
消 火 栓	合 計			2,805	1,057	674	274	393	407
	公 設	7.5mm		237	18	61	26	49	83
		100mm		1,041	425	303	108	74	131
		125~150mm		945	383	175	48	221	118
		200mm		208	61	52	18	29	48
		250mm		117	72	28	8	1	8
		300mm以上		193	93	55	24	5	16
私 設		64	5	—	42	14	3		
防 火 水 槽	合 計			669	124	185	84	116	160
	公 設	4.0m ³ 未満		23	11	2	2	8	—
		4.0m ³ 以上		540	103	157	52	102	126
		8.0m ³ 以上		8	—	2	2	4	—
	私 設		98	10	24	28	2	34	
そ の 他	合 計			157	17	13	69	32	26
	池 ・ 海水 プ ール			111	4	1	64	28	14
				46	13	12	5	4	12

消 火 薬 剤 保 有 状 況

区 分	品 名	合成界面活性剤 (メガフォームAGF3T) (メガフォームAGF-T)	水 成 膜 (メガフォームF623T) (メガフォームF633T)等	たん白 (たん白泡原液) (フロロプロテインアルコフォーム)
		合 計	12,640 ℓ	—
塩 釜 消 防 署		240ℓ (3T 200ℓ T 40ℓ)	—	—
多 賀 城 消 防 署		1,910ℓ (3T)	—	—
松 島 消 防 署		160ℓ (3T)	—	—
七 ヶ 浜 消 防 署		660ℓ (3T 500ℓ T 160ℓ)	—	—
利 府 消 防 署		660ℓ (3T 500ℓ T 160ℓ)	—	—
組 合 倉 庫		9,000ℓ (3T)	—	—
消 防 本 部		10ℓ (3T)	—	—

消防車両等の現況（その1）

区分	車両名称	シャシ	年式	馬力	使用年月	水槽容量 m ³	薬液容量 m ³	無線名称	ポンプ規格	機装会社
消防本部	指令1	トヨタ	H28	205	8.00	—	—	塩消指令1	—	特機
	本連1	トヨタ	H25	178	10.06	—	—	—	—	—
	指揮隊1	トヨタ	H27	160	9.01	—	—	塩釜指揮隊1	—	アオキ
	警防指揮1	スズキ	H16	115	19.06	—	—	塩消警防指揮1	—	スズキ
	搬送1	トヨタ	H20	136	15.10	—	—	塩消搬送1	—	トヨタ
	予備1	三菱	H14	225	22.01	1.5	—	塩消予備1	A-1	日機
	予備2	日野	H18	150	17.04	—	—	—	A-2	日機
	予備救急1	トヨタ	H26	160	9.04	—	—	予備救急1	—	トヨタ
	予備救急2	トヨタ	H27	151	8.04	—	—	予備救急2	—	トヨタ
	総務連絡車	スズキ	R3	49	3.00	—	—	—	—	—
予防連絡車	日産	R3	136	3.00	—	—	—	—	—	
塩釜消防署	塩釜1	日野	H28	220	8.03	2.0	—	塩釜1	A-2	日機
	塩釜2	日野	H27	130	9.01	—	—	塩釜2	A-2	日機
	水槽1	日野	H23	380	13.01	10.0	—	塩釜水槽1	B-2	日機
	高所1	日野	H21	320	15.01	—	—	塩釜高所1	A-1	モリタ
	救急1	日産	H30	240	6.03	—	—	塩釜救急1	—	日産
	救急6	トヨタ	H31	151	5.01	—	—	塩消救急6	—	トヨタ
	指揮1	トヨタ	H15	110	20.05	—	—	塩釜指揮1	—	トヨタ
	搬送2	いすゞ	H27	210	9.02	—	—	塩釜搬送2	—	いすゞ
	塩釜連絡車	スズキ	R3	49	3.00	—	—	—	—	—
消防艇	—	H3	640	33.01	—	—	塩釜艇1	A-1	墨田川	
多賀城消防署	多賀城1	日野	H26	220	10.00	—	—	多賀城1	A-2	日機
	多賀城2	日野	H24	150	12.01	—	—	多賀城2	A-2	G M
	救助1	日野	H24	220	12.01	—	—	多賀城救助1	—	モリタ
	救助2	いすゞ	H21	110	15.01	—	—	—	—	サクラ
	化学1	日野	H16	390	20.01	2.0	1.8	多賀城化学1	A-1	日機
	梯子1	日野	H30	380	6.03	—	—	多賀城梯子1	—	モリタ
	救急2	日産	H29	240	7.03	—	—	多賀城救急2	—	日産
	指揮2	日産	H28	147	8.01	—	—	多賀城指揮2	—	日産
	津風・波浪・水害・大規模災害対策 輸送1	いすゞ	H27	260	8.07	—	—	塩釜災対1	—	赤尾
	消防訓練・火報・通車 指導1	日野	H27	150	9.01	—	—	塩釜輸送1	—	日野
救急7	マツダ	H18	100	17.08	—	—	—	—	マツダ	
	トヨタ	H25	151	11.03	—	—	救急7	—	トヨタ	

消防車両等の現況（その2）

区分	車両名称	シャシ	年式	馬力	使用年月	水槽容量 m ³	薬液容量 m ³	無線名称	ポンプ規格	機装会社
松島消防署	松島1	日野	R3	240	2.00	2.0	—	松島1	A-2	日機
	松島2	日野	R5	150	0.02	—	—	松島2	A-2	モリタ
	梯子2	日野	H7	195	28.00	—	—	松島梯子2	A-2	日機
	救急3	日産	R6	147	0.01	—	—	松島救急3	—	日産
	指揮3	トヨタ	H18	150	16.09	—	—	松島指揮3	—	トヨタ
七ヶ浜消防署	化学2	日野	H30	240	4.04	1.5	0.5	七ヶ浜化学2	A-1	日機
	七ヶ浜2	日野	H24	150	11.00	—	—	七ヶ浜2	A-2	G M
	救急4	日産	R4	172	1.02	—	—	七ヶ浜救急4	—	日産
	指揮4	マツダ	H23	144	12.03	—	—	七ヶ浜指揮4	—	マツダ
利府消防署	化学3	日野	R2	240	3.02	1.5	0.5	利府化学3	A-2	モリタ
	利府2	日野	H22	150	13.01	—	—	利府2	A-2	モリタ
	救急5	日産	R6	147	0.01	—	—	利府救急5	—	日産
	指揮5	マツダ	H22	144	13.02	—	—	利府指揮5	—	マツダ
	塩釜支援1	日野	H23	360	12.01	—	—	塩消支援1	—	ヨコハマ モーター

消防車両等配置状況

署別	車両別	合計	普通ポンプ車	水槽付ポンプ車	化学消防自動車	大型水槽車	大型高所放水車	35m級梯子車	20m級梯子車	救助工作車（炎対車含む）	高規格救急車	指令車・指揮車	消防連絡車	消防艇	搬送車	人員輸送車	支援車	消防通報訓練指導車	予備ポンプ車	予備高規格救急車	非常用救急車
			合計	47	5	3	3	1	1	1	1	1	3	6	8	4	1	2	1	1	1
消防本部	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	-	1	-	-	-	2	-	2
塩釜消防署	10	1	1	-	1	1	-	-	-	-	2	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-
多賀城消防署	12	1	1	1	-	-	1	-	3	1	1	1	-	-	-	1	-	1	-	1	-
松島消防署	5	1	1	-	-	-	-	1	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
七ヶ浜消防署	4	1	-	1	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
利府消防署	5	1	-	1	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-

消防資機材保有状況（その1）

署 別		保有数	塩 釜	多賀城	松 島	七ヶ浜	利 府	予 備
資 機 材 名			消防署	消防署	消防署	消防署	消防署	
消防活動用器具	65mm（高圧含む）	343	77	94	77	42	53	—
	50mm	367	73	82	81	65	66	—
	40mm	57	14	17	8	9	9	—
	無 反 動 管 鎗	34	4	10	6	6	6	2
	プロジェクトガン	10	1	2	2	2	2	1
	放水銃（可搬式含む）	4	—	1	—	1	1	1
	泡 管 鎗	18	2	5	5	1	5	—
	ピックアップノズル	6	—	1	2	—	1	2
	ガンタイプノズル	24	5	7	5	4	3	—
	ラインプロパーショナー	9	2	2	2	1	1	1
	小型動力ポンプ	7	1	2	1	1	1	1
金 属 探 知 器	1	—	1	—	—	—	—	
一般救助用器具	空気式救助マット	1	—	1	—	—	—	—
	救命索発射銃	1	—	1	—	—	—	—
重量物排除用器具	可 搬 ウ ィ ン チ	6	1	2	1	1	1	—
	マット型空気ジャッキ式	2	—	2	—	—	—	—
	ラムシリンダー	2	—	2	—	—	—	—
	マンホール救助器具	1	—	1	—	—	—	—
	スプレッダー	10	2	5	2	1	—	—
	油圧式救助器具	5	1	2	—	—	2	—
切断用器具	油圧カッター	2	—	1	—	—	—	1
	エアツール	1	—	1	—	—	—	—
	エンジンカッター	6	1	1	2	1	1	—
	チェーンソー	10	1	3	2	1	2	1
	ペダルカッター	1	—	1	—	—	—	—
	ガス溶断器	1	—	1	—	—	—	—
	エアソー	1	—	1	—	—	—	—
破壊用器具	削 岩 機	2	1	1	—	—	—	—
	携帯用コンクリート破壊器具	7	1	3	1	1	1	—

消防資機材保有状況（その2）

資機材名		署 別	保有数	塩 釜	多賀城	松 島	七ヶ浜	利 府	予 備
				消防署	消防署	消防署	消防署	消防署	
呼吸保護器具	空 気 呼 吸 器		66	12	21	12	8	8	5
	軽 量 ポ ン ペ		164	33	51	33	20	27	—
	ア ク ア ラ ン グ ポ ン ペ		10	—	10	—	—	—	—
	送 排 風 機		1	—	1	—	—	—	—
検知・測定用器具	ガ ス 検 知 器		11	2	3	2	2	2	—
隊員保護用器具	耐 熱 服		17	6	8	—	—	—	3
	耐 電 衣		7	2	5	—	—	—	—
	陽 圧 式 化 学 防 護 服		15	—	15	—	—	—	—
水難救助用資機材	組 立 式 救 命 ボ ー ト		5	1	2	1	—	—	1
	救 命 ゴ ム ボ ー ト		12	3	4	2	1	1	1
検索用器具	災 害 救 助 用 ス コ ー プ		5	1	1	1	1	1	—
高度救助用器具	画 像 探 索 機		1	—	1	—	—	—	—
	熱 画 像 直 視 装 置		2	—	1	1	—	—	—
山岳救助用器具	編み構造ロープ用資機材一式		1	—	1	—	—	—	—
その他の救助用器具	携 帯 用 発 電 機		15	4	4	4	1	1	1
その他消防資機材	コ ン プ レ ッ サ ー		4	1	1	1	1	—	—
	バ ッ テ リ ー 充 電 機		5	1	1	1	1	1	—
	給 水 タ ン ク		2	—	—	1	1	—	—
	林 野 火 災 用 資 機 材		1	—	—	—	—	1	—
				(小型可搬ポンプ・ホース・水槽5t・500ℓ 各1)					
	エ ア テ ン ト 一 式		4	〔4m×4m 3基 4m×6m 1基〕					
	発 電 機 ・ 投 光 器 一 式		1	※ 緊急消防援助隊関係 消防本部保管					
	簡 易 ベ ッ ド ・ 椅 子		一式	椅子28 ベッド37					
簡 易 テ ン ト (タ ー プ)		1							

救急資器材保有状況

署 別 資器材名	保有数	塩 釜 消防署	多賀城 消防署	松 島 消防署	七ヶ浜 消防署	利 府 消防署	予 備
加湿酸素吸入装置	9	2	2	1	1	1	2
酸素ボンベ（10L）	45	12	8	7	7	8	3
酸素ボンベ（4L）	7	3	—	—	—	—	4
酸素ボンベ（2L）	37	12	7	6	6	6	—
ストレッチャー	11	2	2	1	1	1	4
スクープストレッチャー	11	2	2	1	1	1	4
電動吸引器	19	4	4	2	2	2	5
患者監視モニター	11	2	2	1	1	1	4
静脈可視化装置	2	1	1	—	—	—	—
減圧固定具	9	2	2	1	1	1	2
自動式人工呼吸器	9	2	2	1	1	1	2
手動式人工呼吸器	10	3	2	1	1	1	2
ターポリン担架	9	2	2	1	1	1	2
喉 頭 鏡	16	3	3	2	2	2	4
ビデオ硬性喉頭鏡	6	2	1	1	1	1	—
スペースライザー消毒器	3	1	—	1	—	1	—
オゾン発生器	8	3	1	1	1	2	—
自動心臓マッサージシステム	8	2	2	1	1	1	1
半自動式除細動器	9	2	2	1	1	1	2
血中酸素飽和度測定器（携帯用）	10	2	3	1	1	1	2
バックボード	13	2	3	1	1	1	5
AED（自動体外式除細動器）	6	1	2	1	1	1	—
陰圧式ポータブルアイソレータ	1	—	—	—	—	—	1

組合管内各市町消防団現況

消防団別 区分	分 団 数	団 員 数		
		定 員	実 員	欠 員
合 計	3 5分団 1 救護本部	1,046	721	325
塩竈市塩竈消防団	4分団 1 救護本部	165	72	93
塩竈市浦戸消防団	2 分 団	80	48	32
多賀城市消防団	8 分 団	200	145	55
松島町消防団	6 分 団	250	191	59
七ヶ浜町消防団	1 0 分 団	220	175	45
利府町消防団	5 分 団	131	90	41

組合管内各市町消防団機械器具現況

消防団別 資機材別	普通ポンプ車	可搬小型動力 消防ポンプ	積載車 (車両のみ)	ホース (本)
合 計	15	32	36	1,529
塩竈市塩竈消防団	2	8	2	197
塩竈市浦戸消防団	—	8	4	188
多賀城市消防団	6	—	2	296
松島町消防団	1	8	15	296
七ヶ浜町消防団	6	—	5	263
利府町消防団	—	8	8	289

第4編 指 令



通信施設配置状況

R6.4.1現在

区分		合計	消防本部	塩釜消防署	塩竈市役所	多賀城消防署	多賀城市役所	松島消防署	松島町役場	七ヶ浜消防署	七ヶ浜町役場	利府消防署	利府町役場	仙台市消防局	防災関係機関	
指令装置		1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
119番専用回線		5	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
指令端末装置直通回線		5	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-	-	
警察直通電話回線		1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
防災機関等直通電話回線		14	-	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	1	8	
特別加入電話回線		5	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
緊急連絡用電話回線		5	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-	-	
電話関係	固定加入電話	51	21	6	-	6	-	6	-	6	-	6	-	-	-	
	内線回線	70	26	13	1	6	1	6	1	6	1	6	1	1	1	
	ファクシミリ	11	6	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-	-	
	携帯電話	21	9	3	-	3	-	2	-	2	-	2	-	-	-	
無線関係	固定局	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	基地局	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	移動局	(車載型)	38	9	9	-	7	-	5	-	4	-	4	-	-	-
		(可搬型)	7	2	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-	-
		(卓上型)	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		(携帯型)	29	6	5	-	6	-	4	-	4	-	4	-	-	-
署活系	51	10	10	-	10	-	7	-	7	-	7	-	-	-		
受令機	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

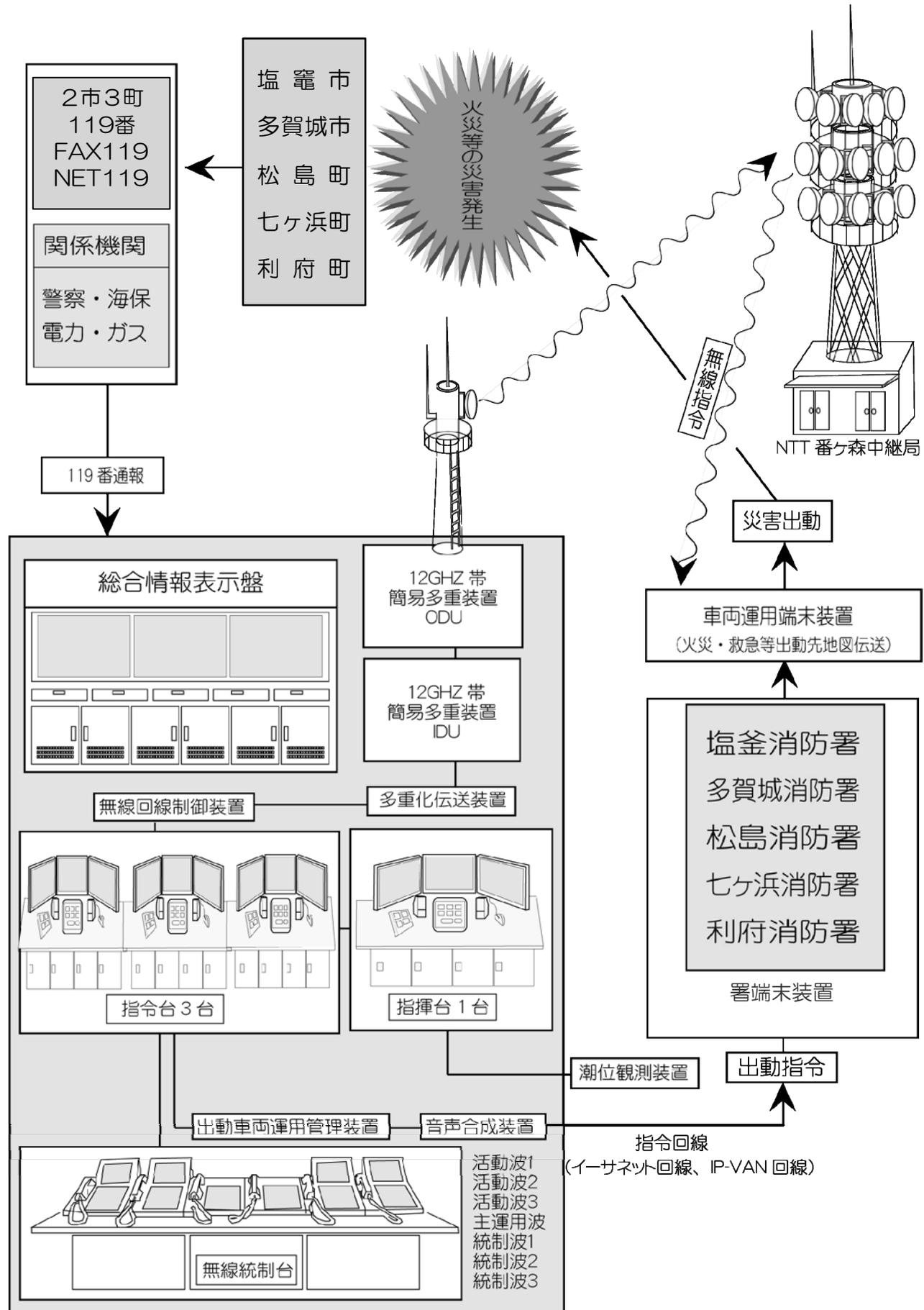
無線通信施設（アナログ無線）

	基数	防災相互通信波	署活系第1波	署活系第2波	備考
基地・固定局(10w)	1	1	-	-	指令課「しおしょうほんぶ」
移動局 10w	1	1	-	-	支援1
携帯 5w, 1w	7	7	-	-	塩釜1001~1005, 災対1, 2
署活系1w	51	-	51	51	

無線通信施設（デジタル無線等）

	基数	活動波1	活動波2	活動波3	主運用波	統制波1	統制波2	統制波3	備考
基地・多重無線固定局	3	3	3	3	3	3	3	3	
移動局	(車載型)	38	38	38	38	38	38	38	
	(可搬型)	7	7	7	7	7	7	7	
	(卓上型)	3	3	3	3	3	3	3	
	(携帯型)	29	29	29	29	29	29	29	
電波型式	基地局:5K80G1D、多重無線固定局:2M50G7W								
空中線電力	基地局:10w、多重無線固定局:300mw								

消防緊急通信指令システム図



指
令

通信指令装置の機能概要

装置の名称	装置の機能
指令装置	塩釜地区二市三町からの火災、救急、その他各種災害の119番通報を受付する指令台及び指令業務、無線交信等を効率よく行うため、統合型位置情報通知装置、自動出動指定装置、地図等検索装置、表示盤、デジタル無線設備等の各通信機器、情報機器と連携させ、最新のVOIP化技術によりフルデジタル化で構成されています。
自動出動指定装置	システムの自動化機能を制御し、各種検索、災害地点及び災害種別の決定により、出動隊の自動編成、出動指令、表示盤制御、進行事案の管理を行います。
地図等検索装置	自動出動指定装置と接続され、災害地点の地図等を表示するほか、単独での検索も可能で、地図上からの逆検索により災害地点を自動出動指定装置へ逆転送し、災害地点の確定と自動隊編成を行えるものです。
表示盤	60インチLCD3画面にて、消防、救急受付業務に必要な気象観測情報、気象通報及び車両運用状況、監視カメラ映像等を表示します。
音声合成装置	自動出動指定装置と連動し、災害通報の覚知情報をもとに災害種別、災害地点、出動車両等の情報を自動的に編集し自動出動指定装置から指令等が音声合成により出力します。
指令電送装置	出動指令操作と連動して自動出動指定装置からの出動指令情報及び地図等検索装置からの災害地点周辺地図を各署等に電送します。
署端末装置	各署に設置され、指令センターとNTT専用線(イーサネット回線、IP-VAN回線)で接続し、指令装置から各署に出動の予告音や、音声合成の指令放送等が行われます。
順次指令装置	災害発生時、関係職員及び各市町に順次呼出による災害発生通報を順次配信します。
出動車両運用管理装置	管理装置と車両運用端末装置で構成され、車両運用端末装置からの動態、車両位置情報を管理装置で受け、自動出動指定装置及び車両運用表示盤に反映するものです。
災害状況等自動案内装置	市町民からの災害出動等の状況問い合わせに自動的に応答します。
統合型位置情報通知装置	携帯電話、固定電話、IP電話から送信される位置情報を受信し、連動する指令台に送信することにより、自動出動指定装置及び地図検索装置に情報・地図が表示され、地点決定をします。
無線統制台	基地局無線機と接続し、出動車両の無線交信を集中制御する操作台です。
Eメール指令装置	指令台の災害覚知情報に基づき、指令起動操作と連動して火災、災害情報を消防職員、関係者が所有する携帯電話等へ電子メールで通知します。
電源設備	システムに必要な電源設備は無停電電源設備(AC100V系)直流電源装置(DC12V系)直流電源装置(DC48V系)非常用発電機で各種の電源を一元的に管理します。
119番FAX受信装置	要援護者等からの119番FAX通報を受信する専用の受信装置です。

NET119緊急通報システム	聴覚、発語等の障がいにより、音声での緊急通報が困難な方がスマートフォン等を使用し、Web上から円滑に消防へ通報を行えるようにするシステムです。
駆け込み通報装置	各署に設置され、職員が災害等で不在の場合、本装置の受話機を取ることによって指令台と直接通話でき、指令台側では119番受信時と同様に自動出動指定装置と連動して指令業務を行います。
システム監視装置	主要機器のヘルスチェックの状況を自動で監視し、システムの運用状況及び障害発生時の状況を履歴として保持し、指令センター員に通知します。
データ修正装置	自動出動指定装置、地図等検索装置、車両動態管理装置、各種表示盤の各データの修正等をオンラインにて行うメンテナンス装置です。
長時間録音装置	各指令台で扱う119番通報内容、無線交信内容を時刻と共に自動録音し、日時、相手番号等で検索・再生することができます。
庁舎監視装置	各署にネットワークカメラを設置。撮影した映像を指令センターディスプレイに表示し、各庁舎周囲を監視します。
気象情報収集装置	各種の気象状況を自動観測し、指令台に表示及び記録を行い災害対策の支援情報として活用します。
デジタル無線設備	指令センターと番ヶ森基地局をパラボラ空中線、多重無線設備で無線アプローチ回線を構成し、無線運用は音声通信のみならず、データ通信機能も備え、また、一斉通信に加え、グループ及び個別セレクト機能等を具備するなど秘匿性に優れる、高機能・高性能な設備です。

その他の機器の概要

装置の名称	装置の機能
超音波式潮位観測装置	松島湾内3ヶ所(塩竈市港町・松島町磯崎・七ヶ浜町花湊浜)に超音波式潮位観測装置を設置し、観測された潮位データは専用線によって消防本部へ送られ、収集されたデータは、消防本部で処理、グラフ、表、地図画面により表示されると同時に、管内二市三町(市役所・町役場)にも配信され、潮位の変化を監視します。
全国瞬時警報システム(J-ALERT)	<p>日本国内で地震や津波による大規模災害や武力攻撃等が発生した際に、総務省消防庁から提供される国民保護に関する情報を、地域衛星通信ネットワーク経由で受信して解析処理を行い、指令制御装置等と接続し、本部・各署庁内放送及びデジタル無線施設に自動送信することで、消防職員へ情報を迅速に伝達するものです。</p> <p>※ J-ALERTにより伝達される情報</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 地震情報(緊急地震速報、震度速報等) ② 津波情報(大津波警報、津波警報、津波注意報) ③ 気象情報(気象警報、気象注意報) ④ 有事関連情報(弾道ミサイル情報、ゲリラ攻撃、大規模テロ情報等) ⑤ その他(火山情報、土砂災害警戒情報、その他の国民保護情報等)

災害受付状況(1月~6月)

区分 月別	種別	火災	救急	救助	その他 の災害	訓練	いたずら	間違い	問合せ	試験	他管内	その他	合計
1月	119番	2	419	1	3	25	-	10	6	2	6	26	500
	携帯119	2	383	3	4	2	1	56	29	3	19	66	568
	加入電話	-	45	1	9	1	-	-	-	15	-	13	84
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2
	小計	4	847	5	16	28	1	66	35	22	25	105	1,154
2月	119番	-	342	1	3	44	-	8	8	2	3	11	422
	携帯119	1	346	4	3	5	2	65	33	2	13	31	505
	加入電話	1	39	-	3	-	-	1	1	21	-	4	70
	その他	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	小計	2	728	5	9	49	2	74	42	25	16	46	998
3月	119番	2	359	2	2	74	-	10	7	-	2	17	475
	携帯119	4	362	5	5	6	-	67	25	-	10	47	531
	加入電話	3	49	1	6	5	-	1	-	20	-	8	93
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2
	小計	9	770	8	13	85	0	78	32	22	12	72	1,101
4月	119番	1	339	-	3	53	4	14	8	3	1	25	451
	携帯119	1	367	1	3	2	-	84	20	1	11	58	548
	加入電話	1	53	5	5	2	-	2	-	16	-	25	109
	その他	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	小計	3	761	6	11	57	4	100	28	20	12	108	1,110
5月	119番	2	344	1	1	47	-	11	12	-	-	30	448
	携帯119	3	439	1	2	7	-	88	23	1	15	82	661
	加入電話	1	47	3	5	-	-	1	-	19	-	24	100
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2
	小計	6	830	5	8	54	0	100	35	22	15	136	1,211
6月	119番	2	339	1	-	93	2	8	8	1	1	25	480
	携帯119	-	420	1	3	11	1	90	21	-	14	46	607
	加入電話	1	43	1	6	8	-	1	-	11	-	13	84
	その他	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
	小計	3	802	3	10	112	3	99	29	12	15	84	1,172

応急手当の口頭指導(プロトコール)実施状況(1月~6月)

種別 月	人工呼吸	心臓マッサージ	気道確保	気道異物除去	体位移動	その他	小計
1月	1	16	-	2	-	-	19
2月	-	10	-	-	-	-	10
3月	-	9	-	-	-	2	11
4月	-	3	-	2	-	1	6
5月	-	17	-	-	-	2	19
6月	-	10	1	1	-	1	13
小計	1	65	1	5	-	6	78

指令

災害受付状況（7月～12月）

区分 月別	種別	火災	救急	救助	その他 の災害	訓練	いたずら	間違い	問合せ	試験	他管内	その他	合計
7月	119番	-	414	3	-	64	1	14	18	1	1	47	563
	携帯119	3	571	4	3	4	2	97	33	2	23	94	836
	加入電話	-	67	2	13	2	-	1	1	19	-	30	135
	その他	-	3	-	-	-	-	-	-	2	-	-	5
	小計	3	1,055	9	16	70	3	112	52	24	24	171	1,539
8月	119番	-	479	-	2	23	-	5	14	3	2	24	552
	携帯119	2	626	6	10	5	1	74	46	8	21	72	871
	加入電話	-	63	-	9	1	-	1	-	33	-	17	124
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	小計	2	1,168	6	21	29	1	80	60	44	23	113	1,547
9月	119番	-	389	-	1	55	1	6	11	-	-	22	485
	携帯119	1	496	4	5	8	1	36	37	-	15	65	668
	加入電話	-	46	2	6	11	-	1	2	18	-	14	100
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2
	小計	1	931	6	12	74	2	43	50	20	15	101	1,255
10月	119番	1	335	-	-	116	1	10	14	-	1	19	497
	携帯119	1	431	2	7	7	-	59	25	-	14	41	587
	加入電話	1	57	1	8	8	-	-	1	14	-	5	95
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	小計	3	823	3	15	131	1	69	40	14	15	65	1,179
11月	119番	-	353	1	4	137	1	19	9	2	-	33	559
	携帯119	3	449	9	1	18	1	55	47	-	14	55	652
	加入電話	-	45	-	5	3	-	2	-	16	-	5	76
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2
	小計	3	847	10	10	158	2	76	56	20	14	93	1,289
12月	119番	2	397	-	-	77	-	9	15	2	1	23	526
	携帯119	2	502	5	4	12	-	37	41	2	14	68	687
	加入電話	-	45	-	5	5	-	-	1	14	-	6	76
	その他	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
	小計	4	944	5	9	94	0	46	58	18	15	97	1,290
小計	119番	12	4,509	10	19	808	10	124	130	16	18	302	5,958
	携帯119	23	5,392	45	50	87	9	808	380	19	183	725	7,721
	加入電話	8	599	16	80	46	-	11	6	216	-	164	1,146
	その他	-	6	-	1	-	-	-	1	12	-	-	20
	総計	43	10,506	71	150	941	19	943	517	263	201	1,191	14,845

指令

応急手当の口頭指導（プロトコル）実施状況（7月～12月）

月	種別	人工呼吸	心臓マッサージ	気道確保	気道異物除去	体位移動	その他	小計
7月		-	13	1	1	-	1	16
8月		-	11	-	-	-	1	12
9月		-	13	1	-	-	-	14
10月		-	5	-	1	-	-	6
11月		-	9	-	-	-	2	11
12月		-	10	-	1	-	-	11
小計		-	61	2	3	-	4	70
総計		1	126	3	8	-	10	148

第5編 火災統計



令和5年の火災概要

令和5年の火災件数は46件であり、前年と比較すると6件の増加となっている。

火災種別は建物火災が29件、その他の火災が15件、林野火災が1件、車両火災が1件となっており、市町別の火災件数では塩竈市が15件、多賀城市が12件、松島町が6件、七ヶ浜町が8件、利府町が5件となっている。

火災によって亡くなった方は2人でその内訳は塩竈市が2人となっている。負傷者は12人で、その内訳は塩竈市が6人、多賀城市が2人、松島町が3人、利府町が1人となっている。

また、損害額は前年と比較すると38,202千円増加している。

火災件数

火災件数は46件（40件）で、おおよそ7.9日に1件発生している。

（ ）は前年の件数等

市町別火災発生・死者・負傷者状況

			発生状況	死者	負傷者
建物火災	29件	(29件)	塩竈市 15件 (10件)	2人 (2人)	6人 (5人)
林野火災	1件	(1件)	多賀城市 12件 (10件)	0人 (2人)	2人 (3人)
車両火災	1件	(4件)	松島町 6件 (7件)	0人 (0人)	3人 (1人)
船舶火災	0件	(0件)	七ヶ浜町 8件 (3件)	0人 (0人)	0人 (1人)
その他火災	15件	(6件)	利府町 5件 (10件)	0人 (0人)	1人 (4人)

月別火災状況

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
件数	6件	2件	11件	4件	7件	2件	1件	3件	1件	4件	3件	2件

令和4年発生 of 事後聞知火災1件を1月分として計上。(覚知が令和5年1月だったため)

主な火災原因

第1位	電気関係	11件	(8件・第1位)
第2位	放火・放火の疑い	8件	(5件・第2位)
第3位	たばこ	6件	(5件・第2位)
第4位	火遊び	1件	(1件・第6位)

損害額

損害額は147,971千円で、前年に比べ38,202千円の増加となっている。

火災1件あたりの損害額は、約3,217千円となっている。

初期消火・早期発見状況

火災件数46件のうち初期消火は27件(58.7%)で実施され、このうち18件(66.7%)が成功している。

また、建物火災は29件発生しており、初期消火は12件(41.4%)で実施され、このうち9件(75.0%)が成功している。

1 火災の概況

第1表

区 分		単位	令和5年			令和4年			増減			増減率 (%)		
火 災 建 物	全 焼	件	10	29	10	29	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	半 焼		1		6		△ 5		△ 83.3					
	部分焼		5		3		2		66.7					
	ぼ や		13		10		3		30.0					
火 災 件 数	林 野	件	1	46	1	40	0	6	0.0	15.0	0.0	15.0		
	車 両		1		4		△ 3		△ 75.0					
	船 舶		0		0		0		-					
	その他		15		6		9		150.0					
焼 損 棟 数	全 焼	棟	13	52	12	55	1	△ 3	8.3	△ 5.5	8.3	△ 5.5		
	半 焼		2		6		△ 4		△ 66.7					
	部分焼		8		7		1		14.3					
	ぼ や		29		30		△ 1		△ 3.3					
り 災 世 帯	全 損	世帯	8	36	12	38	△ 4	△ 2	△ 33.3	△ 5.3	△ 33.3	△ 5.3		
	半 損		2		3		△ 1		△ 33.3					
	小 損		26		23		3		13.0					
り 災 人 員		人	91			82			9			11.0		
焼 損 面 積	建物（床面積）	㎡	1,294.3			1,346.0			△ 51.7			△ 3.8		
	建物（表面積）	㎡	16.5			53.0			△ 36.5			△ 68.9		
	林 野	a	4.9			5.8			△ 0.9			△ 15.5		
	その他	㎡	2,154.9			9.3			2,145.6			23,071.0		
損 害 額	建 物	千円	147,726			104,688			43,038			41.1		
	林 野		0			0			0			-		
	車 両		0			5,078			△ 5,078			皆減		
	船 舶		0			0			0			-		
	その他		245			3			242			8,066.7		
	合 計		147,971			109,769			38,202			34.8		
死 者		人	2			4			△ 2			△ 50.0		
負 傷 者			12			14			△ 2			△ 14.3		
出 火 率		件	2.5			2.2			0.3			13.6		

※出火率とは、人口1万人あたりの出火件数をいう。（火災件数÷人口×10,000）

※人口は、令和5年12月末現在。

※前年の数値が「0」のものは、増減率を「皆増」と表記いたします。

※今年の数値が「0」のものは、増減率を「皆減」と表記いたします。

※前年及び今年の数値が「0」のものは、増減率を「-」と表記いたします。

2 市町別火災概況

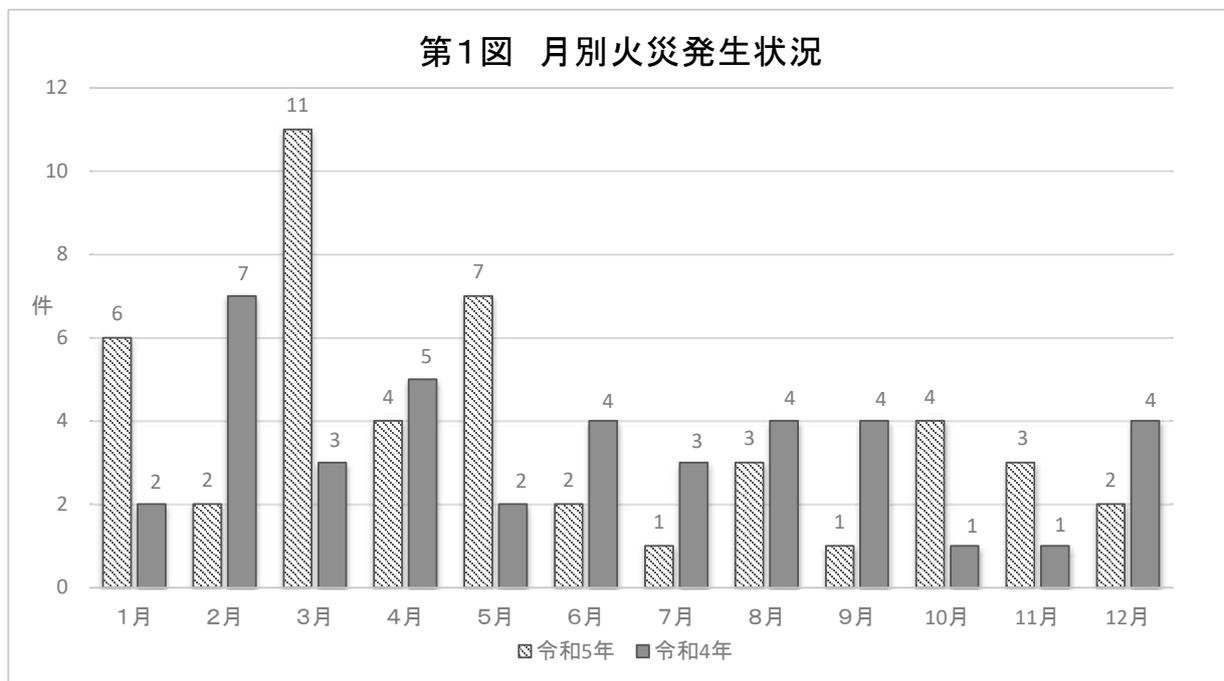
第2表

区 分		単位	総計		塩竈市		多賀城市		松島町		七ヶ浜町		利府町		
火 災 件 数	建 物	件	全 焼	10 (10)	建物	4 (4)	建物	0 (0)	建物	2 (2)	建物	4 (2)	建物	0 (2)	建物
			半 焼	1 (6)	29	1 (2)	11	0 (1)	6	0 (1)	5	0 (0)	5	0 (2)	2
			部分焼	5 (3)	(29)	1 (1)	(10)	3 (1)	(8)	0 (1)	(4)	1 (0)	(2)	0 (0)	(5)
			ぼ や	13 (10)		5 (3)		3 (6)		3 (0)		0 (0)		2 (1)	
	林 野	件	1 (1)	計	0 (0)	計	0 (0)	計	1 (1)	計	0 (0)	計	0 (0)	計	
	車 両		1 (4)	46	0 (0)	15	1 (1)	12	0 (0)	6	0 (0)	8	0 (3)	5	
	船 舶		0 (0)	(40)	0 (0)	(10)	0 (0)	(10)	0 (0)	(7)	0 (0)	(3)	0 (0)	(10)	
	その他		15 (6)		4 (0)		5 (1)		0 (2)		3 (1)		3 (2)		
焼 損 棟 数	全 焼	棟	13	52	6	29	0	6	3	8	4	7	0	2	
半 焼	2		2		0		0		0						
部分焼	8		3		3		1		1						
ぼ や	29		18		3		4		2						
り 災 世 帯	全 損	世帯	8	36	5	25	0	4	2	5	1	2	0	0	
半 損	2		2		0		0		0						
小 損	26		18		4		3		1		0				
り 災 人 員	人	91		58		10		20		3		0			
焼 損 面 積	建物 (床面積)	m ²	1,294.3		515.7		31.2		270.8		476.6		0.0		
	建物 (表面積)	m ²	16.5		3.6		2.6		2.8		7.5		0.0		
	林 野	a	4.9		0.0		0.0		4.9		0.0		0.0		
	その他	m ²	2,154.9		200.1		1,909.8		0.0		22.0		23.0		
損 害 額	建 物	千円	147,726		78,849		6,260		39,104		22,897		616		
	林 野		0		0		0		0		0		0		
	車 両		0		0		0		0		0		0		
	船 舶		0		0		0		0		0		0		
	その他		245		0		236		0		0		9		
	合 計		147,971		78,849		6,496		39,104		22,897		625		
死 者	人	2		2		0		0		0		0			
負 傷 者		12		6		2		3		0		1			
出 火 率		件	2.5		2.9		1.9		4.6		4.5		1.4		

※ () は、前年の火災件数

3 月別火災発生状況

火災件数46件を月別で見ると、最も多い月は3月の11件となっており、以下5月の7件、1月の6件、4月及び10月の4件、8月及び11月の3件の順となっている。



4 四季別火災発生状況

火災件数46件を四季別で見ると、春季が最も多く22件で全体の47.8%を占め、次いで冬季の10件(21.7%)、秋季の8件(17.4%)、夏季の6件(13.1%)の順となっている。

損害額は、春季が最も多く全体の45.2%を占めている。

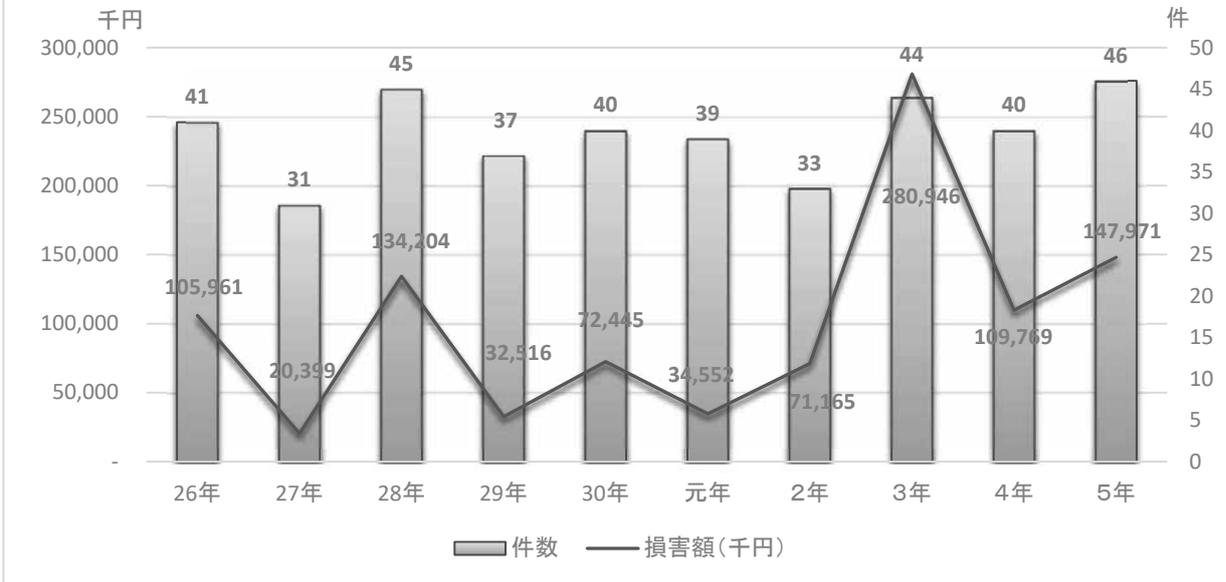
第3表

区分	令和5年				令和4年			
	火災件数	割合 %	損害額 (千円)	割合 %	火災件数	割合 %	損害額 (千円)	割合 %
春季 3月～5月	建物	12	66,942	45.2	建物	5	497	0.5
	林野	1			林野	1		
	車両	0			車両	1		
	船舶	0			船舶	0		
	その他	9			その他	3		
合計	22	47.8			10	25.0		
夏季 6月～8月	建物	2	8,861	6.0	建物	9	37,468	34.1
	林野	0			林野	0		
	車両	0			車両	2		
	船舶	0			船舶	0		
	その他	4			その他	0		
合計	6	13.1			11	27.5		
秋季 9月～11月	建物	6	44,781	30.3	建物	4	19,453	17.7
	林野	0			林野	0		
	車両	1			車両	0		
	船舶	0			船舶	0		
	その他	1			その他	2		
合計	8	17.4			6	15.0		
冬季 12月～2月	建物	9	27,387	18.5	建物	11	52,351	47.7
	林野	0			林野	0		
	車両	0			車両	1		
	船舶	0			船舶	0		
	その他	1			その他	1		
合計	10	21.7			13	32.5		
合計	46	100.0	147,971	100.0	40	100.0	109,769	100.0

5 火災件数と損害額

損害額は147,971千円となり、前年の109,769千円と比較すると38,202千円の増加となっている。火災1件あたりの損害額は、約3,217千円となっている。

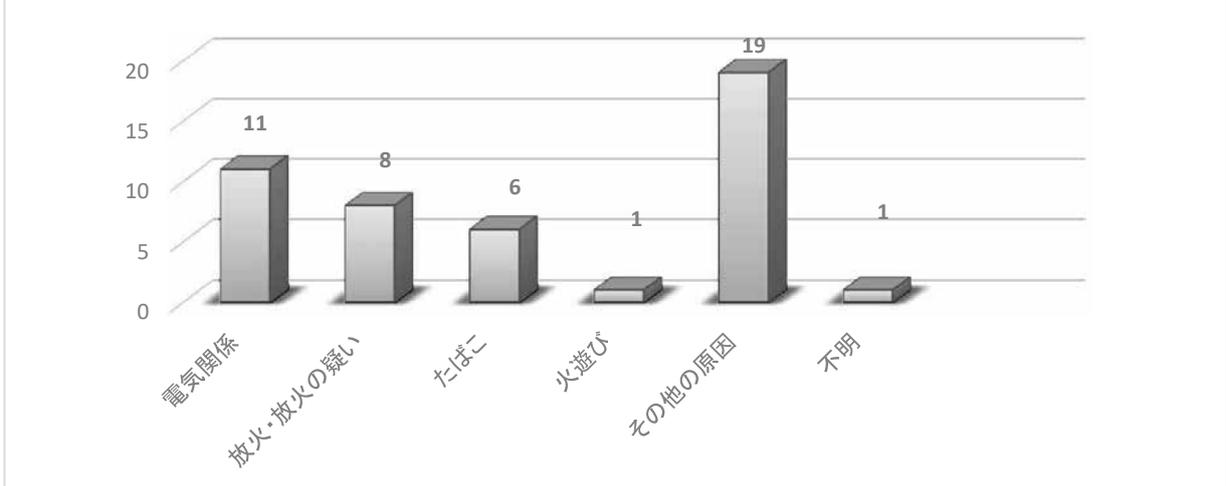
第2図 過去10年間の火災件数と損害額の推移



6 出火原因別の火災発生状況

火災件数46件を出火原因別にみると、第1位が「電気関係」で11件(24%)、第2位が「放火・放火の疑い」で8件(17%)、第3位が「たばこ」で6件(13%)となっており、その他の原因が19件(41%)となっている。

第3図 出火原因別件数

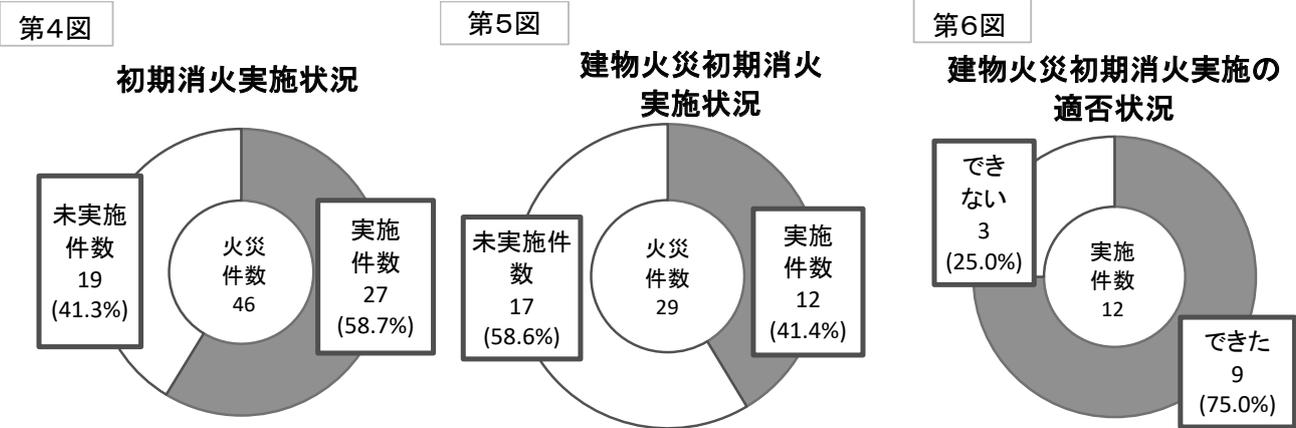


第4表 過去5年間の主な出火原因(上位5位)

順位	令和元年	順位	令和2年	順位	令和3年	順位	令和4年	順位	令和5年		
1	放火・放火の疑い	8	1	ストーブ	3	1	電気関係	11	1	電気関係	11
2	火遊び	4	1	電気関係	3	2	放火・放火の疑い	6	2	放火・放火の疑い	8
3	電気関係	3	3	たばこ	2	3	ストーブ	3	3	たばこ	6
4	たばこ	2	3	こんろ	2	3	こんろ	3	4	ストーブ	4
4	ストーブ	2	3	溶断の火花	2	5	たばこ・溶断の火花	1	5	こんろ	2

7 初期消火状況

火災件数46件のうち初期消火は27件(58.7%)で実施され、このうち18件(66.7%)が成功している。また、建物火災は29件発生しており、初期消火は12件(41.4%)で実施され、このうち9件(75.0%)が成功している。



未実施の理由 (建物火災)

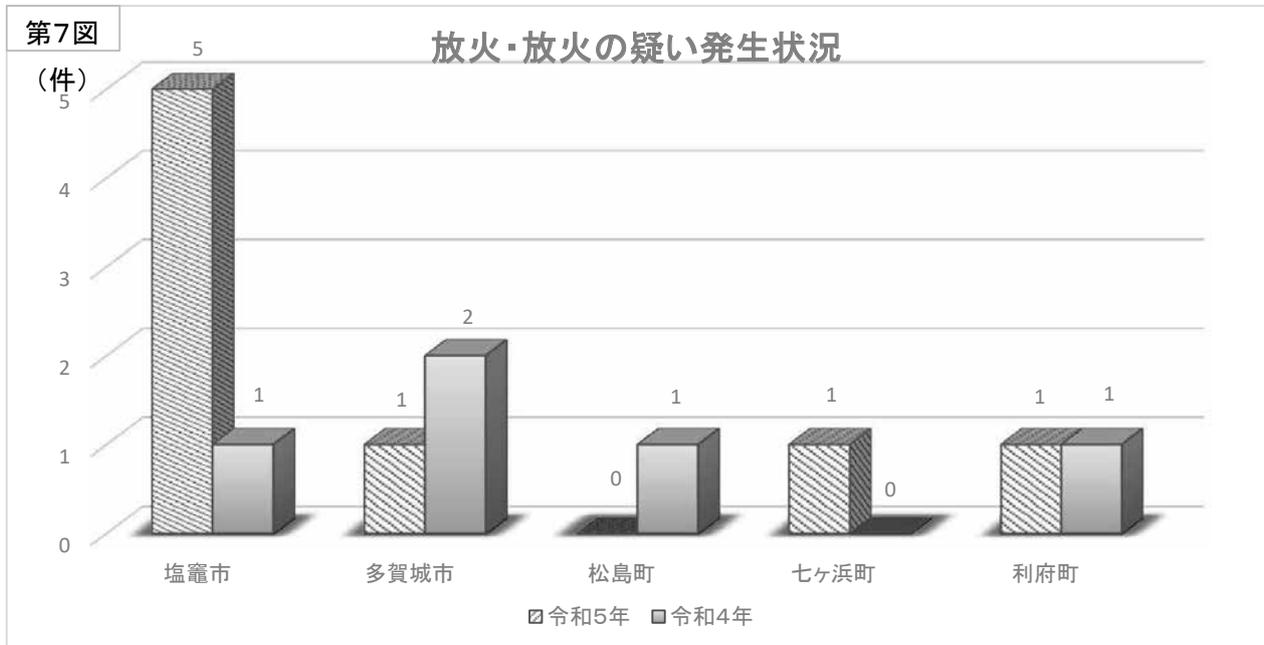
火点がわからない
無人・不在であった
濃煙のため消火できない
自然鎮火していた
発見が遅れ拡大していた

消火できなかった理由 (建物火災)

発見が遅れ消火時期が遅れた
延焼拡大し効果がない

8 「放火・放火の疑い」の発生状況

火災件数46件のうち「放火・放火の疑い」が8件発生し、前年と比較すると3件の増加となり、全体の17.4%を占めている。

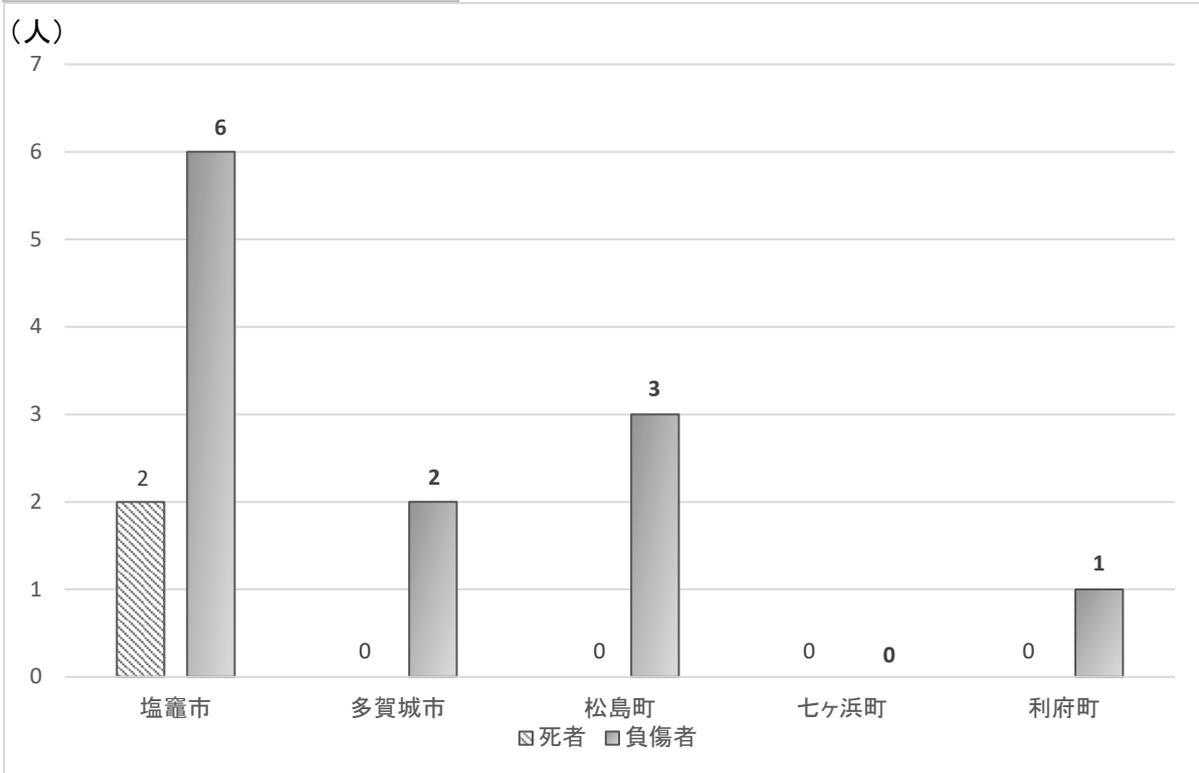


9 死傷者の発生状況

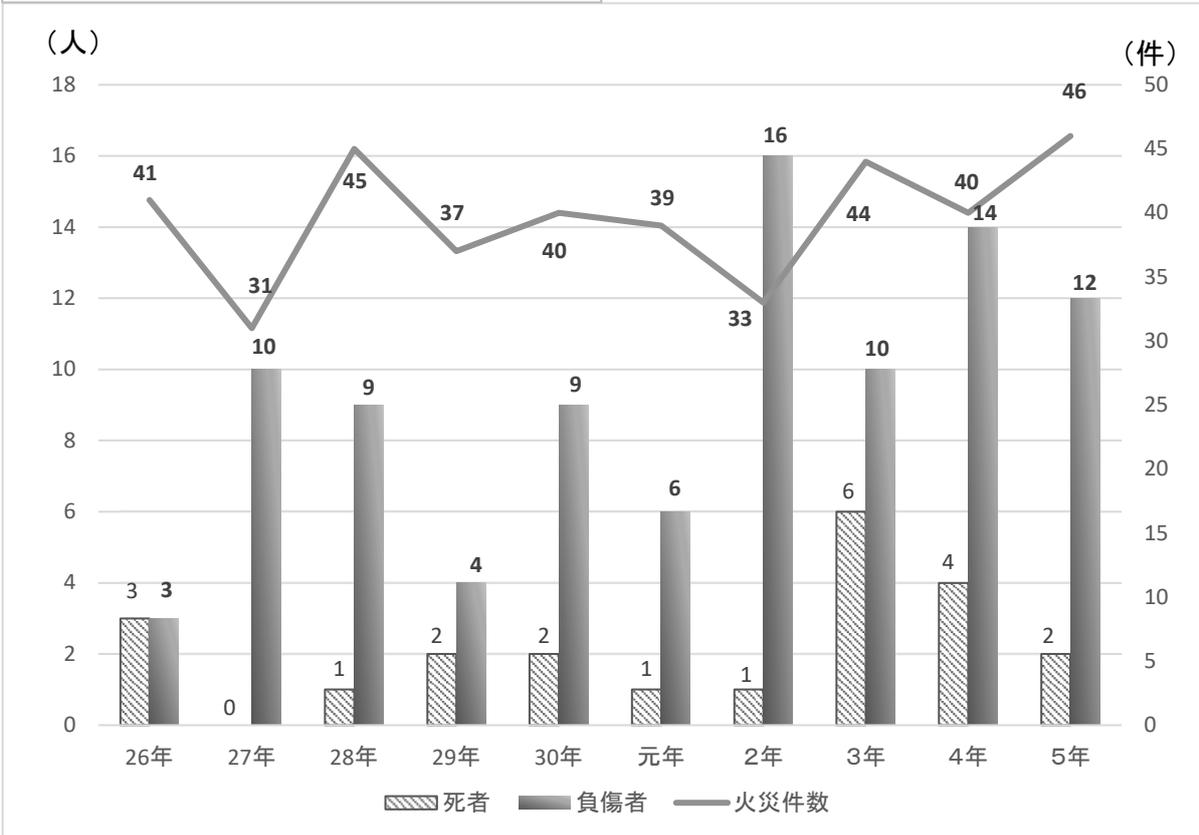
死者は建物火災で2人発生している。

負傷者は建物火災で11人、その他の火災で1人発生している。

第8図 市町別死傷者発生状況



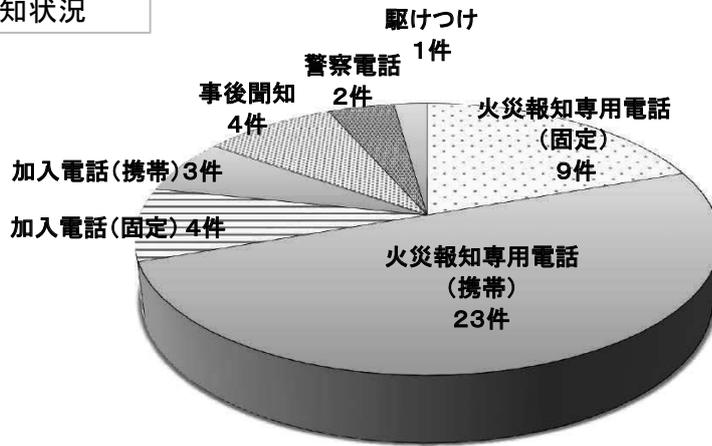
第9図 過去10年間の死傷者発生状況



10 その他

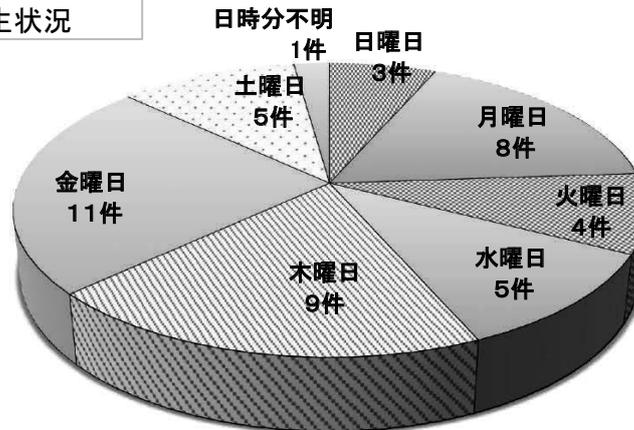
- (1) 火災の覚知については、火災報知専用電話（119番）が最も多く32件で、次いで、加入電話が7件、事後聞知が4件、警察電話が2件、駆けつけが1件の順となっている。

第10図 覚知状況



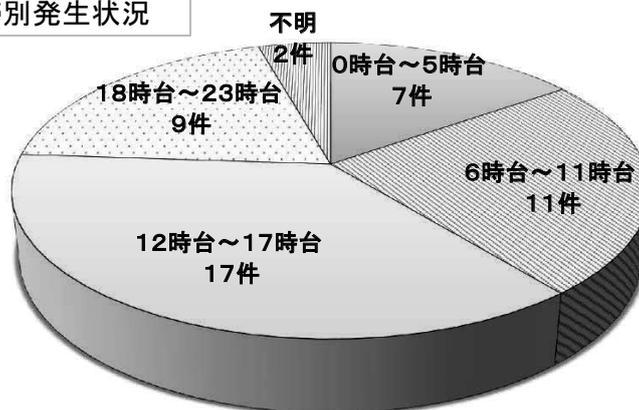
- (2) 曜日別については、金曜日が最も多く11件で、次いで木曜日の9件、月曜日の8件、水曜日、土曜日の5件、日曜日の3件の順となっている。
(1件は日時分不明)

第11図 曜日別発生状況



- (3) 出火時間帯については、12時から17時台に17件、6時から11時台に11件、18時から23時台に9件、0時から5時台に7件発生している。

第12図 出火時間帯別発生状況



11 過去5年間の火災発生状況

種 別 年 別		火 災 件 数 (件)						損 害 額 (千 円)					
		合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他
令和元年	合 計	39	18	0	5	0	16	34,552	33,222	0	1,299	0	31
	塩 竈 市	11	3	0	2	0	6	219	154	0	65	0	0
	多賀城市	10	5	0	1	0	4	1,967	1,967	0	0	0	0
	松 島 町	3	1	0	1	0	1	9,451	8,692	0	759	0	0
	七ヶ浜町	6	2	0	1	0	3	582	76	0	475	0	31
	利 府 町	9	7	0	0	0	2	22,333	22,333	0	0	0	0
令和2年	合 計	33	22	0	3	0	8	71,165	68,563	0	1,698	0	904
	塩 竈 市	9	7	0	0	0	2	32,347	31,740	0	0	0	607
	多賀城市	10	6	0	1	0	3	7,984	7,421	0	266	0	297
	松 島 町	4	1	0	1	0	2	875	243	0	632	0	0
	七ヶ浜町	4	4	0	0	0	0	10,877	10,877	0	0	0	0
	利 府 町	6	4	0	1	0	1	19,082	18,282	0	800	0	0
令和3年	合 計	44	24	3	6	0	11	280,946	279,892	0	1,037	0	17
	塩 竈 市	14	11	0	0	0	3	251,653	251,653	0	0	0	0
	多賀城市	13	7	0	3	0	3	20,265	19,856	0	402	0	7
	松 島 町	9	3	3	1	0	2	341	306	0	35	0	0
	七ヶ浜町	3	1	0	0	0	2	27	17	0	0	0	10
	利 府 町	5	2	0	2	0	1	8,660	8,060	0	600	0	0
令和4年	合 計	40	29	1	4	0	6	109,769	104,688	0	5,078	0	3
	塩 竈 市	10	10	0	0	0	0	43,329	43,329	0	0	0	0
	多賀城市	10	8	0	1	0	1	11,050	6,150	0	4,900	0	0
	松 島 町	7	4	1	0	0	2	7,103	7,103	0	0	0	0
	七ヶ浜町	3	2	0	0	0	1	29,948	29,948	0	0	0	0
	利 府 町	10	5	0	3	0	2	18,339	18,158	0	178	0	3
令和5年	合 計	46	29	1	1	0	15	147,971	147,726	0	0	0	245
	塩 竈 市	15	11	0	0	0	4	78,849	78,849	0	0	0	0
	多賀城市	12	6	0	1	0	5	6,496	6,260	0	0	0	236
	松 島 町	6	5	1	0	0	0	39,104	39,104	0	0	0	0
	七ヶ浜町	8	5	0	0	0	3	22,897	22,897	0	0	0	0
	利 府 町	5	2	0	0	0	3	625	616	0	0	0	9

火災統計

焼 損 棟 数					り 災 世 帯 数				り 災 人 員	焼 損 面 積			死 者	傷 者	放 水 件 数
合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	合 計	全 損	半 損	小 損		建 物 (m ²)		林 野 (a)			
										床 面 積	表 面 積				
19	1	2	4	12	9	0	0	9	18	518.6	7.5	0.0	1	6	21
3	0	0	0	3	1	0	0	1	5	0.0	0.6	0.0	0	3	4
5	0	0	1	4	3	0	0	3	4	4.9	3.0	0.0	0	0	5
2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	264.8	1.6	0.0	0	0	3
2	0	0	0	2	2	0	0	2	4	0.0	0.1	0.0	1	1	4
7	0	2	2	3	3	0	0	3	5	248.9	2.2	0.0	0	2	5
30	5	4	6	15	28	6	6	16	65	1,004.3	18.5	0.0	1	16	22
11	3	1	3	4	8	3	0	5	19	496.9	11.9	0.0	0	5	6
8	0	1	2	5	8	0	4	4	20	120.9	0.5	0.0	1	0	5
1	0	0	1	0	1	0	0	1	5	0.0	4.8	0.0	0	1	4
5	1	1	0	3	5	2	0	3	13	215.6	0.6	0.0	0	7	3
5	1	1	0	3	6	1	2	3	8	170.9	0.7	0.0	0	3	4
36	6	3	3	24	35	15	3	17	75	1,961.1	5.5	3.8	6	10	25
14	2	2	1	9	20	11	3	6	35	1,627.0	0.2	0.0	4	4	7
15	3	1	1	10	11	3	0	8	29	201.1	2.0	0.0	1	1	6
3	0	0	1	2	2	0	0	2	5	0	1.7	3.8	0	3	6
1	0	0	0	1	1	0	0	1	4	0	0.8	0.0	0	0	2
3	1	0	0	2	1	1	0	0	2	133.0	0.8	0.0	1	2	4
55	12	6	7	30	38	12	3	23	82	1,346.0	53	5.8	4	14	27
22	6	2	1	13	16	4	2	10	36	656.3	0.0	0.0	2	5	7
10	0	1	2	7	6	1	1	4	8	92.4	4.2	0.0	2	3	6
7	2	1	2	2	3	2	0	1	6	232.2	4.8	5.8	0	1	5
8	2	0	0	6	7	2	0	5	21	186.9	0.0	0.0	0	1	3
8	2	2	2	2	6	3	0	3	11	178.2	44.0	0.0	0	4	6
52	13	2	8	29	36	8	2	26	91	1,294.3	16.5	4.9	2	12	30
29	6	2	3	18	25	5	2	18	58	515.7	3.6	0.0	2	6	7
6	0	0	3	3	4	0	0	4	10	31.2	2.6	0.0	0	2	9
8	3	0	1	4	5	2	0	3	20	270.8	2.8	4.9	0	3	5
7	4	0	1	2	2	1	0	1	3	476.6	7.5	0.0	0	0	7
2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0	1	2

過去10年間の主な火災

損害額2千万円以上・死傷者5人以上
建物焼損面積500㎡以上・林野300a以上

番号	出火場所	出火日時	用途等	死者	傷者	焼損面積 (㎡・a)	損害額 千円	原因
1	七ヶ浜町花浜	H26.2.3	海苔乾燥施設	0	0	21.5	25,559	その他
2	塩竈市楓町	H26.11.24	住宅	0	1	195.1	44,184	石油ファンヒーター
3	多賀城市笠神	H28.7.4	浮棧橋	0	0	-	25,721	放火の疑い
4	塩竈市新浜町	H28.8.18	船舶	0	0	-	80,000	その他
5	塩竈市新浜町	R3.12.3	工場	0	1	1,345.0	198,820	電気関係
6	松島町高城	R5.5.19	住宅	0	0	163.13	30,217	電気関係
7	塩竈市長沢町	R5.11.20	住宅	0	1	110.29	21,461	たばこの不始末

※ 平成27、29、30年及び令和元、2、4年中は該当する火災は発生しなかったもの。

第 6 編 救急統計



令和5年の救急概要

令和5年中における救急概要を見ると、出場件数10,643件(対前年比563件増、5.6%増)搬送人員9,950人(対前年比492人増、5.2%増)となっている。これは管内で、1日平均約29.1回(前年約27.6回)救急車が出場し、住民の約18人(前年約20人)に1人が救急隊によって搬送されたことになる。

市町別出場状況

塩竈市	3,602件(前年 3,639件)
多賀城市	3,247件(前年 2,986件)
松島町	1,011件(前年 932件)
七ヶ浜町	942件(前年 881件)
利府町	1,835件(前年 1,638件)
他市町	6件(前年 4件)

事故別出場状況

	令和5年	令和4年
第1位	急病	(同左)
第2位	一般負傷	(同左)
第3位	転院搬送	(同左)
第4位	交通事故	(同左)
第5位	自損行為	(自損行為) 運動競技

月別出場状況

第1位	8月	1,178件
第2位	7月	1,073件
第3位	12月	956件
第4位	9月	938件

傷病程度別搬送状況

第1位	中等症	5,546人 (55.7%)
第2位	軽症	3,328人 (33.4%)
第3位	重症	920人 (9.2%)
第4位	死亡	155人 (1.6%)

年齢区分別搬送状況

高齢者(65歳以上)が最も多く6,424人、次いで成人2,634人、乳幼児、少年、新生児の順

平均現場到着所要時間

9分 03秒
(覚知から現場に到着するまでの時間)

平均病院等収容所要時間

49分 14秒
(覚知から医療機関に収容するまでの時間)

医療機関別搬送状況

- 救急告示病院は、
9,696人 (97.4%)
- その他の医療機関は、
254人 (2.5%)
- 管内搬送は5,119人
(全体の51.4%)

1 市町別救急発生状況

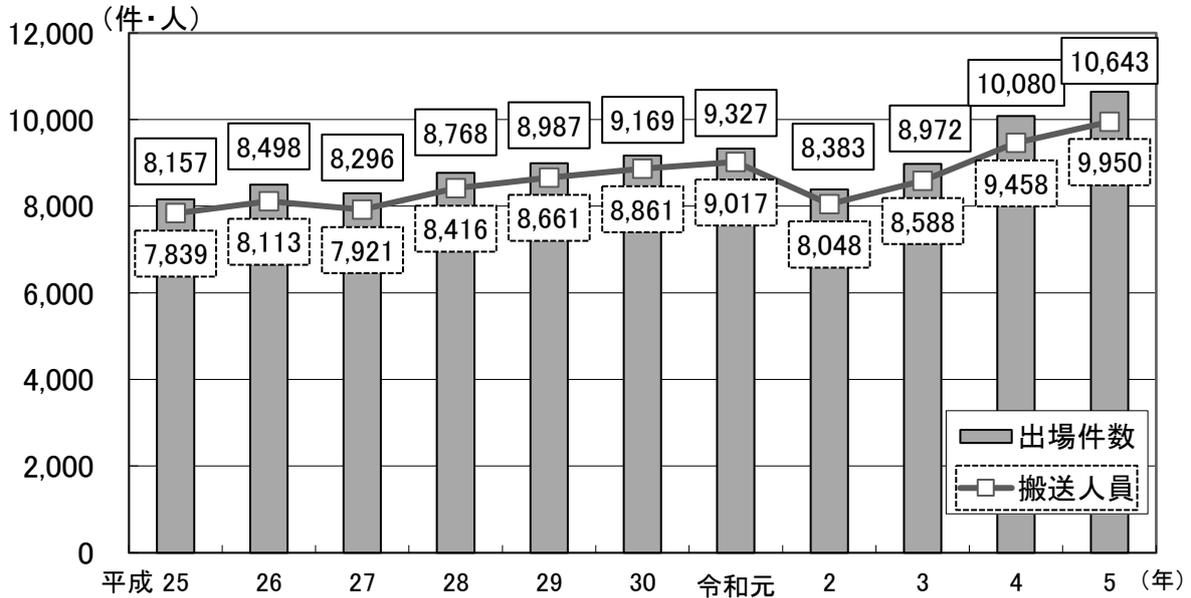
区 分	令和5年		令和4年		対 前 年 比	
	出場件数(件)	搬送人員(人)	出場件数(件)	搬送人員(人)	増 減 数	増 減 率 (%)
	合 計	10,643	9,950	10,080		
塩 竈 市	3,602	3,376	3,639	3,429	△ 37	△ 1.0
					△ 53	△ 1.5
多賀城市	3,247	3,017	2,986	2,787	261	8.7
					230	8.3
松 島 町	1,011	927	932	873	79	8.5
					54	6.2
七ヶ浜町	942	882	881	822	61	6.9
					60	7.3
利 府 町	1,835	1,743	1,638	1,543	197	12.0
					200	13.0
他 市 町	6	5	4	4	2	-
					1	-

2 市町事故別救急発生状況

区分		合計	火災	自然災害	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	転院搬送	他
塩竈市	出場件数	3,602	11	0	4	84	27	3	508	9	14	2,510	431	1
	搬送人員	3,376	6	0	4	80	27	3	489	6	8	2,323	430	0
多賀城市	出場件数	3,247	8	0	0	157	16	16	455	6	29	2,392	168	0
	搬送人員	3,017	2	0	0	157	16	16	429	4	22	2,203	168	0
松島町	出場件数	1,011	5	0	2	40	5	8	146	1	3	711	90	0
	搬送人員	927	2	0	1	43	5	8	136	1	2	639	90	0
七ヶ浜町	出場件数	942	6	0	3	20	2	6	130	3	7	736	29	0
	搬送人員	882	0	0	1	20	2	6	123	0	4	698	28	0
利府町	出場件数	1,835	2	0	0	93	13	14	224	3	13	1,330	143	0
	搬送人員	1,743	1	0	0	99	13	13	215	3	5	1,251	143	0
他市町	出場件数	6	0	0	0	4	0	0	0	0	0	2	0	0
	搬送人員	5	0	0	0	3	0	0	0	0	0	2	0	0
合計	出場件数	10,643	32	0	9	398	63	47	1,463	22	66	7,681	861	1
	搬送人員	9,950	11	0	6	402	63	46	1,392	14	41	7,116	859	0
令和4年	出場件数	10,080	24	7	6	404	54	69	1,398	28	69	7,110	902	9
	搬送人員	9,458	15	7	4	412	54	70	1,339	19	51	6,583	902	2
対前 年比	出場件数	563	8	△ 7	3	△ 6	9	△ 22	65	△ 6	△ 3	571	△ 41	△ 8
	搬送人員	492	△ 4	△ 7	2	△ 10	9	△ 24	53	△ 5	△ 10	533	△ 43	△ 2
対前 年率	出場件数	5.6	33.3	△ 100.0	50.0	△ 1.5	16.7	△ 31.9	4.6	△ 21.4	△ 4.3	8.0	△ 4.5	△ 88.9
	搬送人員	5.2	△ 26.7	△ 100.0	50.0	△ 2.4	16.7	△ 34.3	4.0	△ 26.3	△ 19.6	8.1	△ 4.8	-

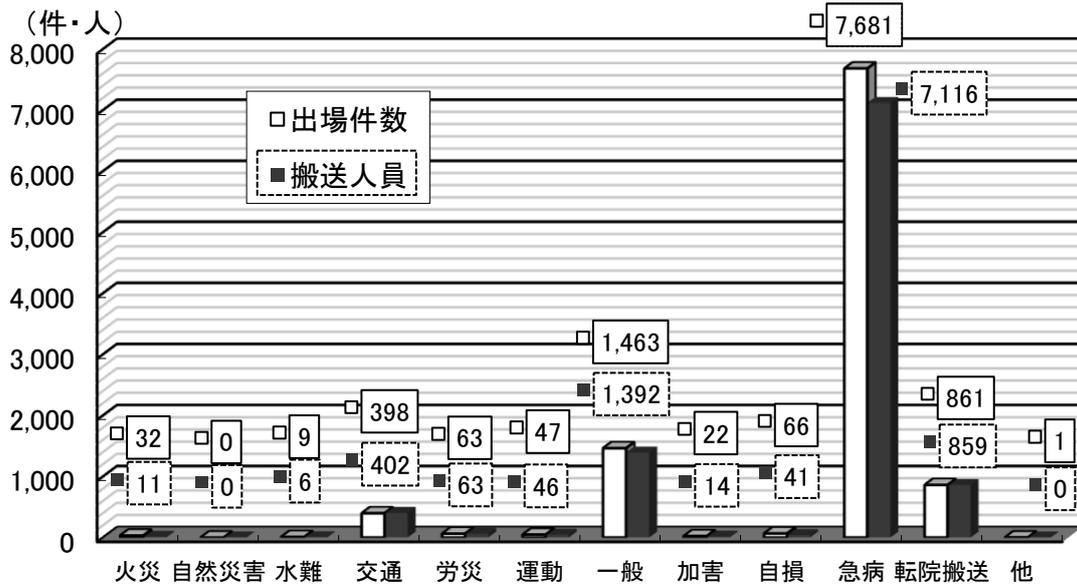
3 救急発生状況の推移

過去10年間の救急出場件数と搬送人員を見ると、出場件数は10年前より2,486件増加し、搬送人員は2,111人増加している。



4 事故別救急発生状況

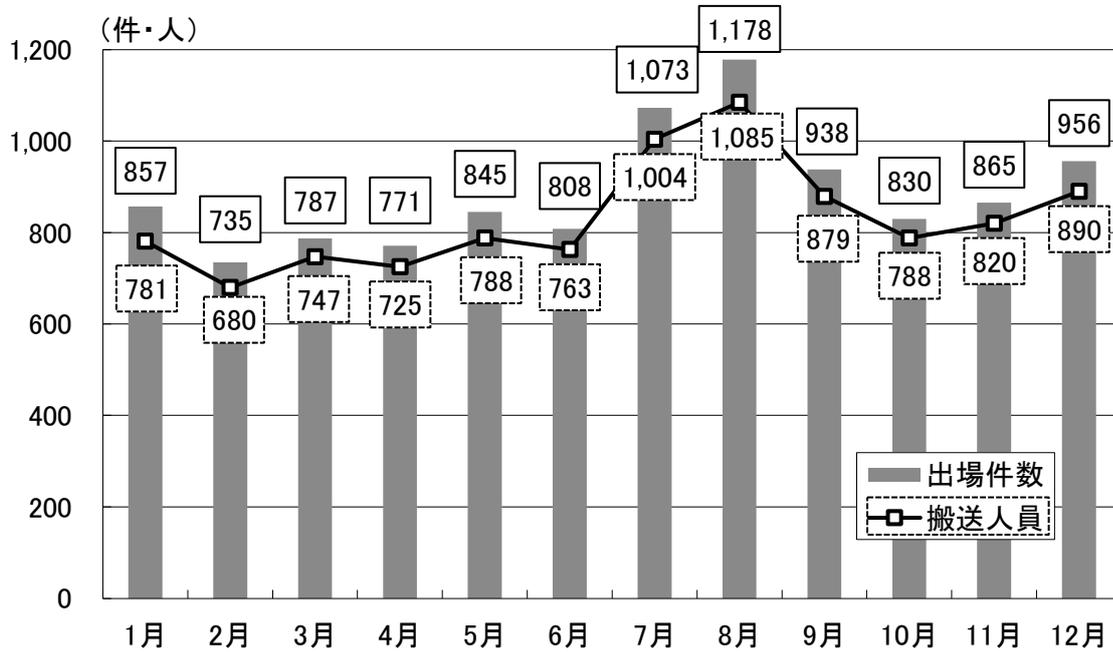
事故別の出場状況は下図のとおりであるが、構成比は急病が約 72.1%、一般負傷が約 13.7%、転院搬送が約 8.0%、交通事故が約 3.7%となっている。



救急統計

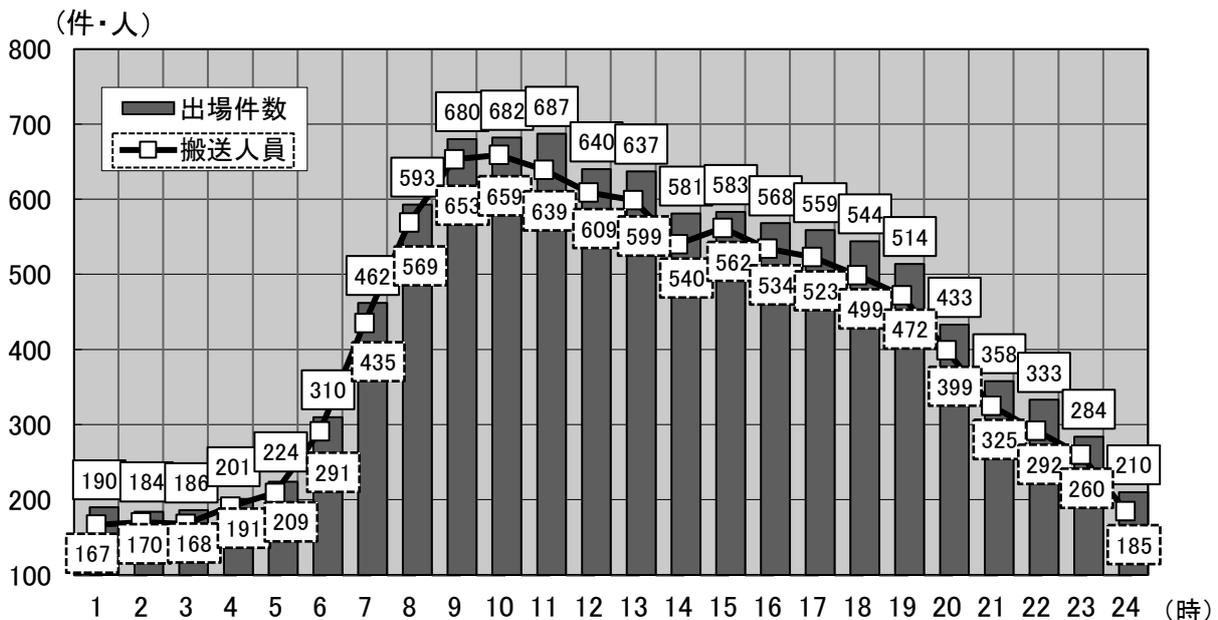
5 月別救急発生状況

出場件数を月別に見ると、8月が1,178件で最も多く、次いで7月が1,073件、12月が956件、9月が938件の順で、1か月平均では約886件となっている。



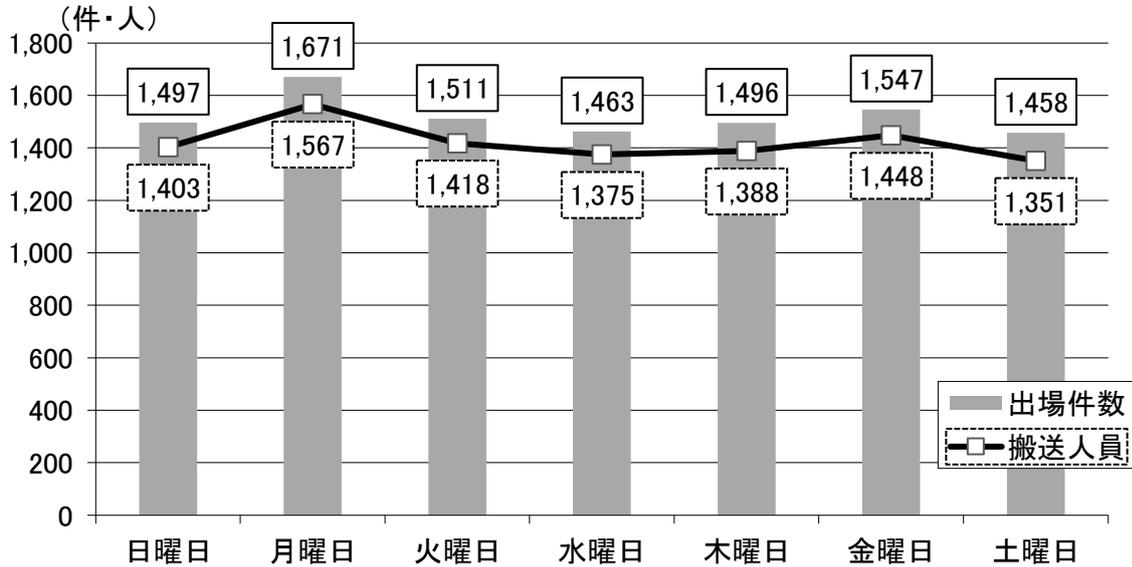
6 時間別救急発生状況

出場件数を時間別に見ると、11時～12時が687件で最も多く、次いで10時～11時が682件、9時～10時が680件、12時～13時が640件の順となっており、日中の時間帯に多くなっている。



7 曜日別救急発生状況

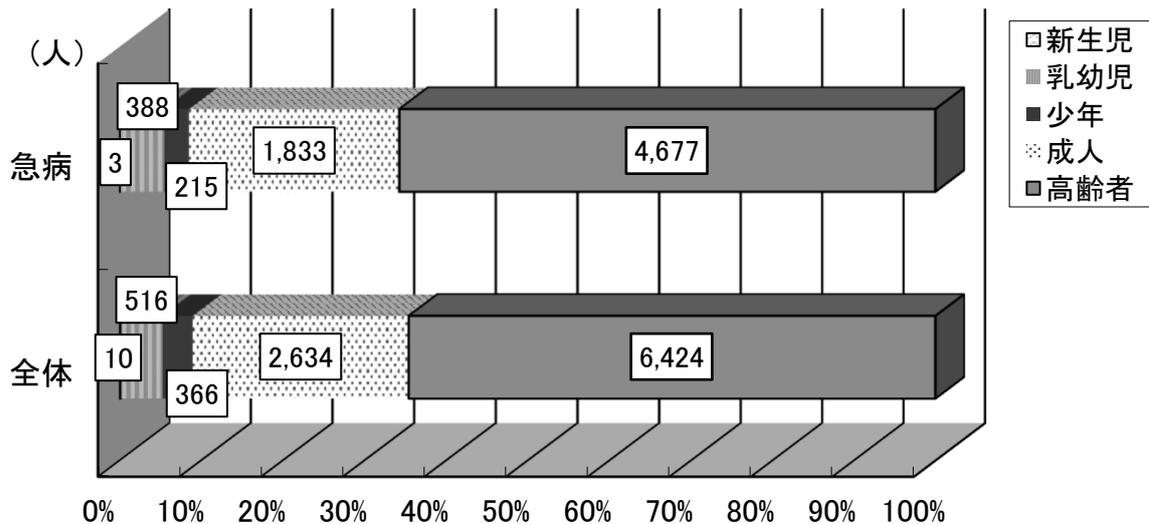
出場件数を曜日別に見ると、月曜日が最も多く1,671件、次いで金曜日が1,547件、火曜日が1,511件の順になっており、全てで1,400件を超えている。



8 年齢区分別搬送状況

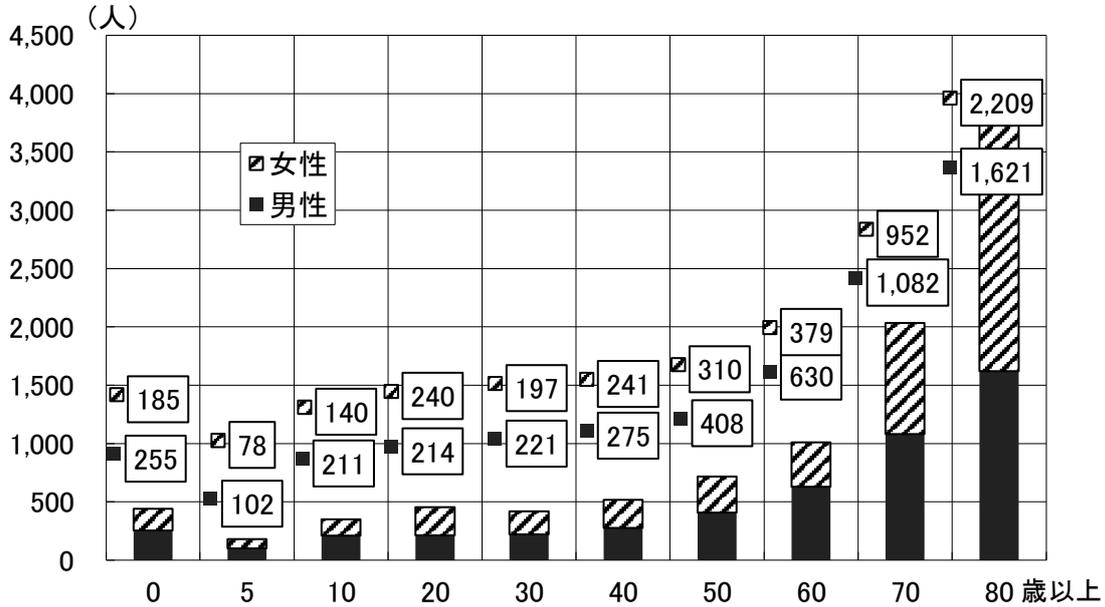
高齢者(65歳以上)が6,424人(全体の約64.6%)で最も多く、次いで成人が2,634人(全体の約26.5%)、乳幼児、少年、新生児の順になっている。

また、事故種別で最も多い急病についても高齢者が4,677人で最も多くなっている。



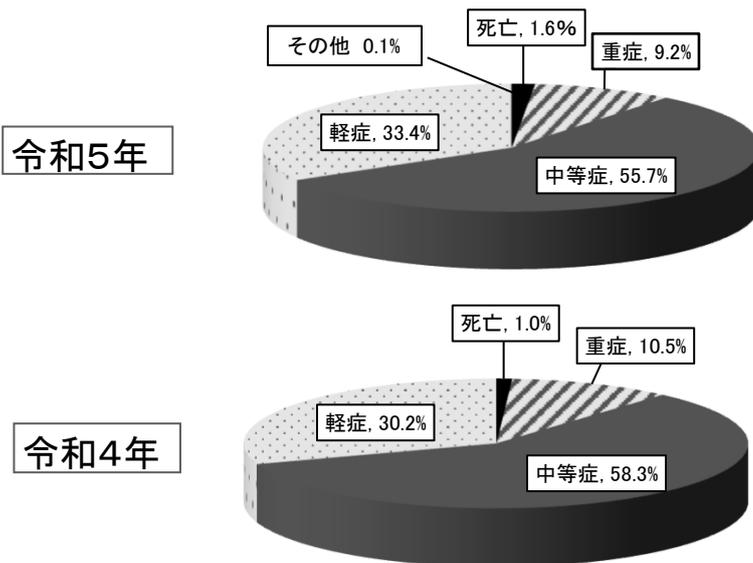
9 年代別性別搬送状況

年代別では80歳以上が3,830人で最も多く、次いで、70～79歳が2,034人、60～69歳が1,009人の順になっている。男女別総数では男性が5,019人、女性が4,931人となっている。



10 傷病程度別搬送状況

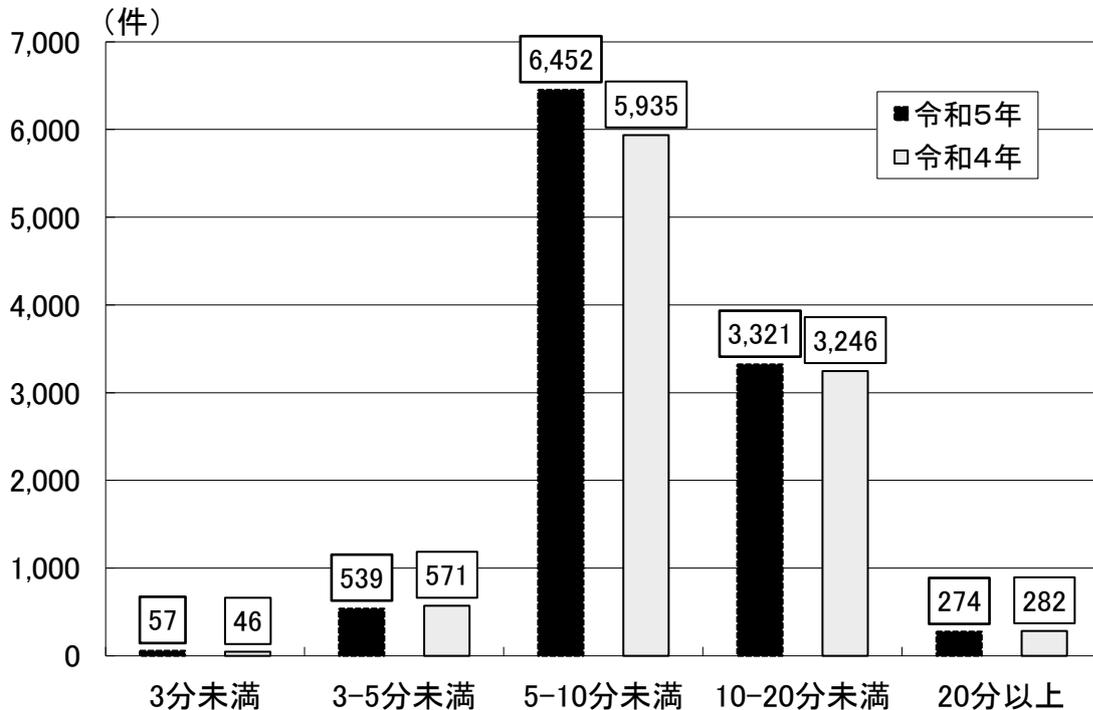
搬送人員の傷病程度の割合は下図のとおりであり、前年とほぼ同じ割合となっている。なお、傷病程度は初診時における医師の診断に基づき分類されている。



11 現場到着所要時間別出場状況

出場件数10,643件の現場到着所要時間別(覚知から現場に到着するまでに要した時間別)の状況は下図のとおりである。

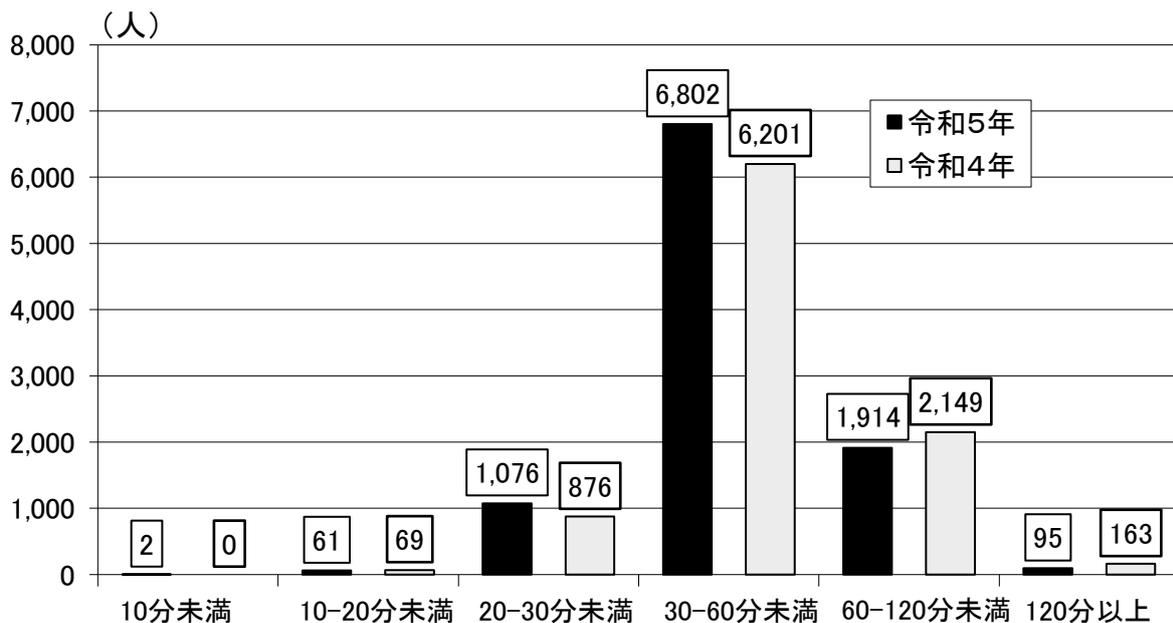
5分以上10分未満が最も多く6,452件で全体の約60.6%を占めている。



12 収容所要時間別搬送状況

搬送人員9,950人の収容所要時間別(覚知から医療機関に収容するまでに要した時間別)の状況は下図のとおりである。

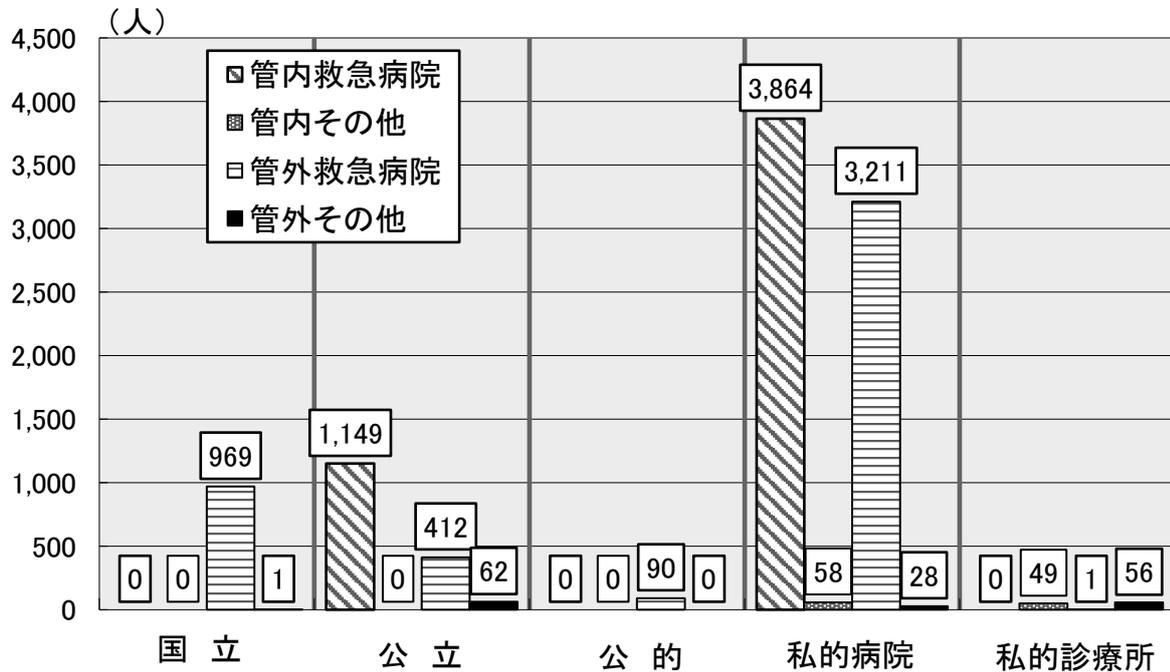
30分以上60分未満が最も多く6,802人で全体の約68.4%を占めている。



13 医療機関別搬送状況

搬送人員 9,950人のうち救急告示医療機関に搬送されたのは9,696人(全体の約97.4%)、その他の医療機関に搬送されたのは254人(全体の約2.6%)となっている。

9,696人のうち、管内の病院に搬送されたのは5,012人(約51.7%)となっている。



(注) 医療機関の分類は次により記載した。

- (1) 「国立」とは、開設者が国(国立大学法人、独立行政法人労働者健康福祉機構、独立行政法人国立病院機構等を含む。)であるもの。
- (2) 「公立」とは、開設者が都道府県、市町村及び地方自治法(昭和22年法律第67号)第284条第1項に規定する地方公共団体の組合であるもの。
- (3) 「公的」とは、開設者が次のものであるもの。
 - a 普通国民健康保険組合
 - b 日本赤十字社
 - c 社会福祉法人恩賜財団済生会
 - d 全国厚生農業協同組合の会員である厚生(医療)農業協同組合連合会
 - e 社会福祉法人北海道社会事業協会

14 救急隊事故別救急発生状況

(件・人)

区分		合計	火災	自然災害	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	転院搬送	他
塩釜隊	出場件数	4,618	12	0	4	146	34	14	615	12	26	3,321	434	0
	搬送人員	4,325	8	0	4	144	34	13	588	7	18	3,076	433	0
多賀城隊	出場件数	1,932	7	0	0	87	12	10	299	2	11	1,364	139	1
	搬送人員	1,813	0	0	0	87	12	10	286	2	8	1,269	139	0
松島隊	出場件数	1,049	0	0	2	41	6	7	144	0	4	769	76	0
	搬送人員	967	0	0	1	45	6	7	133	0	2	697	76	0
七ヶ浜隊	出場件数	1,289	1	0	3	43	2	5	192	2	9	960	72	0
	搬送人員	1,202	1	0	1	45	2	5	178	0	5	894	71	0
利府隊	出場件数	1,755	12	0	0	81	9	11	213	6	16	1,267	140	0
	搬送人員	1,643	2	0	0	81	9	11	207	5	8	1,180	140	0
合計	出場件数	10,643	32	0	9	398	63	47	1,463	22	66	7,681	861	1
	搬送人員	9,950	11	0	6	402	63	46	1,392	14	41	7,116	859	0

15 診療科目別搬送状況

(人)

区分		合計	火災	自然災害	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	他
診療科目別	救命	711	4	0	3	29	8	2	58	0	16	559	32
	内科	4,086	3	0	1	3	2	4	50	0	10	3,868	145
	外科	1,056	4	0	2	261	30	15	582	10	9	128	15
	小児科	595	0	0	0	8	0	0	55	0	0	494	38
	産婦人科	68	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	38
	眼科	12	0	0	0	0	1	0	3	0	0	7	1
	整形・形成外科	999	0	0	0	94	21	16	563	2	1	232	70
	耳鼻咽喉科	58	0	0	0	0	0	0	5	0	0	43	10
	脳神経科	815	0	0	0	7	1	8	60	2	0	614	123
	泌尿器科	158	0	0	0	0	0	0	3	0	0	118	37
	精神科	29	0	0	0	0	0	0	0	0	5	22	2
	消化器科	461	0	0	0	0	0	0	3	0	0	345	113
	呼吸器科	260	0	0	0	0	0	1	5	0	0	185	69
	循環器科	604	0	0	0	0	0	0	0	0	0	444	160
	その他	38	0	0	0	0	0	0	5	0	0	27	6
合計	9,950	11	0	6	402	63	46	1,392	14	41	7,116	859	

16 救急隊員の行った応急処置等の状況(事故種別による分類) (件)

区 分	合計	急 病	交通事故	一般負傷	その他
応急処置等対象搬送人員(人)	9,448	6,578	410	1,337	1,123
止 血	292	35	38	217	2
被 覆	302	28	49	223	2
固 定	315	34	137	141	3
保 温	3,899	2,810	135	585	369
酸素吸入	1,545	1,299	21	41	184
人工呼吸	102	94	1	6	1
胸骨圧迫	0	0	0	0	0
※うち自動式心マッサージ器	0	0	0	0	0
心肺蘇生	245	220	1	11	13
※うち自動式心マッサージ器	140	123	0	6	11
在宅療法継続	0	0	0	0	0
血圧測定	9,272	6,712	393	1,329	838
心音・呼吸音聴取	4,307	3,278	189	534	306
血中酸素飽和度測定	9,531	6,895	399	1,381	856
心電図測定	9,089	6,692	352	1,249	796
気道確保	118	104	0	11	3
※うち経鼻エアウェイ	53	51	0	2	0
※うち喉頭鏡・鉗子等	9	7	0	2	0
※うちラリングアルマスク等	51	46	0	2	3
※うち気管挿管	5	0	0	5	0
※除細動	26	24	0	1	1
※静脈路確保	228	203	4	8	13
※うちCPA前	54	46	4	1	3
※うちCPA後	150	134	0	7	9
※うちブドウ糖	24	23	0	0	1
※エピネフリン投与	79	71	0	2	6
※血糖測定	116	113	0	2	1
※ブドウ糖投与	18	17	0	0	1
その他の処置	5,134	3,756	203	732	443
計	44,618	32,385	1,922	6,473	3,838

※は平成3年以降に拡大された応急処置等の項目である。

17 応急手当の普及状況

(人)

区 分		合 計	普通救命講習	上級救命講習	普及員講習
講 習 回 数		77	74	3	
	※1	37	37	0	0
	※2	2	2		
受 講 者 数		972	904	68	
	※1	451	451	0	0
	※2	0	0		
性 別	男	423	372	51	
		※1	114	114	0
	※2	0	0		
	女	549	532	17	
※1		337	337	0	0
※2	0	0			
年 代 別	10代	92	28	64	0
	20代	160	159	1	0
	30代	134	134	0	0
	40代	189	188	1	0
	50代	184	182	2	0
	60代	138	138	0	0
	70代	37	37	0	0
	80以上	3	3	0	0

※1 eラーニングにより救命講習の座学部分を受講し、概ね1か月以内に実技救命講習を実施した普通・上級救命講習の内数

※2 救命入門コースを受講し、概ね12か月以内に実技救命講習を実施した普通救命講習の内数

救命入門コース	回数	人 数										
		合計	性別		年 代 別							
			男	女	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
4	16	9	7	8	0	0	0	2	3	2	1	

その他の講習	回 数	人 数		
		合 計	男	女
		96	1,801	650
(うちAEDを使用)	94	1,762	616	1,146

※ その他の講習で、AEDを使用し講習した内数

18 過去5年間の市町別救急発生状況

区 分		出場件数 (件)					搬送人員 (人)				
		合計	交通	一般 負傷	急病	その他	合計	交通	一般 負傷	急病	その他
令和 元年	合 計	9,327	418	1,175	6,413	1,321	9,017	444	1,144	6,165	1,264
	塩 竈 市	3,306	97	408	2,187	614	3,177	99	388	2,100	590
	多 賀 城 市	2,673	157	360	1,928	228	2,622	179	350	1,870	223
	松 島 町	1,017	33	139	699	146	962	31	130	661	140
	七ヶ浜町	758	21	89	570	78	739	18	99	554	68
	利 府 町	1,557	103	179	1,025	250	1,499	108	177	976	238
	他 市 町	16	7	0	4	5	18	9	0	4	5
令和 2年	合 計	8,383	375	1,120	5,790	1,098	8,048	382	1,094	5,515	1,057
	塩 竈 市	3,004	76	405	1,997	526	2,883	72	397	1,902	512
	多 賀 城 市	2,410	141	323	1,749	197	2,310	147	312	1,668	183
	松 島 町	848	47	106	572	123	815	48	102	546	119
	七ヶ浜町	755	17	118	555	65	730	20	116	531	63
	利 府 町	1,357	87	167	917	186	1,304	91	166	868	179
	他 市 町	9	7	1	0	1	6	4	1	0	1
令和 3年	合 計	8,972	363	1,156	6,232	1,221	8,588	377	1,119	5,915	1,177
	塩 竈 市	3,285	66	401	2,215	603	3,130	65	391	2,090	584
	多 賀 城 市	2,610	139	337	1,888	246	2,508	145	323	1,807	233
	松 島 町	845	41	109	571	124	798	45	106	526	121
	七ヶ浜町	764	20	112	587	45	743	19	112	569	43
	利 府 町	1,464	96	197	970	201	1,405	102	187	922	194
	他 市 町	4	1	0	1	2	4	1	0	1	2
令和 4年	合 計	10,080	404	1,398	7,110	1,168	9,458	412	1,339	6,583	1,124
	塩 竈 市	3,639	103	452	2,497	587	3,429	106	432	2,320	571
	多 賀 城 市	2,986	124	409	2,219	234	2,787	125	394	2,045	223
	松 島 町	932	39	171	626	96	873	38	165	580	90
	七ヶ浜町	881	20	135	678	48	822	22	125	630	45
	利 府 町	1,638	115	231	1,089	203	1,543	118	223	1,007	195
	他 市 町	4	3	0	1	0	4	3	0	1	0
令和 5年	合 計	10,643	398	1,463	7,681	1,101	9,950	402	1,392	7,116	1,040
	塩 竈 市	3,602	84	508	2,510	500	3,376	80	489	2,323	484
	多 賀 城 市	3,247	157	455	2,392	243	3,017	157	429	2,203	228
	松 島 町	1,011	40	146	711	114	927	43	136	639	109
	七ヶ浜町	942	20	130	736	56	882	20	123	698	41
	利 府 町	1,835	93	224	1,330	188	1,743	99	215	1,251	178
	他 市 町	6	4	0	2	0	5	3	0	2	0

19 過去の主な救急事故（傷病者6名以上）

(人)

年 月 日 覚知時間	事故 種別	発 生 場 所	概 要	傷 病 程 度			
				死 亡	重 症	中等症	軽 症
平成2年 3月15日 10時17分	労 災	多賀城市栄二丁目地内 (東北ドック鉄工内)	ガス爆発	0	0	1	5
平成2年 3月20日 15時43分	交 通	利府町神谷沢字大谷地 地内(カメイスタンド前)	停車中の乗用車と 乗用車の追突	0	0	0	6
平成2年 10月29日 11時55分	交 通	松島町高城字明神地内 (レストラン四季亭前)	トラックと乗用車の 衝突	0	0	1	5
平成5年 5月16日 16時12分	交 通	塩竈市杉の入四丁目地内 (小野自動車前)	乗用車同士の正面 衝突	0	0	4	3
平成6年 2月14日 16時5分	交 通	松島町松島字石田地内 (パノラマライン入口付近)	路上凍結による乗 用車同士の衝突	0	0	1	5
平成6年 8月3日 17時00分	交 通	利府町菅谷字産野原地内 (ふくろうの森前)	乗用車の道路脇の 立木への衝突	0	0	0	8
平成8年 8月5日 10時2分	急 病	塩竈市一森山地内 (駐車場)	食中毒	0	0	7	0
平成8年 7月20日 21時7分	交 通	利府町利府字八幡崎地内 (モービル石油前)	右折車と後続車の 衝突	0	2	3	2
平成9年 6月28日 19時57分	交 通	松島町根廻字蒜沢地内 (東北本線トンネル内)	列車の脱線事故	0	0	5	6
平成9年 11月15日 15時7分	交 通	塩竈市東玉川町地内 (JR 塩釜駅南側)	乗用車の多重衝突 事故	0	0	0	6
平成11年 10月15日 16時44分	交 通	多賀城市市川字坂下地内 (市川橋付近)	バスと乗用車の正 面衝突	0	0	0	7
平成12年 3月6日 16時31分	交 通	塩竈市港町1丁目地内 (片倉チッカリン前)	ローリーと乗用車の 衝突	0	3	3	1
平成13年 7月15日 11時2分	運 動	七ヶ浜町吉田浜字野山地 内(陸上競技場内)	リレー競技中に転 倒	0	0	0	8
平成14年 1月3日 11時7分	交 通	松島町桜渡戸字麦田地内 三陸自動車道上	乗用車8台の衝突 事故	0	0	0	6
平成14年 1月6日 14時38分	交 通	利府町沢乙字寺下2-1 (にしむら整形外科前)	乗用車4台の玉突 き 事故	0	0	0	7
平成14年 3月10日 0時8分	交 通	松島町初原字欠田地内 仙台松島線上	トラックと乗用車の 正面衝突事故	0	0	2	8
平成14年 7月2日 13時12分	交 通	利府町菅谷字長者前 (ホテルアイネ付近前)	乗用車同士の衝突 事故	0	0	0	7
平成16年 8月10日 ①7時22分 ②12時7分	急 病	利府町菅谷館10-1 (グランディー21合宿所内)	腹痛等を訴える学 生が多数発生	0	1	7	35
平成17年 5月22日 4時20分	交 通	多賀城市八幡一丁目3番地内 (国道45号線交差点付近)	RV車が横断中の歩行者 の列に突っ込んだもの	3	0	4	18

(人)

年 月 日 覚知時間	事故 種別	発 生 場 所	概 要	傷 病 程 度			
				死 亡	重 症	中等症	軽 症
平成17年 11月14日 10時17分	交 通	塩竈市芦畔町10-1地内 路上	送迎車両と乗用車 の衝突事故	0	0	0	8
平成20年 5月19日 12時11分	交 通	松島町松島字町内98-1 松島観光栈橋	航行中の観光船が 暗礁に衝突したもの	0	0	2	8
平成29年 5月28日 18時43分	交 通	多賀城市八幡一丁目7番地内 (国道45号線下り車線)	乗用車3台の玉突き 事故	0	0	2	5
平成30年 8月22日 12時45分	交 通	塩竈市北浜四丁目8地内 (相原酒店前交差点)	乗用車2台の衝突事 故	0	0	1	5
令和元年 8月1日 15時54分	交 通	多賀城市城南一丁目11番5号 (セブンコート付近)	トラックと乗用車の衝 突事故	0	0	2	4
令和元年 10月5日 10時26分	一 般	七ヶ浜町代ヶ崎浜字八ヶ森 (多聞山芝生公園)	蜂に刺されたもの	0	0	0	14
令和元年 12月18日 7時41分	機 械 事 故	塩竈市新浜町二丁目1番35号 (ホームセンター建設工事現 場)	乗用車内で作業員3名が 待機中、クレーンが倒れ 下敷きになったもの	1	1	1	4
令和3年 7月12日 18時35分	急 病	多賀城市高橋五丁目6番1号 (仙台育英学園多賀城校舎)	吹奏楽部の部活動中、生 徒9名が熱中症の様な症 状(うち1名不搬送)	0	0	8	0
令和3年 12月18日 21時30分	交 通	多賀城市八幡三丁目5番地内 (ん寿司付近交差点)	軽乗用車同士の交 通事故	0	0	1	5

第7編 救助統計



令和5年の救助概要

令和5年中における救助概要を見ると、出動件数は56件（対前年14件増）、救助人員は60人（対前年15人増）となっている。

出動件数を事故種別に見ると、建物等による事故が24件（対前年12件増）で最も多く、次いで交通事故が12件（対前年6件増）の順となっている。

～ 市町別の出動件数 ～

塩竈市	18件	(前年 13件)
多賀城市	12件	(前年 11件)
松島町	10件	(前年 7件)
七ヶ浜町	2件	(前年 4件)
利府町	14件	(前年 7件)

～ 事故種別の救助人員 ～

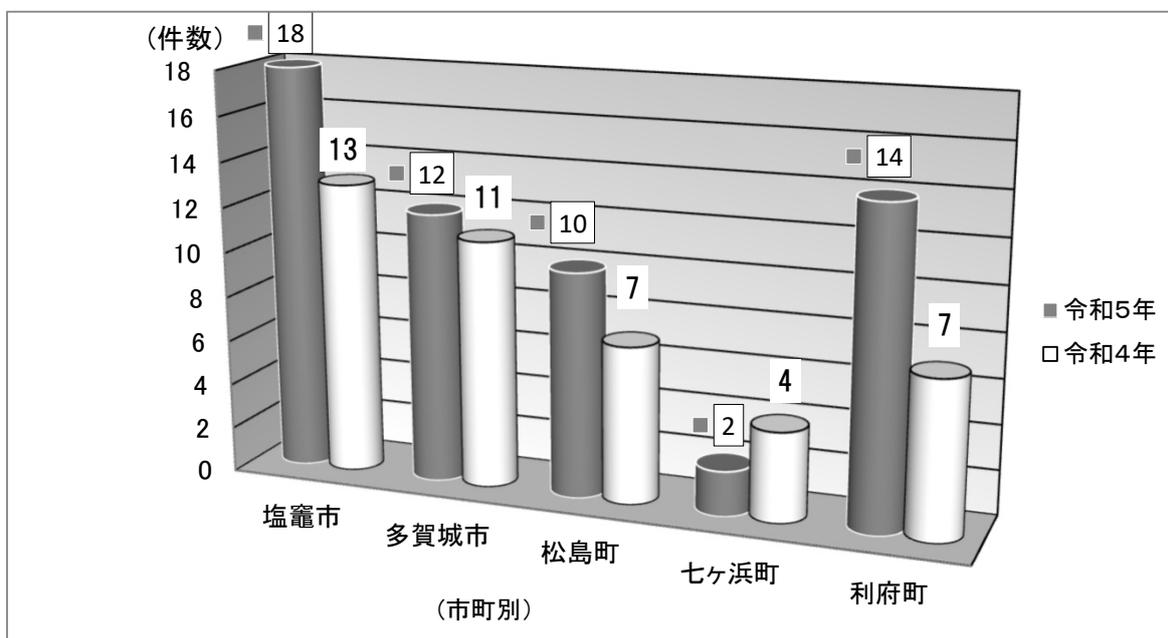
交通事故	13人	(前年 6人)
水難事故	4人	(前年 5人)
自然災害	0人	(前年 8人)
機械による事故	2人	(前年 1人)
建物等による事故	27人	(前年 12人)
火災	4人	(前年 4人)
その他	10人	(前年 9人)

～ 市町別救助発生状況 ～

区分		令和5年	令和4年	増減	合計	事故種別							
						火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物事故	酸欠事故	その他
合計	出動件数	56	42	14	56	4	12	4	0	2	24	0	10
	救助人員	60	45	15	60	4	13	4	0	2	27	0	10
塩竈市	出動件数	18	13	5	18	3	1	2	0	1	10	0	1
	救助人員	18	13	5	18	3	1	2	0	1	10	0	1
多賀城市	出動件数	12	11	1	12	1	3	0	0	0	6	0	2
	救助人員	12	11	1	12	1	3	0	0	0	6	0	2
松島町	出動件数	10	7	3	10	0	1	2	0	0	4	0	3
	救助人員	10	10	0	10	0	1	2	0	0	4	0	3
七ヶ浜町	出動件数	2	4	△2	2	0	1	0	0	0	1	0	0
	救助人員	2	4	△2	2	0	1	0	0	0	1	0	0
利府町	出動件数	14	7	7	14	0	6	0	0	1	3	0	4
	救助人員	18	7	11	18	0	7	0	0	1	6	0	4
他市町	出動件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	救助人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

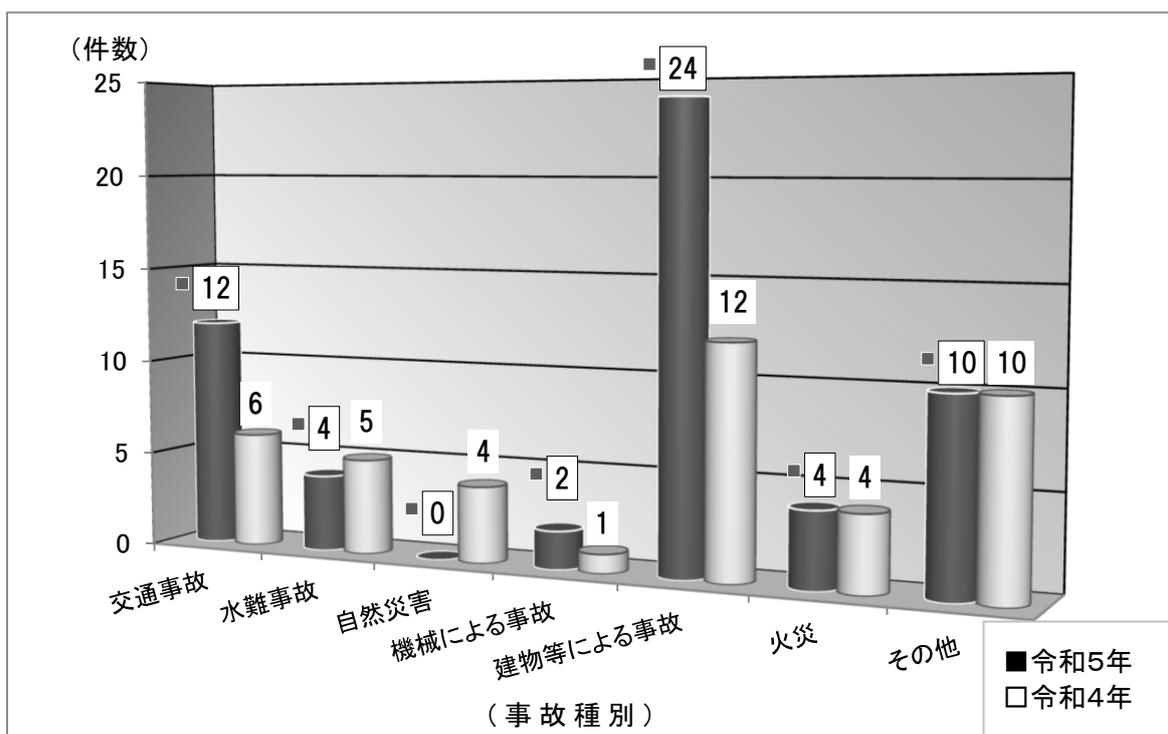
1 市町別出動状況

出動件数を市町別に見ると、塩竈市が18件で最も多く、次いで利府町が14件、多賀城市が12件、松島町が10件、七ヶ浜町が2件の順となっている。



2 事故種別出動状況

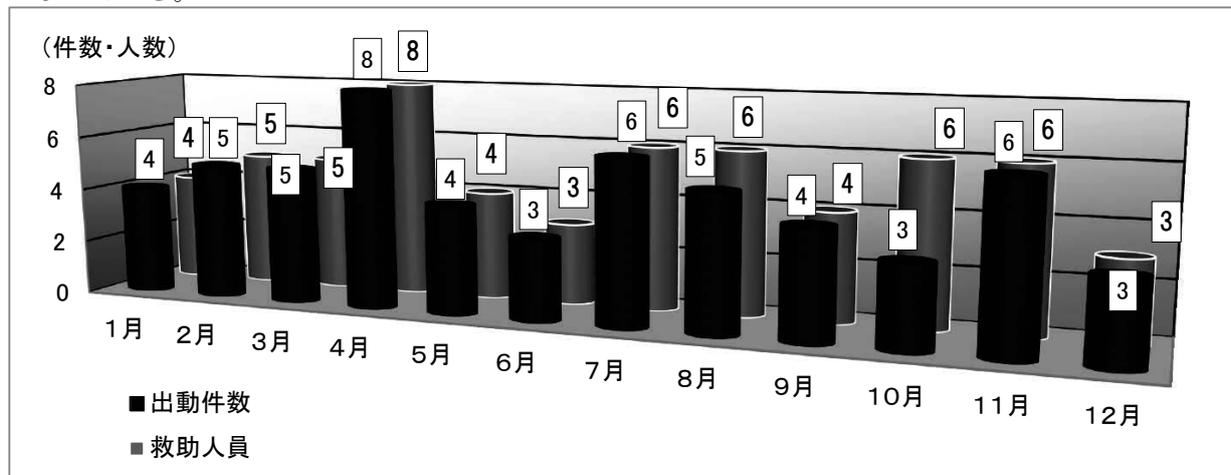
出動件数を事故種別に見ると、建物等による事故が24件と最も多く、次いで交通事故が12件、その他の事故が10件の順となっている。



救助統計

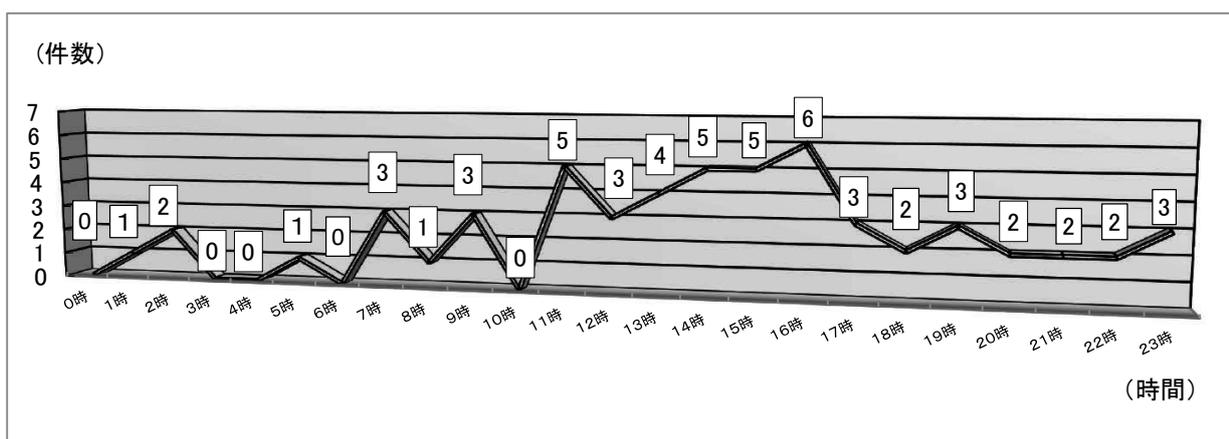
3 月別救助出動件数・救助人員

出動件数を月別に見ると、4月が8件と最も多く、次いで7月、11月が同件数6件の順となっている。



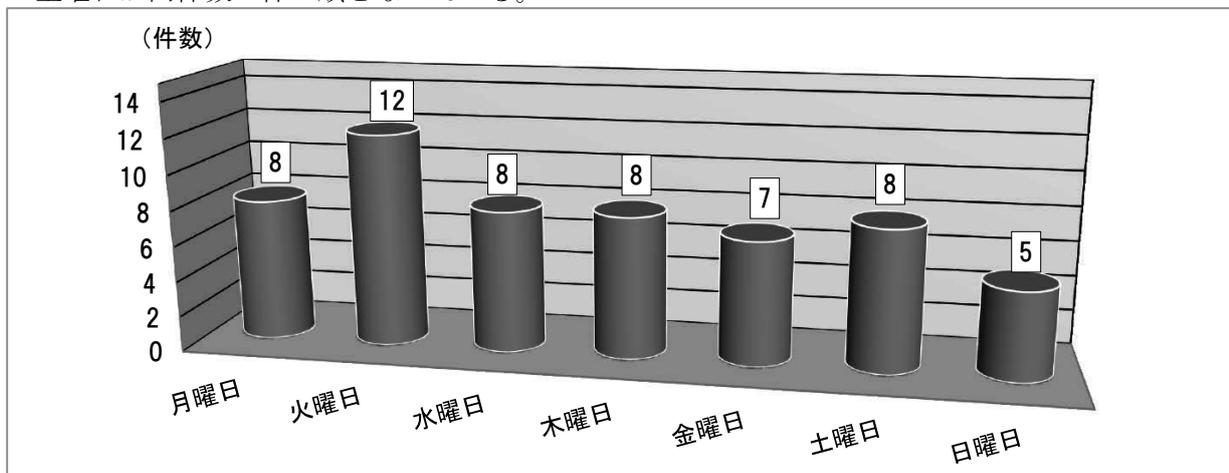
4 時間別救助出動状況

出動件数を時間別に見ると、16時台が6件と最も多く、次いで11時台、14時台、15時台が同件数5件の順となっている。



5 曜日別救助出動状況

出動件数を曜日別に見ると、火曜日が12件で最も多く、次いで月曜日、水曜日、木曜日、土曜日が同件数8件の順となっている。



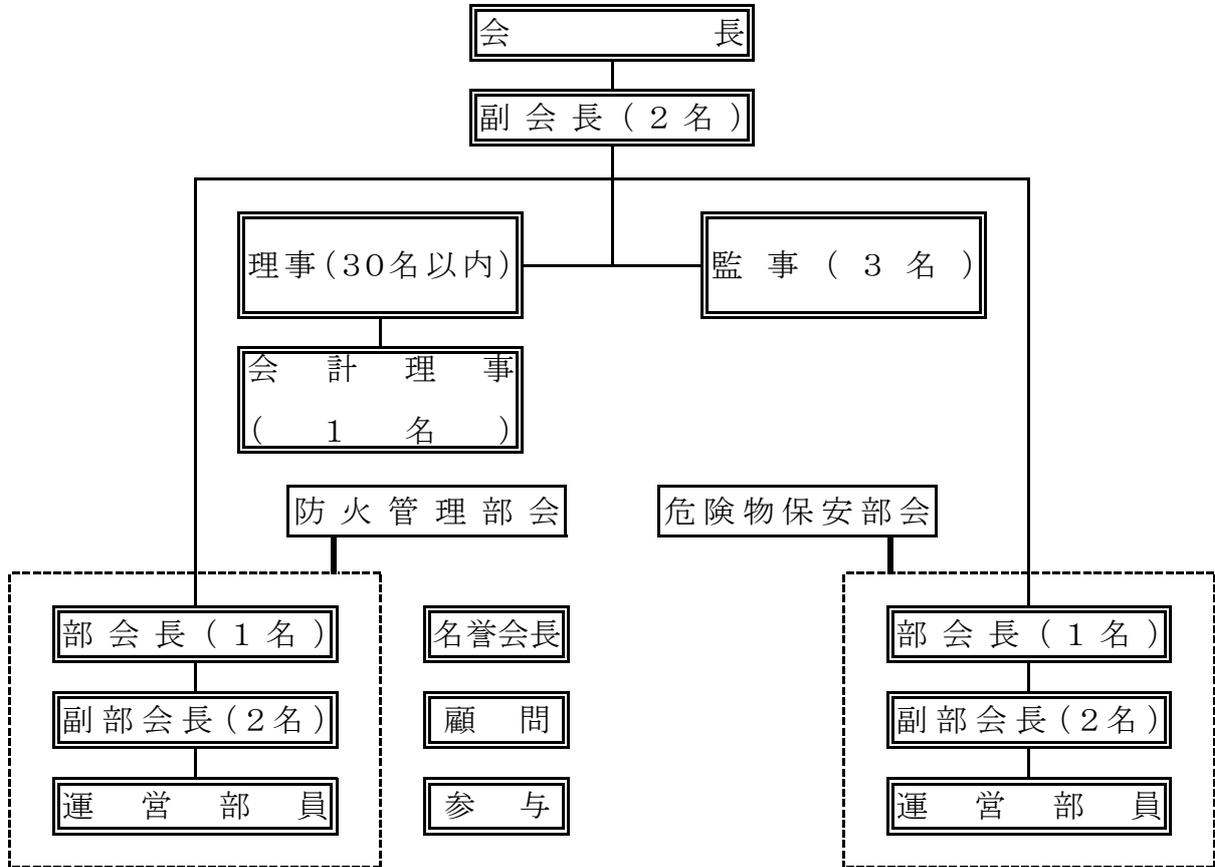
第8編 協力団体



塩釜地区防災安全協会

1 設 立 平成7年4月1日

2 組 織 機 構



事務局 塩釜地区消防事務組合消防本部予防課内

3 主たる事業

- (1) 防火知識及び危険物災害予防思想の普及に関する事項
- (2) 防火管理者及び危険物取扱者として職務知識及び技術の研究に関する事項
- (3) 火災等の原因及び損害結果を基礎とした予防対策に関する事項
- (4) 講演会及び講習会等の開催に関する事項
- (5) 参考資料、ポスター等の発行及び消防情報に関する事項
- (6) 会員相互の連絡協調に関する事項
- (7) 表彰に関する事項
- (8) その他、本会の目的を達成するために必要な事項

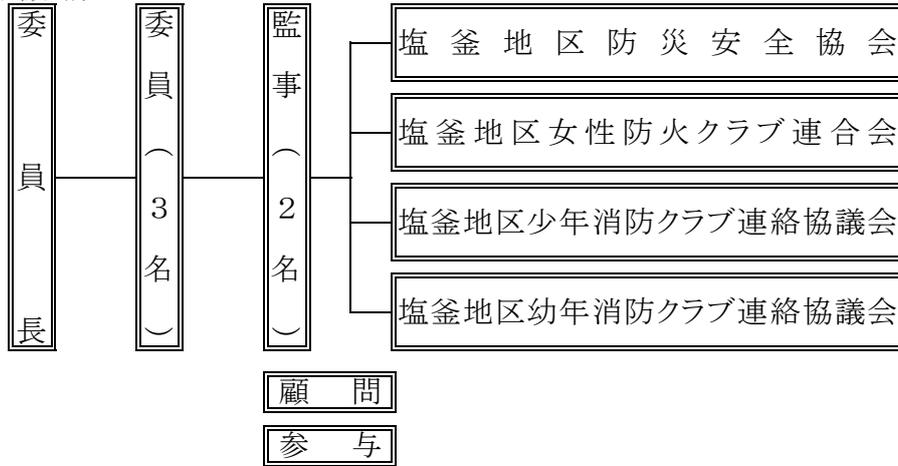
4 会 員 数 (令和6年4月1日現在) 正会員 541事業所(うち両部会入会 78事業所)

塩 竈 市	196事業所	多賀城市	147事業所
松 島 町	70事業所	七ヶ浜町	43事業所
利 府 町	76事業所	そ の 他 の 地 区	9事業所

塩釜地区少年婦人防火委員会

1 設 立 昭和54年11月14日

2 組織機構



事務局 塩釜地区消防事務組合消防本部予防課内

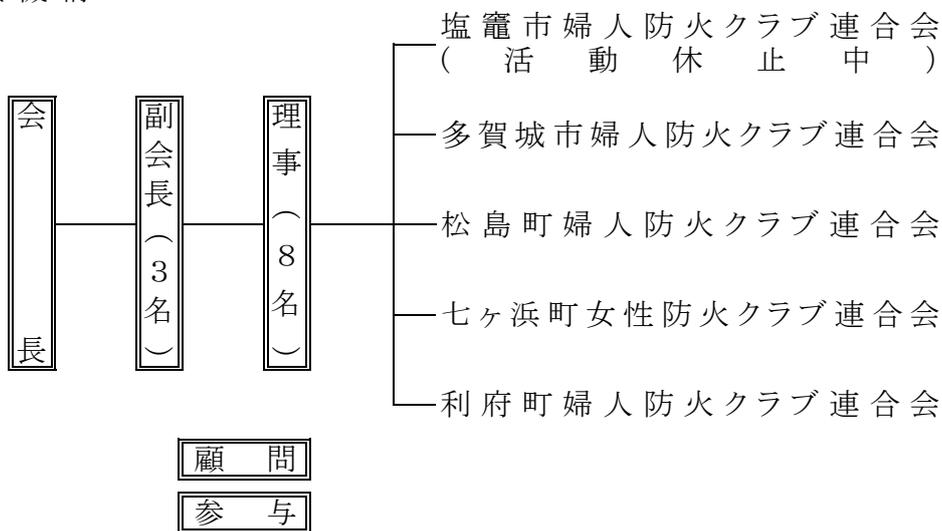
3 目的

本会は、住民の自主防火防災組織としての幼少年消防クラブ及び婦人(女性)防火クラブの組織拡大と強化を図るとともに、各クラブの運営指導について研究し、助言し、その健全な育成発展に寄与することを目的とする。

塩釜地区女性防火クラブ連合会

1 設 立 昭和50年4月1日

2 組織機構



事務局 塩釜地区消防事務組合消防本部予防課内

3 主たる事業

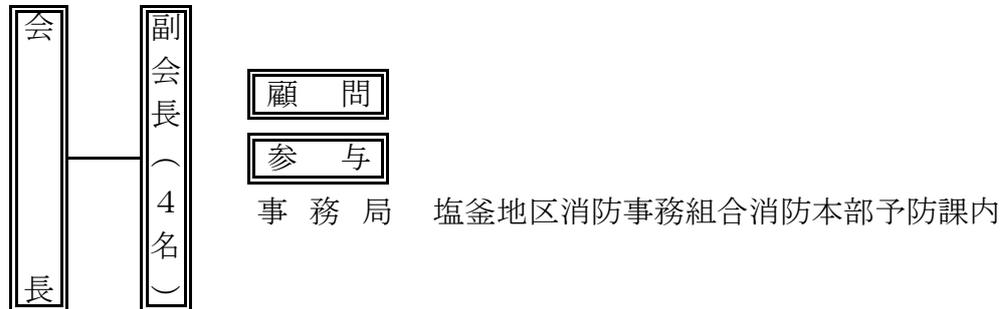
- (1) 家庭防火に関すること
- (2) クラブ相互の連絡協調に関すること
- (3) 指導者の育成に関すること
- (4) 関係当局、その他の消防関係団体との連絡及び協力に関すること
- (5) その他必要な事項

4 会 員 数 (令和6年4月1日現在) 50クラブ

会 員 50,940名	塩 竈 市 0名	多 賀 城 市 28,304名
	松 島 町 5,704名	七 ヶ 浜 町 6,927名
	利 府 町 10,005名	

塩釜地区少年消防クラブ連絡協議会

- 1 設 立 平成3年12月13日
2 組 織 機 構



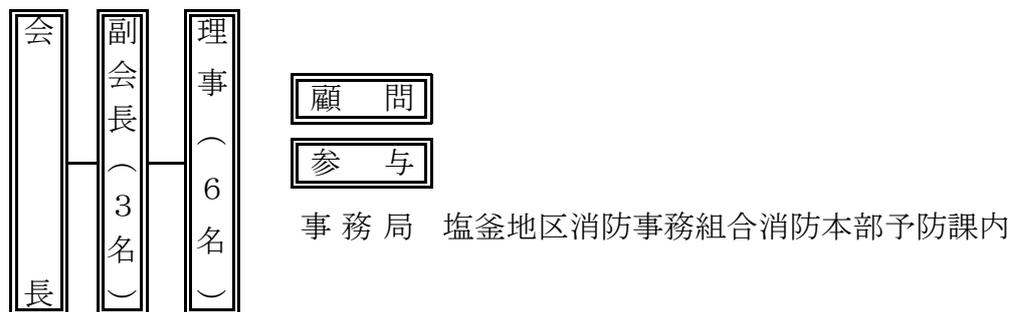
- 3 主たる目標
- (1) クラブの目的、活動について理解を深める
 - (2) 消防についての理解を深める
 - (3) 火災の恐ろしさを知って、防火意識を高める
 - (4) 防火についての心構えを知る
 - (5) 火災の時の処置を知り、身体で覚える
 - (6) クラブ員としての自覚を高める
 - (7) 救急の仕事と応急手当を知る
 - (8) その他必要な事項

4 会 員 数 (令和6年4月1日現在) 25クラブ

会 員 1,600名	塩 竈 市	407名	多賀城市	555名
	松 島 町	105名	七ヶ浜町	179名
	利 府 町	354名		

塩釜地区幼年消防クラブ連絡協議会

- 1 設 立 昭和57年9月3日
2 組 織 機 構



- 3 重 点 主 策
- (1) 火災予防に対する正しい認識を持たせる
 - (2) 火災予防のことを身体で覚えさせる
 - (3) 火遊び防止の徹底を図る

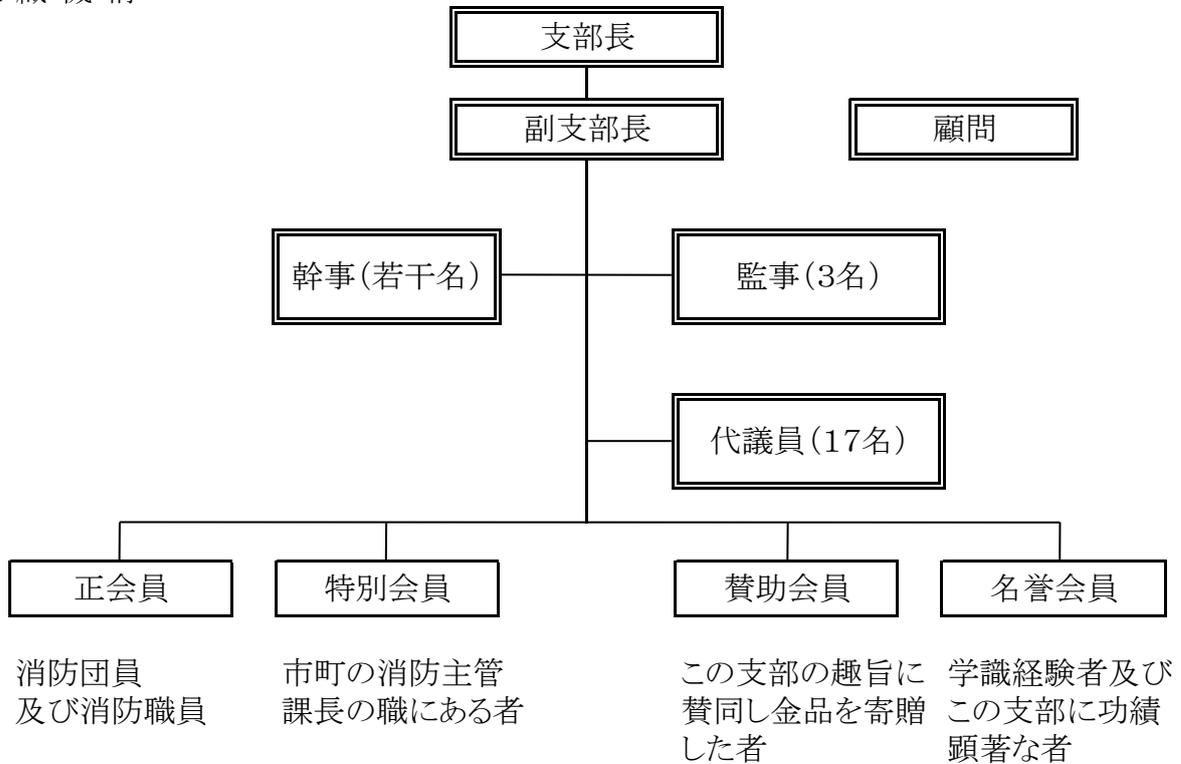
4 会 員 数 (令和6年4月1日現在) 52クラブ

会 員 4,058名	塩 竈 市	865名	多賀城市	1,748名
	松 島 町	189名	七ヶ浜町	337名
	利 府 町	919名		

宮城県消防協会塩釜地区支部

1 設 立 昭和47年4月1日

2 組織機構



事務局 塩釜地区消防事務組合消防本部警防課内

3 主たる事業

- (1) 消防機関相互の連絡及び事業に対する協力
- (2) 消防思想の普及徹底
- (3) 消防に関する調査・研究・指導
- (4) 消防機械器具及び関係資材の購入の斡旋
- (5) 消防機関会員及び消防功労者の表彰
- (6) 大災害地に対する支援の斡旋
- (7) その他この支部の目的を達成するための必要な事業

4 各市町団員数等 (令和6年4月1日現在)

分団数	団員数
塩竈市塩竈	4分団 72人
塩竈市浦戸	2分団 48人
多賀城市	8分団 145人
松島町	6分団 191人
七ヶ浜町	10分団 175人
利府町	5分団 90人
総数	35分団 721人

令和6年度塩釜地区統一防火標語入選作品

【特選】

「こわいのは 消したはずとの 思いこみ」

松島町立松島第一小学校 4年生 佐藤 樹弥 さん

【入選】 小学生の部

「確かめよう 火の元全部 ていねいに」

七ヶ浜町立汐見小学校 6年生 平泉 ちひろ さん

「指差して 家族みんなで 火の確認」

利府町立利府小学校 5年生 大窪 結音 さん

一般の部

「火のしまつ 消したつもりが 火事のもと」

会社員 鈴木 祐一 さん

「消したかな 自分の目で見て 確認を！」

会社員 西澤 研一 さん

「ちゃんと見た？ はずでは消えない 火の始末」

会社員 平塚 賢一郎 さん

第47回塩釜地区防火書道展最優秀作品



令和5年版
消 防 年 報
令和6年10月発行

編 集 塩釜地区消防事務組合消防本部
〒985-0021 宮城県塩竈市尾島町17番22号
T E L 022-361-0119
F A X 022-365-1190
メールアドレス soumu@sioshou.jp
ホームページ <http://sioshou.jp/>

本誌は、当組合ホームページにも掲載しています。



塩釜地区消防事務組合

SHIOGAMA DISTRICT FIRE FIGHTING UNION partial-affairs-association